地方史情報 124

民俗展示の新構築シリーズの趣旨

小池 淳一

(前略) この民俗展示の新構築と銘打った一連の歴博フォーラムの報告の刊行は、以上のような経緯をふまえて、2013年3月にオープンした新たな民俗展示「列島の民俗文化」の理解を助けるテキストとなることをめざしている。それらは単に歴博の展示の理解にとどまらず、現代日本における民俗研究とそれに関連する分野でいかなる学的営為が行われているか、それらに連なる研究の深化や方法の進展はどのようなものか、関連する諸学問との関係や協力はどのように行われているかを示すものになるであろう。

今回ここにまとめたフォーラムは、「列島の民俗文化」のなかでも最初のコーナーである「『民俗』へのまなざし」にかかわる展示の意図や背景に関する報告を軸としたものである。従来の民俗学のイメージとは大きく異なるであろう、デパートのおせち料理にはじまり、みやげものやアイヌ文化、世界遺産や現代における家族像や身体観が「『民俗』へのまなざし」の構成要素であるが、それらがどのような研究や視点にもとづいて企画され、展示されているのかについてここでは取り扱っている。現代社会のなかの民俗をどのようにとらえ、表象として定位したか、その試みの報告である。

ここでは、人類学や社会学、観光研究や近現代史の方法と成果を意識しながらも、あくまでも民俗研究としてどのような可能性が追求できるか、生活文化総体を扱う民俗研究の可能性を考えてみようとした。そして、グローバルな広がりを意識する一方で、生活のなかの小さな疑問を持続的に追求する姿勢を堅持することで新たな民俗研究を構築しようとしている。ここでの議論を出発点として更に調査・研究を積み重ねていくことで、現代文化としての民俗がどのような意味を持ち、それを研究する営みがどういった可能性を持つか、といった問いにも答えていくことができるであろう。

こうした意識のもと、日本民俗学会をはじめ多くの関連諸学会の支援と協力とを得ながら、民俗展示を新たに模索し構築してきた過程の重要な副産物として、さらに今日の民俗研究の最前線を示すものとして、この「民俗展示の新構築」シリーズの最終巻『民俗表象の現在一博物館型研究統合の視座から一』をここに送り出す。(後略)

(国立歴史民俗博物館+重信幸彦・小池淳一編

『民俗表象の現在:歴博フォーラム民俗展示の新構築』2015.3、小社刊より)

地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫編

*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

北海道・東北

◆アイヌ語地名研究 アイヌ語地名研究会 (発売:北海道出版企画センター) 〒001-0017札幌市北区北十七条西1丁目 1-1 1元011-299-6834 年5000円 1998年創刊

◇17 2014.12 B5 110p 1800円 旭川市のアイヌ語地名表示板と町

内会記念誌について 高橋 基 栗山のアイヌ語地名考 高橋 慎 由仁の夕張川筋 アイヌ語地名の

考察-松浦武四郎の足跡 岡本 武雄 『愛国駅』と『幸福駅』の原アイヌ

語地名早田国光十勝のアイヌ語地名(4) 更別村秋山秀敏Lバチェラー辞典の「Kunna 黒キ」

について 伊藤せいち アイヌ語表記 アコロイタク 伊藤せいち 談話室

サクシュコトニ川とアイヌ語 鳴海 英之 怪鳥フーリ(ペシュイの伝説) 伊藤せいち

◆文化情報 北海道文化財保護協会 〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目 かでる2·7ビル9階 1€1011-231-4111 hokkaido-bunkazai.jp

◆346 2014.11 B4 4p 道文化財保護功労賞の受賞者が決 定 個人 岡田齊氏・手塚賢氏 /団体 旭川の歴史的建造物の 保存を考える会・NPO法人ひ がし大雪アーチ橋友の会・上藻

別駅逓保存会 「北海道文化賞 | 等受賞者決定 講堂する研究者・岡田淳子先生の 北海道文化賞受賞を祝う 野村 生誕250年記念 蠣崎波響展を見る 舟川 廣治 伝統的な食文化を継承する学校給 山部 秀子 北海道立アイヌ民族文化研究セン ターのこれまでとこれから 小川 正人 畑宏明さんを送る 越田賢一郎 北海道文化遺産活用活性化事業の 准排状況について (高久) 「道民カレッジ連携講座」当協会 第一回文化財講演会(9月13日) 「瀬川拓郎(旭川市博物館長)の "アイヌの祭儀と日本"~陰陽 道・修験道などとの関係をめぐ って~ | を聴く (遠藤) 読書の声

道立図書館前庭売却の意図は?

ト部 信臣 柏倉勝雄さんの逝去を悼む 舟山 廣治 日本考古学協会2014年度 伊達

大会が開かれる 事務局

書籍の紹介『岩橋英遠と北の日本画家たち』、『ふと感じた「?」わたしたちの文化 人類学を探る一Ⅲ』

◆北海道れきけん 北海道歴史研究会 〒063-0037札幌市西区西野七条9-2-12 田中貢方 15011-667-2137 homepage3.nifty.com/tm3053/ ◇81 2014.10 A4 4p 第31回定期総会報告(平成26年度) 北海道文化財保護協会 文化財めぐりに参加して 田中 貢

◆北方民族博物館だより

北海道立北方民族博物館 〒093-0042北海道網走市潮見309-1 ™0152-45-3888 1991年創刊 http://hoppohm.org

◇94 2014.9 A4 6p 第29回特別展 船、橇、スキー、 かんじき 北方の移動手段と道

具 渡部

北海道博物館紀行 北海道大学総 全種物館 謙原:津典館県氏 種石

合博物館 講師:津曲敏郎氏 種石 2 講座 サハリン州郷土博物館の諸

活動 山田 祥子

講習会 フィンランドの伝統装飾 ヒンメリづくり 笹倉いる美

講習会 キエプテインひも編み・

カレリアン刺繍 笹倉いる美

平成26年度アイヌ文化理解研修会

体験して遊ぶアイヌ文化(2) 笹倉いる美

第29回北方民族文化シンポジウム 網走 環境変化と先住民の生業 文化一開発と適応/オホーツク シリーズ(6) 古裂合わせ一浜 田智津子の四季のお細工もの

♦95 2014.12 A4 8p

第29回北方民族文化シンポジウム 網走 環境変化と先住民の生業 文化一開発と適応 第1部:北 方地域における資源と開発/第 2部:北米における開発/第3部 :ロシア極東地域における開発

/第4部:西シベリアにおける

開発 講座 北方海域と船一探検と冒険 の物語 講座 土器模様の原体を学ぶ 上

級編 種石

中田

渡部

篤

裕

北海道博物館紀行

利尻町立博物館 種石 悠 講座 オホーツク土器の考古学 種石 悠 ロビー展 オホーツクシリーズ

(6) 古裂合わせ-浜田智津子

の四季のお細工もの 笹倉いる美 講習会

はじめてのお細工物づくり 笹倉いる美 講習会 お細工物づくり(中級) 笹倉いる美 ロビー展 オホーツクシリーズ

- (7) 北の状景から/企画展 白い食べ物・赤い食べ物―北方 狩猟・牧畜民の食文化
- ◆国史談話会雑誌 東北大学国史談話会 〒980-8576仙台市青葉区川内27-1 東北大 学大学院文学研究科日本史研究室気付 №022-795-6064 1957年創刊 www.sal.tohoku.ac.jp/nihonshi/ ◇55 2014.11 A5 88p

仙台藩武家社会における一門の存

在意義 浅井 陽子

旧国有財産法の成立と地域行政一

大正期仙台の都市計画と軍用地

管理換え問題 手嶋 泰伸 大島正隆研究資料の一つとして 我妻 建治 歴史通信

宮城県公文書館の現状 片岡 耕平 書 評

永井隆之・片岡耕平・渡邉俊編 『カミと王の呪縛 日本中世 の NATION3』 黒瀬 にな

伊藤大介著『近代日本と雪害

雪害運動にみる昭和戦前期の 地域振興政策| 圖

◆道鏡を守る会通信 道鏡禅師を知ろう 〒989-6156宮城県大崎市古川西館3-4-35 本田義幾方 Tel0229-22-7364 年3000円

◇2014-11 2014.11 A4 4p 大成功の道鏡講演会裏話 小田原・遠州三山探訪旅行 参考資料(本田記)として その1 弓削を尋ねる/参考資料2 弓 削地名(最新郵便番号簿と角川 版県別地名辞典より)

◆東北文化研究所紀要

東北学院大学東北文化研究所 〒980-8511仙台市青葉区土桶1-3-1 Tel.022-264-6430 1969年創刊 **♦46** 2014.12 B5 136+12p 坂上田村麻呂と観音伝説一「みや ことみちのく | の落穂 野﨑 松島町雄島周辺海底採集板碑の報

松島板碑研究会 新野一浩/七海雅人 宮城県角田市における地場産大豆 を活かした納豆製造業の展開

酒井官昭/伊藤恵祐 2013年度東北文化研究所活動報告

◆ナジェージダ(希望)

告(2)

石巻若宮丸漂流民の会 〒236-0052横浜市金沢区富岡西2-21-23 大島幹雄方 TELO45-773-4643 http://homepage2.niftv.com/deracine/ **♦33** 2014.12 A4 36p 初めて世界一周した日本人 津太夫没後200年供養祭

津太夫没後200年供養祭を開催

して

津太夫没後二百年供養祭に参加

して 春名

寒風沢出身 津太夫「没後二百

年供養祭」レポート タメじゃん小出 松林寺渦去帳調查報告 高橋 寿之 儀平よ、君は友人達が安南に漂流

したことを知っていたか 佐藤三寿夫 小特集 秘境マルケサス異聞

津太夫は語り始める 第五回 春名 無頼の作家・織田作之助が書いた

漂流小説『異郷』 大島 幹雄 アストラハン诵信(3) 最終回

ロシアから帰って 柴田 明子 大黒屋光太夫顕彰会との交流 大島 幹雄 短信・コラム

私の旅 安土城 洒見 謙三 フェアバンクス便り 河内 牧栄

◆秋田歴研協会誌

秋田県歴史研究者·研究団体協議会 〒010-0951秋田市山王7-5-10 秋田文化出 版内 TEL018-864-3322 1996年創刊 http://akita-nct.ac.ip/~wakino/rekiken.html **♦ 57** 2014.12 B5 26p 特集 秋のフォーラム

近現代の秋田民謡の展開 秋田らしさを育んできた民謡と 秋田人の活躍一明治・大正・ 昭和初期という時代の特色 麻生 正秋 民謡人が育てた若い力の軌跡一

戦後の秋田県高校民謡連盟・ 高校文化連盟の歴史的考察を

工藤 一紘 軸に

風土と県民が育んだ秋田民謡ー 秋のフォーラムを振り返って

佐々木久吾

用語解説 肝煎 半田 和彦 歷中情報

首都圏秋田歴史と文化の会第15

回記念大会 神宮 滋 新刊紹介『大潟村史』(本史) 佐藤晃之輔

文献情報/催しもの情報

◆菅江真澄研究 菅江真澄研究会

〒011-0909秋田市寺内児桜1-5-55 古四王神社社務所内 TEL018-845-0333 1981年創刊

w2.amn.ne.jp/~sugae/masumi.html

♦83 2014.12 B5 16p

菅江真澄を世界の遺産に 石井 正己

国民文化祭行事の報告

エジョロ、ヌペの食文化と化学 姉帯 正樹 連載 真澄の一枚(15) 月の玉、

日の玉 『粉本稿』より(大館市

立中央図書館提供) 菊地 利雄

真澄短信

図書紹介 『あきた歳時記』、『秋

田・羽州街道の一里塚』

菅江真澄が訪問した越後の漆山神

衦 清水川 修

◆鷹巣地方史研究 鷹巣地方史研究会

〒018-3302秋田県北秋田市栄字前綱101-2

河田正治方 TEL0186-62-0242 年2000円 1977年創刊

◇**70** 2014.12 A4 80p 1000円

《70号記念誌》

表紙 渡辺喜恵子(1913~1997) 編 集 部 鷹巣地方史研究会七十号記念誌の

津谷 永光 発刊を祝して

発刊七十号に寄せて-鷹巣地方史

研究の今後の課題 照内 捷二

資料にみる高橋長四郎家の歴史

一愛郷心と高長橋について 中嶋 忠輝 種苗交換会の草創期と北鹿地域一

明治14年(1881)、石川理紀之助

の御達案文書を诵して 庄司 博信 史、資料を読む(3)

一大館城代(所預)について 永井 髙道

総会講演会 宮野尹賢と安藤昌益 をめぐる人々 講師:千葉克一

中嶋 俊彦

歷史教室

北秋田の景観に魅せられ

講師:山田實氏 照内 捷二

北秋-国境の村々

講師:福岡龍太郎氏 澤田 昌治

現地研修

神秘の世界に触れて

一高岩神社を訪ねて 照内 捷二

特別史跡 大湯環状列石

一伊勢堂岱遺跡・交流会 佐藤喜美男

随想

渡辺喜恵子先生

小林 晋子 一 生誕百年に寄せて 伯母 渡辺喜恵子の想い出 栗牛澤 箭

人生が変わった! 成田 豊人

渡辺喜恵子先生とのふれあい

山野内キミ子

ひろば

比内浅利氏と赤利又城 小塚 嘉七 戦中の少年の記(2) 嶺脇 觔 春の仙北路巡り 桜田 俊 北秋田市の歴史伝承 澤田 昌治

オセチア人と神武達 二階堂 剛

◆でんなーる

伝承文化支援研究ジャーナル 伝承文化支援研究センター

Tel.023-695-2126 2015年創刊 年2000円

♦1 2014.12 A 4 4p

限界集落に継承される伝承文化-

綱木獅子踊り 高橋国彦/雨田秀人/盛永 未来/聞き手・菊地和博

「伝承文化支援研究センター」の 立ち上げについて 菊地 和博

飛島・"人交密度"で支える地域文

岸本 誠司



*伝承文化支援研究センターは平成26年5月 30日、山形市において40名余の賛同者を得て 設立された。設立の趣旨は、少子高齢化や地 方の疲弊、特に山間集落の過疎化により、伝 承文化の継承が極めて厳しくなっている状況 の中で、全県的な視野に立って伝承文化を支 援・研究する包括的な組織活動を行うことと している。伝承文化の範囲は、祭り、芸能、 行事、信仰、生業技術、口承文芸と間口を広 げている。趣旨からも分かるように、学術研 究よりも、実践的な支援・協力に重心を置い ている。県外と情報交流も積極的に行ってい くとしている。その情報誌として、「でんな -る| 誌が創刊された。その創刊号に掲載さ れた「限界集落に継承される伝承文化―綱木 獅子踊り一」は、米沢市綱木地区に古くから 伝わる獅子踊りについて、昭和35年に保存会 を結成して継承してきたが、集落の戸数が6 戸を切ると言う危機を迎え、他地域からの若 者の会員獲得活動や、女性研究者の参加など により、何とか祭りを維持し、限界集落での 伝承文化継承のモデルケースと称されように なるまでの経過を、本センター長が当事者た ちから聞きだし、語り合ったものである。獅 子踊りの魅力に惹かれる保存会の若手と、伝 統を維持しようとする超ベテランたちの熱意 とが見事に絡みあっている。「おらんだの綱 木獅子踊り見にきてける!|

◆南陽の歴史 南陽の歴史を知る会会報 〒999-2232山形県南陽市三間通361-8 須崎寛二方 TeL0238-43-5299 **◇204** 2014.12 B5 12p 熊野大社史おぼえ書41一宝積坊が 環俗しなかったのはなぜか 須崎 寛二 熊野大社史おぼえ書42-秘仏三尊 を宝積坊へお預けにつき 須崎 寛二 庶民も脇差ぐらいは持っていた 須崎 寛二 第225回学習会/第226回学習会

2014年度(平成26)会報総目次 ◆まんだら 東北文化友の会会報 東北芸術工科大学東北文化研究センター 〒990-9530山形市上桜田3-4-5 Tel.023-627-2168 年5000円 1999年創刊 blog.tuad.ac.ip/tobunken/ **♦ 56** 2014.11 B5 34p 座談会 歩いて、見て、聞いて、 そして届けて気づいたこと 東 文研地域民俗誌ブックレット 「東北一万年のフィールドワー ク | の編集と刊行 佐藤健治/斉藤康雄/三好明日香 /小松諒/鈴木彩也花/高橋佳帆 里/高橋裕子/司会・蛯原一平 特集 知ってほしい、東文研アー カイブス 「近現代の絵はがき ・写真 | について/絵はがきピ

ッチピチ小話01/「空から見た

東北 | について フィールドの風 マレーシアの華僑たち ◆米沢史学 米沢史学会 〒992-0025山形県米沢市通町6-15-1 山形県立米沢女子短期大学日本中学科内 Trl.0238-22-7330 **♦30** 2014.10 B5 242p 上杉謙信期における小泉庄の政治 的位置一出羽庄内との関係から ぐって 中心に

直江兼続後室(おせん)と高野山龍 光院清融―瑜祇塔の再建と「観 世音三十三身書影 | の寄准をめ 加澤 昌人 元治元年における仙台藩の動向一 藩主伊達慶邦と一門伊達六郎を 竹ケ原康佑 伊達氏始祖愚考 佐々木紀一

近世前中期の米沢藩主の葬送儀礼 と高野山納骨 原 淳一郎 中世における村落定書の成立と変

遷-文書様式の観点から 蘭部 寿樹 戦後地域社会史としての米沢女子 短期大学の設立過程一婦人会、 文化団体、社会教育、花嫁学校、 教員養成、同窓会を手がかりと

して 布施 賢治

史料紹介

比田勝廣義家文書・康次材木注

文について 中料翻刻「奥州仙臺金花山道中

フィールドワークの現場から

島守調査(青森県八戸市南郷区)

堀川

愸

野平調査(青森県むつ市川内町)

高橋 果子

鲔立調查 (宮城県気仙沼市唐桑

千葉 夏海

◆福島県史料情報 福島県文化振興事業団

記1(弘化二年巳七月十六日) 原 淳一郎

『看聞日記』現代語訳(一) 薗部 寿樹

吉田歓/蘭部寿樹

日本史学科第六研究室

小林 文雄

〒960-8116福島市春日町5-54 TeL024-534-9193 2002年創刊

日本史学科所蔵古文書目録1

新刊紹介 三上喜孝著『落書きに

www.history-archives.fks.ed.jp

♦40 2014.10 A4 4p

歴史をよむ』

『米沢史学』総目次

近世ふくしまの漂流民と『海外異

聞』 イスパニアの端船に救助

される永住丸の乗組員(『海外

異聞』巻一、青砥惣一郎家文書 阿部 哲人

> 191号) 渡邉 智裕

信夫山の六供社人 小野孝太郎 江戸後期の庶民と剣術稽古 小野孝太郎

商家に伝わる宅相図 佐々木慎一

白水阿弥陀堂の宝珠・露盤につい

渡邉 智裕

猪苗代町田子沼の縄文土器 芳賀 英一

◆茨城の民俗 茨城民俗学会

〒310-0036茨城県水戸市新荘2-8-16

今瀬文也方 TELO29-231-4665 年3000円

1963年創刊 www.minzoku.net

♦53 2014.11 B5 103p

《特集 私の収集自慢》

海老澤家(茨城県宮ヶ崎)の所蔵品

とその来歴 海老澤正孝

喫茶店とマッチ

映画と護符 清水 亨桐 日本酒のラベル 松崎健一郎 下妻市の元宮千勝神社とつくば市 の本社千勝神社 近江 礼子 天つ神の「賀毗礼の高峰」遷座に

隠された古代の鉱毒事件 戸嶋 禮助 水戸が生んだ明治の経済人 照山 洋 民話の語るもの 今瀬 文也 コラム わが家の漫画本/テレホ ンカード/百人一首カルタ/紙 幣の話/カメラも変わりました

◆近代史料研究 日本近代史研究会 〒305-8571茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学歷史人類学系 中野目研究室内 Tel029-853-4066 2001年創刊

♦14 2014.10 A5 102p 雑誌『学苑』と北昤吉

一学苑社の展開を軸として 大庭 大輝 小崎弘道の神学思想一同志社社長

時代の講義ノートから 坂井 悠佳 立憲同志会・憲政会の「政策」決 議と地域政治一河野広中の選挙

基盤を中心として 下重 直樹 総力戦体制と国勢院

一行政改革と官僚制の視点から 中野目徹/日向玲理/長谷川貴志

◆長塚節研究会会報

〒300-2707茨城県常総市本石下4639 Tel0297-42-2003 年3000円 1994年創刊 **♦49** 2014.12 B5 4p

長塚節没後百年記念の意義と必要

桐原 光明 長塚節生家の案内人十二年 石山 浩三 「長塚節のかるた」とり大会 飯塚 知子

〒310-0852茨城県水戸市笠原町979-42

但野正広方 TELO29-243-6910 1974年創刊 **♦81** 2014.11 A 5 98p 文武両道一武士の理想 菅野 覚明 「南郷街道」の名称は誤伝承 飯村 尋道 続・水戸学者清水正健の遠遊 渡邉 拓也 名越史学論

- 義公論を中心として(上) 梶山 孝夫 会沢正志斎「尊王・攘夷」の真意

水代 動 名越時正先生の思い出 樫村 博正 新刊紹介 梶山孝夫著『藤田幽谷

のものがたり 勝山 雅人 義公の足跡を訪ねて(28) 住谷 光一 会 報 但野 正弘

◆鹿沼史林 鹿沼史談会

〒322-0031栃木県鹿沼市睦町287-14 鹿沼 市立図書館内 TELO289-64-9523 年3000円 1954年創刊 tochigi-vnpo.net

♦ 54 2014.12 A4 50p

資料からみた久我神社の祭祀 中島 正 一古老の回想録 中島 正 録事尊石仏・石像の分布 駒場 一男 竹末 広美 鹿沼の掛額 明治黎明期における中等教育は同

一建物からスタートした 大野冨十男

◆那須文化研究 那須文化研究会

〒329-2752栃木県那須塩原市三島5-1 那須野が原博物館 TELO287-36-0949 1987年創刊

◇28 2014.12 B5 199p

「野州恩田社前香炉銘」について 大沼 美雄 那須塩原市 東那須野地区から西

那須野地区を诵る「原方街道 | 中山 晶膏 矢板・寺山鉱泉の愛湯客 海老原郁雄 〈那須塩原市塩原地区プロジェクト 調查報告書〉

凌霜隊(全村焼き払い)と塩原

一戊辰戦争秘話 千葉 昭彦 絵葉書で見る那須地方の昔(7)-

明治30年,須藤道策編『塩原案

内』掲載旅館のその後(前) 長谷川 操 大正天皇と塩原御用邸、三島別荘

からの変遷

臼井 祥朗

文人の愛した塩原・文人のいる風

景-塩原文学研究会20周年に寄

サて 田代 芳寛 君鳥 「関谷城鍬舞 | 復活 写真で見る戦後の関谷地区周辺 久留生利美 大名家文書(大関家文書)は語る

(13) 一白河口参謀沙汰書につい

7 新井 敦中

地方文書は語る(13)一「年貢金借

用証文 について 高根沢広之

新刊紹介 平成26年度 大田原市 なす風土記の丘湯津上資料館第 2回企画展「那須国造碑一時代 と人とをむすぶもの-1/平成

26年度 大田原市那須与一伝承 館テーマ展Ⅱ「見参!戦国大名

の書状一上杉謙信・武田信玄・ 豊臣秀吉・徳川家康・伊達政宗

からのメッセージー 中村 那須地区通信

栃木県文献一覧(2013追録)(20141)

◆歴文だより 栃木県歴史文化研究会会報 〒320-0865宇都宮市睦町2-2 栃木県立博物館内 TEL028-634-1313

年4000円 1991年創刊 **♦93** 2014.10 A4 4p

《特集 第24回大会「下野の文芸、荒野を拓く》 記念講演 谷地快一氏「旅は芭蕉

に何をもたらしたか一『おくの ほそ道』を軸にして一」を聞い

青木義朗氏報告「大田原愛清とヒ

大嶽浩良氏報告「若き日の野口雨

盛」を聞いて

情とヒロ ト か聞いて 中野 英男

小林 聖夫

竹末 広美

木村康夫氏報告 那須野が原の西

行伝承を聞いて 金井 忠夫

新刊紹介 松本一夫著『栃木ゆか

りの歴史群像 日本史上の人物

と地域との関わり 西村 陽子

◆ぐんま地域文化 群馬地域文化振興会 〒371-0801群馬県前橋市文京町3-27-26 群馬県立文書館内 Tm:027-221-2346 1993年創刊

♦43 2014.10 AB 36p 《片品村·旧利根村地域特集》 歴史を掘る

釜ノ口遺跡出土の家形埴輪 川道 亨 ふるさとの心の文化伝承 唐澤 太市 発掘情報 片品村立旧片品北小学

校所蔵の土器 水田 稔

図録 ぐんまの文化財

片品村・旧利根村の文化財 金井 竹徳 ぐんまの歴史入門講座

第155講 利根町「森山遺跡 | 出

土土器について 水田稔/向出博之 第156講 上杉謙信の越山と利

諸田 義行 根郡東谷の地侍

第157講 園原騒動始末記

一農民剣法興隆の背景 藤井 茂樹 第158講

足尾銅山裏山史(根利山) 高山 正

第159講 片品・旧利根村の石造 文化財 石造文化財の見方(32)

秋池 武

古文書解読入門講座(30)一古文書 から歴史を読む 一度民が書き

◆水戸史学 水戸史学会

残した戸倉戦争―維新前夜片品 の受難 大久保勝實/藤井茂樹 地域づくりと文化遺産 地域人材 による文化財の活用と保存一 「南郷の曲屋」、「吹割の滝」の 場合 山口勝彦/藤井茂樹 ぐんまのくらしと民俗 片品の十二様 大竹 将彦 ぐんまの地方豪族 金子美濃守の実像 久保田順一 ぐんまの川と生活 片品川 原澤 直久 ぐんまの人物誌 繭の山河 一永井紺周郎と妻いと 永井 留治 ぐんまの郷土芸能 片品のアルプホルン 戸丸 玉枝 ぐんまの地名 片品村 原澤 直久 研究・学習サークル活動紹介 片品の民話を語ろう会 林 聖子 出版情報 片品村の刊行物紹介 ぐんまの自然と風土 消えゆく尾瀬の生物 杉原 勇挽 ◆群馬文化 群馬県地域文化研究協議会 〒376-0011群馬県桐生市相生町2-995-2 宮崎俊弥方 年4000円 1957年創刊 blogs.yahoo.co.jp/gunmabunka/ **♦320** 2014.10 A5 84p 『日本書紀』景行天皇紀と古代「東 玉 関口 功一 越後上杉氏と利根・沼田地域 - 『加沢記』から考える 久保田順一 真田信利と石高制 丑木 幸男 上野国分寺南辺築垣の走向の検討 飯島 義雄

書評 大竹茂雄編『劍持章行の遊

関口功一著『古代上毛野の地勢

小林 龍彦

東毛

歷日記』

新刊紹介

10

と信仰』『古代上毛野をめぐ る人びと 田中 禎昭 群馬歷史民俗研究会編『歷史: 民俗からみた環境と暮らし』藤井 茂樹 浦野安孫著『吾妻渓谷 見て歩 富澤 隆夫 群馬県佐波郡玉村町教育委員会 編『五科の水神祭』 永島 政彦 口絵 紺紙金泥写経一群馬県立歴 史博物館蔵品資料(121) 小野瀬和男 ◆群馬歴史散歩 群馬歴史散歩の会 〒379-2154群馬県前橋市天川大島町317-1 Tel027-223-2785 年4500円 1973年創刊 www16.plala.or.jp/kuzira226/ **♦236** 2014.10 A5 56p 《特集 群馬の地名》 歴史の記憶 井野 修二 中 毛 \Box 阿佐美良雄 銭神・銭神塚 中村 倫司 猪十手 中村 倫司 諏訪台 福田 紀雄 赤城山の山嶺名 角田賀津三 赤城山信仰について 須藤 雅美 横手 井野 修二 西 毛 須田 茂 小坂峠 琵琶橋妙義道 須田 茂 雨乞峠 須田 茂 貝 沢 小池 照一 日高 小池 照一 北 毛 沼 田 中島 靖浩 城堀 中島 靖浩 迫母 中島 靖浩 御座入 原澤 直久

緑町 澤口 宏 Ш Ш 澤口 宏 御正作 茂木 晃 山崎一『群馬県城館址調査の手引 き』(6) 茂木渉・翻刻/飯森康広・割付 高山彦九郎日記による歴史散歩 (45) 『北行日記』(4) 正田 喜久 将軍綱吉と秋元家・福島について 福島 守次 れきさんサロン 新刊紹介 中之 町自治会『三国街道渋川宿 中 之町の変遷』上巻、馬場豊著 『ひとすじの糸』―玉糸の祖 小 淵しちの生涯、古屋祥子著『花 信風』歌集 山崎 正 支部だより 渋川子持支部 曹洞宗最乗寺 (神奈川県南足柄市)と曹洞宗 大本山總持寺(横浜市) 新井 敏夫 藤岡支部 鎌倉(二) 江ノ電沿線と金沢街道 輿水 泉 歴史散歩の報告(事務局企画) 平将門ゆかりの地 坂東市 山崎 正 逆井城跡探訪の記 新井 通代

◆武尊通信

〒372-0031群馬県伊勢崎市今泉町1-1046-4 板橋春夫方 1979年創刊

◇140 2014.12 B5 4p
新田義興の没年 久保田順一 安倍貞行と興行 関口 功一 第101回例会記事 山本昂伯氏「『村上内記義守発給文書』考」、大淵幹生氏「安産祈願の変容一神流町柏木筑の産泰講を事例に一」書誌情報 群馬歴史民俗研究会編『歴史・民俗からみた環境と暮

らし』(岩田書院ブックレット:

歴史考古学系H1)

◆埼玉地方史 埼玉県地方史研究会 〒330-0063さいたま市浦和区高砂4-3-18 埼玉県立文書館内 ™048-865-0112 年3000円 1975年創刊 ◇70 2014.10 A5 72p 《特集 北武蔵地域の史的諸問題》 武蔵国北部の再開発

一浅間山の噴火を契機に 菊池 紳一 中世の妻沼地域について 蛭間 健悟 成田氏による忍領形成と河川 新井 浩文 灌漑用水の評価と研究のあり方に

ついて 清水 邦夫

近世前期中条堤の普請役争論につ

いて一貞享四年の裁許状から 宮原 一郎

近世荒川舟運と「新川河岸」につ

いて 重田 正夫

内と外からみた近世後期の「忍領」

一個別領主支配と農業生産性の

視点から栗原健一岩付衆「松野文書」の検討黒田基樹久喜高女に見る防空態勢柏浦勝良

◆日本の石仏

日本石仏協会(発売:青娥書房) 〒357-0067埼玉県飯能市小瀬戸29 ImO42-971-6512 年8000円 1977年創刊 www3.onc.ne.jp/~bosatu/sekibutu/sekibutul.html ◇152 2014.12 A5 64p 2000円 表紙写真

松本市上金井下矢崎の道祖神 石田 益雄 巻頭随想 二つの石仏企画展と図

録を通して 坂口 和子

《特集 天部の石造物》

 甲斐駒ヶ岳の摩利支天
 田中 英雄

 東京都と帝釈天塔
 石川 博司

11

武蔵野の弁財天と京都の地蔵信仰

殿南 直也 大黒天信仰の諸尊名碑を訪ねる 井戸 寛 佐賀の町興し恵比須さん 中野 高通 富山県砺波地方の天部石仏 尾田 武雄 富山県呉東地域の河川流域に点在

する天部石仏 平井 一雄 「天の邪鬼」について私の考察 三明 弘 石造水天供養塔一覧 中上 敬一 誌上講座

石仏入門(7)

文殊菩薩·普賢菩薩 門間 身名号塔の知識(19)

しての石仏に惹かれて…

ゲスト 渡邉三四一さん 杉本 康希 あ・ら・か・る・と一私の石仏案内

相模原市の百体地蔵2か所 中森 勝之 生け贄の羊

中国山西省太原市 双塔寺 町田 茂 日本石仏協会主催 第103回石仏見

学会報告 船橋の石仏巡り 三代川千恵子 会員の広場

善光寺如来・乙大日如来の並刻

 塔について
 渡辺 政廣

 雷神・水神の雨乞い塔
 石田 年子

 姫路城の「石棺」転用石
 黄瀬 三朗

 伊豆石の巨大石棺
 井戸 寛

 水沢寺の水天像を見て
 浅見 初枝

 石仏交流/石仏談話室

◆我孫子市史研究センター会報

〒270-1132千葉県我孫子市湖北台5-15-17 岡本方 TEL04-7149-6404

www.geocities.jp/abikosisiken/

♦153 2014.11 A4 12p

古文書火曜部会11月の活動から 藤井 吉彌 \ ◇8 2014.10 A4 8p

歴史探訪部会11月の活動 歴史探

訪部会11月例会(ウォーキング

探訪) 相馬霊場の札所参り 長谷川秀也 合同部会11月の活動 中澤 雅夫 我孫子市の社寺を訪ねる(7)

一高野山(1) 三谷 和夫 古文書日曜部会レポート BS-T

BS番組大岡忠相の実像をみて

一町奉行兼地方御用掛 山崎 章蔵 井上家文書研究部会11月の活動 長谷川 一 歴史部会『字誌』10月の活動 飯白 和子 ◇154 2015.1 A4 14p 新年のごあいさつ 柴田 弘武 歴史探訪部会座学「我孫子での白 樺派三人衆一柳・志賀・武者小 路一」

我孫子市制45周年記念行事 歴史 講演会「我孫子の城館跡あれこ

れ」へのお誘い 白神 正光 歴史探訪部会12月例会「上総国府

・市原を訪ねる」に参加して 財前 重信 歴史探訪部会12月の活動 長谷川秀也 手賀沼殉難教育者慰霊式に参列し

て 山本 包介 我孫子市の武州三峯山信仰(1) 近江 礼子 井上家文書研究部会12月の活動 長谷川 一 井上基家文書の研究 質地証文(13)

"(5)・(6)年季明けの処分につい

で"の補足 清水 紀夫 歴史部会『字誌』12月の活動 飯白 和子 合同部会12月の活動 中澤 雅夫 古文書火曜部会12月の活動 金井 準

◆佐倉の地名 佐倉地名研究会会報 〒285-0864千葉県佐倉市稲荷台1-3-6 野村忠男方 TEL043-487-1033 年2000円 2012年創刊 地名に学ぶ(7)

千代田の興味深い地名 野村 忠男 佐倉地名研究会 平成26年度 第 28回年次総会開催される 『多輪免喜 第七号 弥富地区』

編集中 弥富を写真で紹介 本間 勝喜 佐野藩(佐倉藩の支藩)(1) 佐野城

塘・堀田稲荷(佐野市植下町) 田中 征志 西行清水のお宮さん 小坂 義弘 北総散策 印西 松虫寺・龍腹寺

·泉倉寺·結縁寺(1) 伊藤 清

◆史談八千代 八千代市郷土歴史研究会 〒276-0046千葉県八千代市大和田新田452-20 鈴木康彦方 ℡047-459-2506 年3000円 1976年創刊

◇39 2014.11 B5 104p
《特集 旧吉橋村の総合研究 その1》

「旧吉橋村の総合研究」に当たっ

で 牧野 光男 近世・近代の吉橋村

吉橋村の旗本領主の研究

菅野貞男/吉田博之 /平塚胖/斉藤惇

吉橋の庚申塔について 蕨 由美 吉橋(高本・寺台)の道標と寺社

調査村杉スミ子吉橋地区の酪農佐久間弘文

吉橋村(旧睦村)の教育の歴史に

ついて 菅原 賢男

貞福寺存秀法印堂に奉納された

「かぞえ歌」 村田 一男

高本の先人たちが残したもの

高本の虚空蔵菩薩 小林 詔三 高本八幡社の奉納句額調査 畠山 隆 高本「人々の絆」の歴史

立花幹也/鈴木康彦

寺台の安産祈願と龍ヶ崎市龍泉寺

「ショイ観音」 佐久間弘文/畠山隆 沖崎遺跡の説明板設置の報告と

「製鉄実験」について 田中 巌 個人研究ノート 中世の八千代市

内の城・館についての一考察 浅生 武治 ずいひつ

 狛犬のルーツについての雑感
 山口
 忠

 吉橋随想
 成田
 忠志

◆紙魚之友 房総史料調査会

〒113-0033東京都文京区本郷7-3-1 東京大 学文学部日本史学研究室 1985年創刊

♦33 2014.12 B5 6p

調査報告 旭市二(旧下総国匝瑳

郡太田村)加瀬一家文書 小田 真裕 史料調査参加記 第一次上小岩村

石井家文書調査 荒木 舜平

◆千葉史学 千葉歴史学会

〒263-0022千葉市稲毛区弥生町1-33 千葉 大学文学部内 ™043-251-1111 年4000円 1982年創刊 chibareki.blog.fc2.com

◇65 2014.11 A5 142p 券頭随想

現在に生きる「縁起」 柴 佳世乃 歴史随想

自由民権運動家の「顕彰」をめ

ぐって 上田 浄

元陸軍ドイツ駐在武官補佐官

西久について 西 聡子 千葉県史編さん事業の終焉 池田 順 隅田鏡の「男弟王」は真若王か 萱嶋 完彦

資料保存活動(千葉歴史・自然資

料救済ネットワークの活動)

古代山武地域の氏族とヤマト王権

須永 忍

鎌倉府軍事制度小論

一戦功認定システムを中心に 呉座 勇一

『吾妻鏡』以後の鎌倉勝長寿院と | 大会報告 千葉歴史学会第33回総 東国武家政権一摂家・宮将軍子 弟僧の位置づけ 小池 勝也 研究ノート 1920年代における国 家財政と海軍予算一ワシントン 海軍軍縮条約下の予算分析を中 心に 鳥羽 厚郎 書 評 田中大喜編著『シリーズ・中世 関東武士の研究 第九巻 下 野足利氏 谷口 雄太 宝永地震の富十川流域被害と復旧 佐藤博信著『中世東国の権力と 木村涼著『七代目市川團十郎の 中的研究 西田 亜未 新刊紹介 埼玉県教育委員会編『埼玉県史 料叢書12 中世新出重要史料 黒田基樹編著『山内上杉氏』 田中 宏志 三浦茂一著『近世地域教育の一 断面―上総の郷学「至徳堂」 池田宏樹著『大正・昭和期の地 方政治と社会―千葉県政の展 開と社会運動の諸相一』 松本 悟 参加記 「関東近世史研究と自治体史編 纂第六回千葉県 に参加し て 井上 拓巳 千葉歴史・自然資料救済ネット ワーク第四回勉強会 発見! 古文書修補で気づいた航空技 術との意外な共通点とは 白谷 茉莉 ◆房総石造文化財研究会会報 「古文書修補を学ぶ②」に参加 して 赤羽 莉奈 見学記 国立歴史民俗博物館企画 展示「歴史にみる震災」 猪岡 萌菜 | ◇123 2014.10 B5 10p

会・大会報告

◆利根川文化研究 利根川文化研究会 〒101-8301東京都千代田区神田駿河台1-1 明治大学史資料センター 阿部裕樹気付 Tel.03-3296-4329 1991年創刊 http://www7a.biglobe.ne.jp/~tonebun/ **♦38** 2014.12 B5 102p 《特集 流域の災害》 について 北原 糸子 構造 大石 泰史 │ 利根川流域と東日本大震災 - 橋本 直子 宮城と関東大震災一宮内庁宮内公

文書館所蔵史料から 野中 和夫 銚子築港と1932年(昭和7)の台風

池田 宏樹 天明3年浅間山大噴火の記録 大塚 昌彦 二』 石渡 洋平 宝永の噴火と酒匂川流域の災害 小野 英樹 明治29年利根川水害による地域秩

序の動揺―水利慣行をめぐる訴

訟事件を対象として 金子 祥之 の歴史―』 石山 秀和 | 碑文が語る筑後川水害の伝承 古賀 邦雄 書評・新刊紹介

杉山一弥著『室町幕府の東国政

玉井幹司著『物流今昔』 青木 敏雄 上野英雄編『ダムを浩らない社 会へ―谷ッ場ダムの問いかけ―』

川名 禎

巡検参加記 物流博物館見学と例

会発表に参加して 川名 禎

〒270-0221千葉県野田市古布内1682-3 石田年子方 1至04-7196-3375 年3000円 1980年創刊

木更津の石造物(5)

石工とその系譜(4) 稲木 章宏 石仏紹介 棚田の浄土・南房総の 三山塚 早川正司/田中征志/石田年子 石仏見学会 市川を歩く (事務局・石田) 野田市・愛宕神社の六角雪見燈籠

石田 年子 資料紹介 『東国里山の石神・石 仏系譜 田中英雄著

◆房総の石仏 房総石造文化財研究会 〒270-0221千葉県野田市古布内1682-3 石田年子方 TelO4-7196-3375 年3000円 1982年創刊 **◇24** 2014.10 B5 56+9p 山武市真行寺の石仏について

(試論) 川戸 彰 妙見菩薩と鎮宅霊符尊 沖本 博 下総地方の十九夜塔と女人講 石田 年子 我孫子市湖北台正泉寺の伝法性尼

五輪塔について 小高 春雄 松戸の「山神宮」石塔と林業従事

入谷 雄二 房総の石造仁王像について 小西 則子 迅速測図を用いた久留里街道西往

還の推定と付近の石造物 加来 利一 写真解説 字賀神(君津市宮下 半福寺跡) 早川 正司

◆松戸史談 松戸史談会

〒270-0021千葉県松戸市小金原7-10-20 松田孝史方 151047-342-1764 年5000円 1961年創刊 www.matsudoshidankai.net **♦ 54** 2014.11 B5 90p 松戸の歴史―史跡・文化財を学ぶ

ことの意味 松田 孝史 松戸駅・東口界隈 "記憶する原風

景"(3) 「池田辯財天」と、それ

を囲む「臺地」 池田 眞也 松戸市内の戦争遺跡を歩く(4) 田嶋 昌治 徳川慶喜と松龍寺 花輪 茂道 私が出会った最後の「老・工兵(89 歳) | 松戸「陸軍・工兵学校 | 最後の証言(2) ―毒ガス訓練・

肉弾三勇士 武装解除など 佐藤敬一郎 私の常磐線ものがたり 古木 均 明治維新一中央集権国家へ

現千葉県域・松戸市域の動き 松田 孝史 尼港事件と松戸 奈良部光孝

『御狩勢子人足の記』を辿る一西 へ西へ房総を突き進んだ勢子軍

國定美津子 松戸宿と小金牧 小宮山榮一 松戸史談会会員・勉強会報告論考 として(1) 鎌倉・南北朝期に おける社会変動による下総千葉

氏とその被官群の対応の一考察

曾谷氏研究会 斎藤 敏明

第65回松戸市文化祭参加(文化講 演)要旨 江戸川舟運と松戸の 河岸 講師:松丸明広氏 第65回松戸市文化祭開催報告/第 66回松戸市文化祭参加(本年)

会員のひろば 松戸史談会に入会して 千代田光雄 史談会に入会して 渡辺 淳子 松戸史談会に入会して 須田 誠 俳句と私 字田川 正

松戸史談トピックス 「信念・文 化の薫る松戸市・松戸の顔づく

り | 一市長大いに語る 勝部 建一

短信(1) 社会教育フォーラム 「産・学・官」合同のワークショ

ップ 勝部 建一

松戸史談会総会講演会(要旨)

岡 降雄 千葉県博覧図と銅版

松戸史談会講演会(要旨)

新京成電鉄の誕生とその歴史

講師:川上隆氏

松戸史談会会員勉強会(要旨)

神道(神社)について

一史跡めぐりの参考 松田 孝史 松戸の秀海講と大師像 塩尻 英児 短信(2)

根木内稲荷神社文書の調査 棚井 行隆 松戸史談会年間活動記録

2013年年9月~2014年8月

短信(3) 流山市鰭ヶ崎の東福寺

裏にある三本松古墳の危機 田嶋 昌治

◆アーカイブズ

- ICA による連携の取組み 中山 貴子 大英博物館との共同企画によるイ ンターネット特別展「描かれた 日清戦争〜錦絵・年画と公文書

~」 平野 宗明

共催展示『地図アラカルト 世界

と地域』を開催して 戸塚 順子

福井県文書館・図書館の新デジタ

ルアーカイブ・システム―システム更新を契機とした図書館と

ノム史利を关候とした凶音貼と

の連携柳沢芙美子

三豊市文書館のさまざまな連携事

業~アーカイブズウィークによ

る中国四国地方の文書館連携及

び地域団体との連携 宮田 克成

群馬県市町村公文書等保存活用連

絡協議会について

小髙 哲茂

神戸市文書館と神戸大学大学院人文学研究科地域連携センターの

取組みについて 木原 正剛 三重県総合博物館の開館と取組み

藤谷 彰

太宰府市公文書館の開館 藤田 理子 開拓使文書の重要文化財指定 靏原美恵子

東京都公文書館所蔵「東京府・東

京市行政文書」の重要文化財(美

術工芸品 〈歴史文書〉) 指定につ

いて 西木 浩一

イギリス国立公文書館の連携事業

渡辺 悦子

国立公文書館体験ツアー実施報告

筧 雅貴

◆足立区立郷土博物館だより

〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1 TeL03-3620-9393 1996年創刊 www.city.adachi.tokyo.jp/hakubutsukan/ chiikibunka/hakubutsukan/

◇67 2014.10 A4 4p 特別展 あだち物流のひみつーモ ノを運ぶ歴史と文化

出張展示 千住歴史大全/臨渕亭 のご利用について

博物館からのお知らせ 郷土芸能 鑑賞会/冬季区民教養講座「江 戸の売り声」宮田章司氏/初釜 の会/見学会「じんがんなわ」 /博物館の桜まつり

博物館の浮世絵展 歌川派と歌舞 伎一勇壮なる役者絵の世界

◆足立中談

足立区教育委員会足立史談編集局 〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1 足立区郷土博物館内 ™03-3620-9393 ◇561 2014.11 A4 4p
足立区の廃寺会話(1)

鹿浜慈願寺と長谷寺交衆帳 柴田 英治 縁故疎開ですごした北鹿浜町の想

い出(23) 鹿浜の子どもの生活

(5) 小川誠一郎

物流展レポート 人気の南京締め コーナー/増田健一コレクショ

ン くろがねのパンフレット

♦ 562 2014.12 A4 4p

空襲の情報を伝える

一防空情報の図解資料 郷土博物館 学童疎開70年 特別展

足立区の廃寺余話(2)

小台延命寺と幻の復旧願書 柴田 英治 縁故疎開ですごした北鹿浜町の想

い出(24) 鹿浜の子どもの生活

小川誠一郎

◆足立史談会だより

〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1 足立区郷土博物館内 TELO3-3620-9393

♦320 2014.11 A4 8p

合衆国首府「ワシントンの桜 | (26)

昭和26年・東京都公園協会 ニューヨークの桜 高峰譲吉博士

の努力1

足立区の文化財 平成2年版「足 立区の文化財」による 有形民 俗文化財 田光り観音 1躯、 光茶釜付 松風庵揮毫帳、乳泉 石及び箱

史談かるた 〈「熊野堤は古い 道」、や「槍掛け松は清亮寺」

鎌倉探訪報告

寒念仏雑記(「葛飾史談」20号 昭和32年3月)/寒念仏雑記(追

補)(「葛飾史談」21号) 福島憲太郎

文化財ウィーク 公開事業

東京の満蒙開拓青少年義勇軍 竹内 秀夫

♦321 2014.12 A4 8p

合衆国首府「ワシントンの桜」(27)

昭和35年・東京都公園協会 ワ

シントンの桜 高峰譲吉博士の

努力3

史談かるた ま「松の名前は苗間 戸稲荷」、け「源氏ゆかりの白 旗塚」、ふ「笛の音さえる島根

ばやしし

足立区の文化財 平成2年版「足 立区の文化財」による 有形民

俗文化財 花畑大鷲神社力石 13石、猿仏塚、助六の塚

深大寺参詣

「満蒙開拓平和記念館」を訪ねて 唐沢 邦子

関連して 新聞の切り抜きから 11.17 満蒙開拓平和記念館を

訪ねて

第21回 江北美術展

千寿七福神生みの親

千住の永見さんを悼む 安藤 義雄

◆あるむぜお 府中市郷土の森博物館

〒183-0026東京都府中市南町6-32

Tel042-368-7921 1987年創刊

www.fuchu-cpf.or.jp/museum/ \$\frac{110}{2014.12} A4 8p

常設展示リニューアル!(3)

市政及パノーエーノル:(3

「古代国府の誕生」 深澤 靖幸

すぽっと展示

発掘された奈良時代の暦

深澤 靖幸

NOTE 文政4年の用水騒動 花木 知子 多摩川おさかな考(3)

9年川わさかなち(3)

川を下るアユ

中村 武史

最近の発掘調査美好町で旧石器

時代の遺跡を発見! 美好町三

本間 降幸

◆板橋史談 板橋史談会

ユー:吉川真氏

〒174-0075東京都板橋区桜川2-27-3 大澤鷹邇方 1EL03-5398-2682 1966年創刊 ◇282 2014.11 B5 103p 《創立50周年記念号》 板橋史談会行事予定・いたばし郷 土史塾のお知らせ

板橋史談会50年を迎えて 小林 保男 会員40年の思い出 大井 眸 「板橋史談」表紙画の変遷-板橋

史談会創立50周年に寄せて 井上 富夫 岡田章雄先生、櫻井徳太郎先生を

偲んで 泉 貞代「板橋区文化財保護条例制定のころ |一板橋史談会8月例会「会長

 講演」を聴いて
 木田 誼

 櫻井徳太郎文庫
 石塚 輝雄

幕末の板橋一徳丸原洋式調練から

農兵隊まで 小西 雅徳

佐藤太清「仮題―傷病兵」をめぐ

る考察 安田 晴美

板橋の民家と板橋史談会

一後角をもつ民家 津山 正幹 板橋の石造文化

一石工調査50年から考える 小松 光衛 向原の昔(9) 向原八雲神社信仰 関係資料(板橋区登録有形民俗 文化財)一資料紹介と幾つかの

考察 三原寿太郎

『高島平蘭学事始』題字揮毫一板 橋区立郷土資料館開館記念徳特

別展 前田 惣吉 「板橋史談会例会」13年間の記録 笠木 劭 板橋区「史跡散歩」(板橋史談会

受託)9年間の記録 井上 富夫 表紙写真 区内神社の祭礼の一コ

◇別冊3 2014.11 A5 34p

《板橋史談会創立50周年記念 既刊目次一覧・

著者別索引 第226号~第282号》

板橋史談発行一覧 226~282号

既刊目次一覧

著者別索引

◆稲荷山通信 八王子市史編さん室だより 〒193-0943東京都八王子市寺田町1455-3 ™042-666-1511

www.city.hachioji.tokyo.jp/seisaku/13570/

♦12 2014.11 A4 8p

『新八王子市史』3冊を新たに刊行

/中世の市民講座も開催します

専門部会の主な活動

チャレンジインターンシップ体験

記(平成25年8月12~13日)

高橋恵理/山越紘子

八王子の歴史資料を未来に伝える

ために 佐藤 麻里

◆奥武蔵 奥武蔵研究会

〒350-1301埼玉県狭山市青柳63

新佐山ハイツ4-504 藤本一美方

♦400 2014.11 B5 37p

「奥武蔵研究会」の行方を問う 藤本 一美 会報は不思議な玉手箱 加藤 恒彦

「奥武蔵400号」に想う 関口 洋介 私と奥武蔵 成川 茂雄

11 - 7027/20

西武沿線小さな旅の会会報掲載

私と奥武蔵(復刻) 編集 部 消えゆく地名・消えない地名 小泉 重光

野生からのメッセージ―奥秩父発

矢口 益男

 雑 感
 染谷 鷹治

 安全登山の約束事
 吉田美知子

2009~2013年 5年間

奥武蔵・秩父地域の山岳遭難 町田 尚夫 山行報告

 秩父札所巡り(4)
 西東 昭夫

 秩父札所巡り(5)
 西東 昭夫

 続編・奥武蔵中世の城跡を歩く

西東 昭夫

続編・奥武蔵中世の城跡を歩く

(15) 小田原城から石垣山一

夜城 小泉 重光

◆解放研究/明日を拓く

秩父札所巡り(6)

東日本部落解放研究所 〒111-0024東京都台東区今戸2-8-5 Tet03-5603-1861 1993年創刊

♦ 28/106 (41-1)

態 松浦 利貞 「変死人三検使」を読む

史料紹介 中丸村文書より 瀬尾 健

◆季刊 Collegio 之 潮

〒185-0021東京都国分寺市南町2-18-3-505 TEL042-328-1503 2005年創刊 www.collegio.ip

◇57 2014.10 B6 56p 500円

中台面(M3面) 松田 磐余

フランス古地図音楽散歩(39)

ボンザンファン通り 関根 敏子

高田島日記一福島県双葉郡川内村

の一角から(2)

坂とCMが出会うとき(4) 渡邊 一夫

縄文遺跡と地形

八王子市小野田遺跡 安孫子昭二

せたがや中世拾い歩き(8) 坂の

太子堂一善光寺聖の足跡を訪ね

る 谷山 敦子

◆北区史を考える会会報

〒115-0052東京都北区赤羽北1-3-10 大澤栄美方 『kl03-3907-0040 1986年創刊

♦114 2014.11 B5 10p

第382回 見学会 読売プリント

メディア東京北工場 馬場 永子

第380回 月例研究会

「武士」の成立と「鎌倉武士」 伊藤 一美 第381回 月例見学研究会

榎本家見学と十条の話 川上 明

◆儀礼文化ニュース

一般社団法人儀礼文化学会 〒160-0012東京都新宿区南元町13-7 Tet 03-3355-4188

◇196 2014.12 A4 8p 催事スケッチ 大日堂舞楽

新年を寿ぎ、舞う 渡辺 良正

平成26年度地方大会 播州の文化

を訪ねる会 一日目 姫路城/

二日目 住吉神社の神事舞 松崎 睦彦 特集 琉球芸能への誘い 琉球芸

能を鑑賞するための三つのポイ

ント 狩俣 恵一

会員を訪ねる

志波彦神社・鹽竈神社(宮城県

塩竈市一森山) 久保田裕道

竹駒神社(宮城県岩沼市稲荷町)

久保田裕道

レポート

西巻 裕

第3回儀礼文化セミナー 民俗

芸能 子どもの民俗芸能 久保田裕道 儀礼文化講座(第3回) くらし の民俗 めぐる時間と暮らし

佐々木 寛

儀礼文化講座(第4回) 書道 私の考える書について 佐々木 寛 儀礼文化講座(第5回)

古典芸能 人形のはなし 佐々木 寛 儀礼文化研究会 道教の開光と

招魂の儀礼一魂を招く手順・

方法についての若干の考察 浅野 春二 季節の料理 神様への感謝を籠め

て お煮しめ

柳原 紀子

◆交通史研究

交通史学会(発売:吉川弘文館) 〒365-0023埼玉県鴻巣市笠原1435-1 波田野富信気付 1976年創刊 www.kotsushi.org

◇84 2014.12 A5 85p 2500円 韓国国際学術大会報告

歓迎辞韓国国際学術大会参加記韓国国際学術大会報告基調講演日本前近代の交通史研究の素描と展望一陸上交通を中心として

丸山 雍成

比叡山への鋼索鉄道建設における 延暦寺の動向 卯田 卓矢

書評 有山輝雄著『情報覇権と帝

国日本』Ⅰ・Ⅱ 佐藤 純子

十字路 展示紹介・にっぽん歴史 街道展―三館の展示を観て 秋山 寛行

例会報告要旨 2014年度交通史学

会第1回例会 星野高徳氏の発 表/展示見学

常任委員会(下向井紀彦・鴨頭俊宏) 会誌改革について 会誌改革への提言 小嵐 秀雄 会誌『交通史研究』改革への道 丸山 雍成

◆個人誌 散歩の手帖 木村成生

〒197-0023東京都福生市志茂113-2

寛 rakkodou.cside.com

◇28 2014.12 A5 86p小豆 ケガレの象徴として 木村 成生 正月行事にみるケガレ祓いの様相

木村 成生

正月行事にひそむ射日・招日神話

木村 成生

おわりに/引用参考文献 木村 成生 今号における新たな知見 木村 成生

◆史 叢 日本大学史学会

〒156-8550東京都世田谷区桜上水3-25-40 日本大学文理学部史学研究室内 Tm:03-3329-1151

♦91 2014.9 A5 128p

城司制の再検討 吉田修太郎 木戸幸一の思想形成過程について

一青年期の日記を中心に 塚田安芸子 今川義元没後の三河国―足利義輝

の駿・三和睦令をめぐって 臼井 進 林羅山の「湯武放伐論」について

小川 雄

書評 金山泰志著『明治期日本に おける民衆の中国観一教科書・

雑誌・地方新聞・講談・演劇に

注目して一』 片倉 芳和 大正期における「ジャズ」事情

-なぜ低級と呼ばれたか 青木 学

大会講演 グローバル・ヒストリ

- の史学史的位置 小田中直樹

◆城郭だより 日本城郭史学会会報 〒174-8691東京都板橋区 板橋北郵便局私 書箱50号 TELO3-3967-1948 1993年創刊 **令87** 2014.10 A4 6p 江戸城の櫓と門が改修中 一伏見櫓と大手渡櫓が修復工事

朝日新聞八月一日夕刊のトップ記 事「江戸城天守再建運動」にも

の申す

最近の城郭ニュースから 多賀城 南門復元へ調査/米沢館山城石 垣は景勝時代/会津鶴ヶ城址よ り金箔瓦出土/甲賀で方形舘址 が出土/郡山城天守は五層造/ 姫路城備前門石垣が出土

最近の注目される城郭関係図書から 鈴木かほる著〈史料が語る〉 『向井水軍とその周辺』、跡部信著『豊臣秀吉と大坂城』、岡崎 寛徳著『徳川吉宗と江戸城』、 谷口克広著『信長と将軍義昭』 各地の城郭研究会活動から/日本 城郭史学会活動から

◆杉並郷土史会史報

〒167-0022東京都杉並区下井草3-12-9 新村康敏方 1973年創刊 www.sugi-chiiki.com/rekishikai/ ◇248 2014.11 A4 10p 400円 玉川上水通船事情 木村 輝郎 高円寺耕地整理組合 騒動顛末記

新村 康敏 杉並の古い小学校校歌 新村 康敏 寄贈図書紹介 地下鉄誕生一早川 徳次と五島慶太の攻防 著者: 中村建治

◆すみだ川 隅田川市民交流実行委員会 〒111-0042台東区寿2-9-9 北村国男方 ™03-3844-2008 1987年創刊 ce.it-chiba.ac.jp/shinoda/ ◇56 2014.10 A4 24p はじめに 理事長就任にあたって

岡部 恒雄

篠田 裕

平成26年度 隅田川市民交流実行

委員会 総会報告

平成25年度 事業報告

西ヶ谷恭弘

総会記念講演「隅田川は、本当に

きれいになったのか」の要旨 佐藤 武

隅田川大学公開講座 フィールド

ワーク(FW)26 多摩川河川敷 散策と野草摘み 片田 宏一

隅田川大学公開講座 講演会〈そ

の1〉 小名木川界隈の昔ばなし

渡辺 早苗

「小名木川界隈の昔ばなし」雑感 小堀 郁恵 言いだしっぺ 講演会「小名木川

小木曽淑子

隅田川大学公開講座 講演会〈そ

界隈の昔ばなし| 実現への経緯

の2〉 田辺貞之助が生育した北

小木曽淑子/片田宏一

永代橋と率塔婆(県別・写真・観 光日本案内『東京都』 昭和36 年6月 修道社・刊)

隅田川大学公開講座 講演会 明 治の地図にみる隅田川河畔(橋

場·今戸) 稲川實/岡部恒雄

交流コーナー

紫川を愛する会「武良前 むら さき通信 | 第116号、2014年6

月号 衛藤 修一 第36回隅田川おどり 片田 宏一

会員便り

根こぶ病に思う 竹田 一明

隅田川と写真

隅田川に新しい橋が架かる それも隅田川と海の境目 鈴木 俊一 東京の川を考えるシンポジウム 2014―見つけよう!広めよう

訃報 柳澤弘道様 父の思い出 田辺唯実子 国際人だった柳澤さん **園佛須美子** 山田町・織笠川に鮭の遡上を訪ね

て20年 小木曽淑子

丸山理事より寄贈していただきま した 浅草大黒家 よもやま話

!魅力ある東京の川

言いたいことは山ほどある 丸山 眞司 当会会員 村松昭さんの紹介

『大東京23区東京散歩』

佐藤武レポート 背骨が上に曲が

った隅田川のメダカ

小池 淳一

馬場 永子

◆西郊民俗 西郊民俗談話会 〒160-0016東京都新宿区信濃町17-1 大島方 年2000円 1957年創刊 www11.ocn.ne.jp/~oinari/ **♦ 229** 2014.12 B5 33p

行き倒れ人関係史料にみえる遍路

一近世後期阿波を事例に 西 聡子 中国福建省福州市の道教信仰 川添 裕希 定義如来の信仰 大島 建彦 東京轆轤相神親王講の規約 一万年筆をめぐる講と技

◆全日本郷土芸能協会会報

〒106-0032東京都港区六本木4-3-6 三河台ハイツ206 1m03-6434-9435 年2000円 1995年創刊 www.ifpaa.ip ♦ 77 2014.10 A4 24p 萩平歌舞伎舞台 埼玉県秩父市寺尾 諏訪神社 天皇陛下傘寿奉祝お催し「日本の

民俗芸能」/第63回全国民俗芸 能大会「北から南から」神楽特 集/第56回 平成26年度ブロッ ク別民俗芸能大会

地域伝統芸能全国大会「地域伝統 芸能による豊かなまちづくり大 会 NARITA I

東日本大震災・郷土芸能復興支援 プロジェクト事業 民俗芸能で 広がる子どもの世界 第16回全 国こども民俗芸能大会 第2回 伝統文化継承フォーラム

東日本大震災・郷土芸能復興支援 プロジェクト

活動報告 人形歌舞伎の出前講演

菅野 芳治 新入会員 房州白浜座 中本 行政 組み立て式舞台で全国巡演 「文

楽しの新たなプロジェクトが始

東北地方の一人遣い人形芝居 庄 内出羽人形芝居を受け継ぐ 多

くの人に支えられて(1) 津盛柳貳郎

第24回全国地芝居サミット in 魚 沼/第25回全国地芝居サミット

東京あきる野市/菅牛歌舞伎・ 秋川歌舞伎合同公演

地芝居あれこれ(16) 全国地芝居 サミット in 魚沼はひと味ちが

う!? 蒲池 卓巳

地芝居探訪(52) 彦五郎祭公演/ 戸沢花湖蝶歌舞伎/美濃歌舞伎 納涼公演/黒沢尻歌舞伎

地芝居見聞(15) 黒沢尻歌舞伎 定期公演/里森歌舞伎 福島・

旧広瀬座公演 北河 直子

地芝居公演情報 10月中旬~12月 BOOK 良書紹介 「歌舞伎の化

粧 | 長谷一美編著 (芦野) 秋~冬のイベント情報2014/祭暦 2014 10月下旬~2015 1月中旬

民俗楽器(53) ウィーンの鍋型太

鼓 ティンパニー 山本 宏子 空白の沖縄芸能史(6) 嗚呼!我

青春の唄が聞こえる 中坪 功雄

会員紹介

岡崎五万石保存会

掛川祭愛好会 松浦

相川 恵彦

郷土芸能なう!! 獅子と過ごす祭 りの夜一東京都檜原村人里の獅

子舞 西嶋 一泰

地域の劇場から 地域の伝統芸能

を守り・支える劇場として 菅原 晃

◆大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会 〒157-0061東京都世田谷区北烏山2-3-9-101 光田憲雄 TeLO3-3307-2146 www.k5.dion.ne.ip/~daidogei/ **◇271** 2014.11 A4 2p 100円 『どうけ百人一首』に見る小商人 **♦ 272** 2014.12 A4 2p 100円 『江戸名所百人一首』に見る生業

◆多摩地域史研究会会報

〒207-0033東京都東大和市芋窪4-1735-1 梶原方 1991年創刊 tamatiken.web.fc2.com

♦112 2014.11 B5 12p

第85回例会報告 五日市鉄道大久

野線(支線)廃線沿いを歩く一五

日市鉄道と西多摩 池田

今後の例会・大会の予定

書籍紹介 西股総生著『「城取り」 の軍事学』 梶原 勝

地域史情報室 市制施行50周年記

念 特別展「下宅部遺跡展 縄

文の漆|

◆多摩のあゆみ たましん地域文化財団 〒186-8686東京都国立市中1-9-52 Tri.042-574-1360 年600円 1975年創刊 www.tamashin.or.jp

♦156 2014.10 A5 104p 《特集 江戸後期の流诵と市場》

近世中後期の北多摩地域の住民と

定期市利用 渡邉 英明

馬市再興願いに見る府中宿の市場

花木 知子

八王子の市と周辺の村々 神立 孝一

青梅の市―青梅町と青梅新町の市

日係争 齋藤 愃一

洋風建築への誘い(45) 日本の二 ジマス養殖発祥の地―旧柚木養

伊藤 龍也

建物随想記(40) 旧東京府水産試

験場吉野養魚場 酒井 哲

古文書は語る(40) 宝永の大地震 と富士山大噴火時の多摩一清水 家所蔵文書「谷合氏見聞録」よ

馬場 憲一

多摩の食文化誌(17) 増田 昭子 多摩のみほとけ(19) 昭島市普明

寺 木造大日如来坐像 齊藤 経牛 本の紹介

東村山ふるさと歴史館編『特別 展 徳蔵寺展―元寂の板碑と

峰岸 純夫

杉並区立郷土博物館編『特別展 甲州道中へのいざない 行き

交う人・モノ 多田 文夫

寺にまもられてきた文化財―』

岩田基嗣著『改訂版 異説 多

摩川上流水源地の歴史』 角田 清美

情報 多摩の博物館だより

◆東京産業考古学会 NEWSLETTER

〒173-0011東京都板橋区双葉町22-8-403 多田統一方/〒352-0011埼玉県新座市野火 止4-8-43 柚須紘一方 FAX048-479-7490 tias3 web fc2 com

♦109 2014.11 A4 6p

報告 見学会「IHI i-muse」 と「ミズノ・プリンティング・

ミュージアム

堀内 仁之

産業遺産を訪ねて(3)

秋田大学の鉱業博物館 平井 東幸

資料の紹介 『荒川ブランド モ ノづくり 見学・体験スポット ガイド2014』 荒川区産業経済部 観光振興課編、『荒川ブランド 伝統工芸品 荒川マイスター製

品編』荒川区産業経済部観光振

興課編

多田 統一

多田 統一

報告 講演会「人間と技術の観点 から鉄道の安全確保の産業考古 学的な考察 | / 研究会「産業遺 産としての樟脳一仏像からセル

ロイドまでの文化史| 博物館シリーズ(19)

日本最古の回転木馬

小野田良智

短信 「分析機器・科学機器遺産」 の認定/選奨土木遺産22件を選

定 土木学会

平井 東幸

茨城県稲敷市の赤煉瓦建築物(5)

関口邸長屋門及び蔵(3) 八木 司郎

◆練馬郷土史研究会会報

〒177-0041東京都練馬区石神井町2-28-31 吉越正博方 TELO3-3996-4454 1956年創刊

♦354 2014.11 A4 4p 東京市養育院と彼のひとびと(後 篇13) 放縦とフォーブの画家

長谷川利行(2) 日向康三郎 高札場 8月例会 初秋の東信州 歴史探訪/9月例会「古文書か ら見る黒田官兵衛」伊藤一美氏 豊島氏関係史料を読む(19) 天正

十三年七月十日北条氏政朱印状

の歴史的背景 伊藤 一美

◆練馬区地名研究会会報

〒176-0014東京都練馬区豊玉南3-24-4 飯塚芳男方 TELO3-3992-0264 年2500円 1987年創刊 **♦109** 2014.11 B5 4p 第109回例会 失われた中の宮の 痕跡-地名中の宮(現練馬区春

日町)の語源についての考察 榊原 輝一

◆風 信 在野史探究手造り個人誌 牧野登

〒204-0002東京都清瀬市旭が丘2-2-3-106 Tri.042-495-4111

♦84 2014.11 A4 60p

表紙 会津の遺腎

保科近悳(ほしなちかのり)

特集 西郷家21人自刃の深層

「大日本人名辞書|(明治19年4 月初版発行・大日本人名辞書 刊行会)

「西郷隆盛一代記」(明治30年11 月3日~明治33年6月25日「報 知新聞日曜版 | 107回)

「西郷近悳略伝」(大正元年12月 馬島瑞園翁記)

「西郷頼母ノ心事」(大正15年9 月「旧夢会津白虎隊」)

「会津藩城代家老・西郷頼母一 族殉死の真相 | 三宅直一(昭 和45年・会津会会報77号)

「松平容保と西郷頼母」(昭和53 年3月「アンドロメダ」西川満) 「平和を作る人たち―西郷頼母」 (1984年刊 安藝基雄著)

◆民具研究 日本民具学会

〒221-8686横浜市神奈川区六角橋3-27-1 神奈川大学日本常民文化研究所内 Tri.045-481-5661 年5000円

www.soc.nii.ac.ip/nmg/

♦150 2014.11 B5 105p

特集 第38回日本民具学会神奈川 大会シンポジウム「渋沢敬三の 民具研究

基調講演 渋沢敬三の民具研究

一柳田民俗学との対照から 佐野 賢治 報告1 民具研究の萌芽 小島 摩文 報告2 低湿地文化論の現在

―投資される低湿地 大門 哲 報告3 農漁民の提唱 秋山 笑子

近世農書から見た農具の使用事例

質疑応答・討論

(2) 木摺臼・土摺臼 桂 眞幸 アチック同人から見るアチック・

ミューゼアム研究史―藤木喜久

馬を事例に 小林光一郎 ひろば

第138回 日本民具学会研究会報 告 公開シンポジウム「海里

山の儀礼食をめぐって| 印南 敏秀

第139回 日本民具学会研究会報告

「民具の未来を支える工夫 | 織野 英史 書 評

宮本常一著 田村善次郎編『宮 本常一講演選集 第1巻「民

衆の生活文化| 印南 敏秀

北原次郎著『アイヌの祭具 イ

ナウの研究

展示批評・展示紹介 滋賀県立琵 琶湖博物館企画展示「魚米之郷 一太湖・洞庭湖と琵琶湖の水辺

の暮らし一 用田 政晴

◆民衆史研究 民衆史研究会

〒162-8644東京都新宿区戸山1-24-1 早稲田大学文学部 大日方研究室内 1962年創刊

♦88 2014.12 B5 70p 1500円

《特集 近世・近代の地域社会と文化環境》

特集にあたって 民衆中研究会委員会

明治期日本におけるリテラシーの

多層性

久保木清淵の文化活動

一地域学形成の基盤 酒井 右二

八鍬 方広

明治中期一老農における近世の農

業記録の活用とその背景―福岡 県高原謙次郎の集書と編纂物の

分析 松尾由希子

書評 木村涼著『七代目市川團十

郎の中的研究』 神谷 朋衣

展示会短評 町田市立自由民権記 資料館 企画展「諷刺漫画に見 る明治一〈笑い〉のなかの日本近

代一丨 西腰周一郎

◆民俗芸能 日本青年館

〒160-0013東京都新宿区霞ヶ丘町7-1 Tel03-3475-6605

www.nippon-seinenkan.or.jp

♦94 2014.11 A5 100p

《第63回全国民俗芸能大会特集》

今年の民俗芸能 山路 興造

稲沢番楽「金巻」と東北の修験系

神楽 菊地 和博

鶴岡八幡宮御神楽 加藤 健司 俵木 悟

今西みぎわ 木曽駒ヶ嶽神社の太々神楽

保存会活動のアンケート調査結果 各地の民俗芸能(第55回ブロック 別民俗芸能大会の報告)

北海道・東北 吉田 純子 関東 桶口 和宏 近畿・東海・北陸 宮田 繁幸 中国・四国 宮田 繁幸 九州 金子 健 青年たちと民俗芸能 第62回全国 青年大会郷土芸能の講評 齋藤 裕嗣 青年たちと民俗芸能 第62回全国 青年大会郷土芸能出演団体一覧 全国民俗芸能保存市町村連盟ニュ ース

◆民俗建築 日本民俗建築学会 〒162-0843東京都新宿区市谷田町2-33 法政大学デザイン工学部建築学科内 Tel03-5228-1496 www.folkhouse.org **♦146** 2014.11 B5 116p **扉絵** 旧十居邸 巻頭言 民俗建築学者群像(4) 杉本 尚次 大会発表研究論文

「鍵をかける」を「鍵をかう」 という名古屋方言の成立の考 証一方言居住生活語彙の歴史 考証の一例として 鏡味 明克 徳之島の住まい一琉球文化とヤ マト文化の間で 森 隆男 岩手県水沢の留守家の城館遺構 と家臣団の住居―6尺3寸間の 菊地 憲夫

有形民俗文化財(古民家・民具) の活用に関する試論 西尾 嘉美 筥崎宮本殿の構造形式と獅子間 佐藤 正彦 香椎宮の付属建物と頓宮および神

仏分離―新出の絵図 佐藤 正彦

隠岐島前神楽 山路 興造 | 岩手県南旧仙台藩領の民家におけ る柱内法制 菊地 憲夫 2014年度大会見学会報告 宮崎市 南部日南市の町並みと民家

> 研究会報告 その2 ウガンダ家屋 にみる原初性と茅葺き 日塔 和彦

米村敦子/尾前一日出/黒光貴峰

民俗建築アーカイブ(6) 昭和9年 の修理以前の正福寺地蔵堂の写

日本民俗建築学会資料担当 災害復興支援委員会活動報告 「いわき復興の響き展 | レポート

山崎 祐子

「あんばさまの町図絵 | 巡検報告

宮崎 勝弘

One Shot Minka(15) 合掌屋根の 棟包み 富山県南砺市相倉 杉原バーバラ VIEW 民家(44) 北前船の歴史が 残る出雲の漁村―鷲浦 河村 明植 2013年度日本民俗建築学会賞

(竹内芳太郎賞・佐藤重夫賞) 事 務 局 新刊紹介

『明治の小学校―教育資料館に みる社会のすがた― | 古川修

文著 出口 清孝

『ツイン・タイム・トラベル イザベラ・バードの旅の世界

金坂修文著 堤 涼子

『世界遺産 富岡製糸場と絹産 業遺産群 建築ガイド』富岡

製糸場世界遺産伝道師協会編

恩田 重直 文献紹介 単行本・報告書・論文 事 務 局 会報 第41回大会,理事会,会務 担当会議・研究会・平成26年度 シンポジウムと見学会・学生論 文奨励基金・「あんばさまの図

絵| 巛検 事 務 局

◆民俗芸能研究 民俗芸能学会 〒169-8050東京都新宿区西早稲田1-6-1 早稲田大学演劇博物館内 TELO3-3203-4141 年6000円 1985年創刊 **♦ 57** 2014.9 A5 59p 実践報告 時代祭に新しく加えた 風流踊り〔室町洛中風俗列〕の 梁島 童子 研究動向 花祭研究の現在―山崎 一司『花祭りの起源一死・地獄・ 再生の大神楽一』と井上降弘 『霜月神楽の祝祭学』によせて 久保田裕道 書 評

奈良県教育委員会編『奈良県民 俗芸能緊急調查報告書 奈良 県の民俗芸能1・2』 長谷川嘉和 和歌山県教育委員会編『熊野三 山民俗文化財調查報告書』 鈴木 正崇 書籍紹介 民俗芸能学会福島調査 団編『福島県域の無形民俗文化 財被災調查報告書 2011~2013

入江 官子

◆厚木市史たより

〒243-0018神奈川県厚木市中町3-17-17 厚木市教育委員会文化財保護課 Tel046-225-2060 2010年創刊 **♦11** 2014.10 A4 4p 郷土の絵師 歌川国経 平本 元一 発刊のお知らせ 『厚木市史』民 俗編(1) 生活記録集

◆小田原史談 小田原史談会 〒250-0003神奈川県小田原市東町1-21-18 平倉正方 7至0465-34-8363 年3000円 1961年創刊 odawara-shidan.hustle.ne.ip **♦239** 2014.10 A4 28p 報徳の伝道者(2)

安居院庄七のこと 青木 良一 小田原の郷土史再発見 贈答品・ 進上品等に見る北條家の文化財 石井 啓文 大久保家(小田原)江戸屋敷の変遷

(下)一上屋敷を中心に 中村 静夫 小田原の街角写真今昔(3)(岡部

忠夫先生のアルバムより) 植田 士郎 斎藤緑雨の小田原療養生活と金澤

タケのこと 中條 利昭

小田原藩浅田兄弟の敵討 『孝貞

義鑑』散策(21)(最終回) 鈴木 好 [『孝貞義鑑』散策] と私 鈴木 好 小竹久成寺と三十番神堂 米光 道子 上町の大塔家について 脇 松雄 「隠居」の大塔さん

大塔ご夫妻の話を聞く (松島記)

◆かまくら女性史の会 Newsletter 〒248-0012神奈川県鎌倉市御成町18-10 NPOセンター鎌倉気付 メールボックス26 **♦15** 2014.10 A4 2p

『かまくらの女性史』と夏 曾原 糸子 **♦16** 2014.11 A4 2p シンポジウム「鎌倉の近現代史資

料の保存と活用について 郡司 春乃

◆コロス 常民文化研究会 〒254-0016神奈川県平塚市東八幡2-8-20 西海賢二方 年1000円 1979年創刊 **♦139** 2014.11 B5 6p

文化的景観を歩く一葛飾柴又帝釈

天参道を寅さんと歩く(5) 西海 賢二

◆市史通信 横浜市史編集室 〒220-0032横浜市西区老松町1 横浜市中央 図書館地下 1 階 1元045-251-3260

2008年創刊

www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/housei/sisi/ **◇21** 2014.11 A4 12p

大横浜の時代 松本 洋幸 昭和六年の流行りもの

―ベビーゴルフ 百瀬 敏夫 横浜の空襲体験記をめぐって 羽田 博昭 開架資料紹介

『構浜の空襲と戦災』 羽田 博昭

◆首都研ネットワーク 首都圏形成史研究会 〒231-0021横浜市中区日本大通3 横浜開港資料館気付 1至045-201-2169 年2000円

♦67 2014.10 B5 4p 第94回例会 鈴木勇一郎「近代東 京における「寺院墓地」と郊外 墓地建設問題」、美甘由紀子 「輸出用花百合の球根栽培につ いて一八王子市の事例から一 /第95回例会/第96回例会 創 立20周年記念事業・シンポジウ ム「首都と首都圏 | (仮) / 研究 例会 第97回例会

情報ネットワーク 展覧会情報/ 講演会・シンポジウム情報

◆湘南考古学同好会々報

〒251-0044神奈川県藤沢市辻堂太平台2-3-19-104 寺田兼方方 1980年復刊 shounankouko.jimbo.com

♦137 2014.12 B5 32p

「第32回藤沢市遺跡調査発表会」

を抑えて 寺田 兼方

「第32回藤沢市遺跡調査発表会」 プログラム/第32回藤沢市遺跡 調查発表会遺跡位置図/藤沢市 埋蔵文化財発掘調査一覧表

西俣野御所ケ谷(藤沢市No100) 遺

跡 第3次調査 望月 芳

西富貝塚 (藤沢市No.46遺跡)

第8次発掘調查 桑原安須美 御幣山(藤沢市No48)遺跡 田村 良照

石川鍛冶山南(藤沢市No.454)遺跡

第4次~第7次調查 望月 芳

特別報告 南関東の遺跡テフラ試 料から見つかった河村城スコリ ア候補-1590年直後に富士山か ら噴出した新発見のテフラ

上本准二/上杉陽

誌上発表

石川鍛冶山西(藤沢市No.259)遺

跡 第10次調査 有馬多恵子 藤沢宿·東海道跡(No.78)遺跡

西野吉論/桑原安須美

桐井 聰男

◆日本地名研究所通信

〒213-0001川崎市高津区溝口1-6-10 川崎市生活文化会館 4 階 TELO44-812-1106 1993年創刊 www8.ocn.ne.jp/~timeiken/ **◇80** 2014.12 B5 8p

地名研究の「地方消滅」を防げ! 谷川 彰英 「常世」に帰られた谷川先生 荒竹 清光 たらぎ地名研究会 蓑茂 義量 義典 地道に歩み続ける 原 小柄でも力量発揮 中平 勝

地名探訪 狸穴(マミアナ) 「新宿 | 地名と歴史探訪

一内藤家と新宿 太田 鈴子 木曽川のほとりから 松尾 裕

◆扣之帳 扣之帳刊行会

〒250-0021神奈川県小田原市早川60 青木良一方 TEL0465-22-8852 年2500円 2003年創刊

hikaenochou.world.coocan.jp/mysite/

◇46 2014.12 A5 100p 500円 映画対談 パンドラの箱が開いた

宇佐美ミサ子/平倉正 小峰山の詩人たち

一永田東一郎と自由詩人社 杉山 博久 「人柱伝説 | 一長浜城と丸岡城 今川 徳子 桜町領横田村のかくれ芝居の一件

尾上 武

旅先で財布を失くした者同十の誼 ――昔前のインド・ネパール旅

佐宗 欣二 南紀に旅して一曾遊の地南紀・南

方熊楠翁の事ども 沢田秀三郎 青木 良一 「木村民俗|管見(1) 橋本樸々回顧展によせて 岸 達志 始まりの人(8) 吉田松陰(下) 茂木 光春

◆民具マンスリー

神奈川大学日本常民文化研究所 〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1 TeL045-481-5661 年3500円 1968年創刊 **◇560** (47-8) 2014.11 A5 24p 350円 登録有形民俗文化財に登録された

及び加工用具について 家田 望 大子町所蔵のコンニャク栽培・加

常陸大子のコンニャク栽培用具

工用具解説 桶口 潤一 コンニャクイモを貯蔵する火棚 中村 文美 大子町のコンニャクイモの栽培 山崎 祐子 成田山新勝寺石段横張奉納碑

一産業地域社会の遺産 宇田 哲雄 民具短信

天明四年の紀年銘のある唐箕 桂 眞幸 **◇561** (47-9) 2014.12 A5 24p 350円 「農具取調書帳

一明治五年の農具絵図 土田 睦 民具短信

唐箕の呼び名・トアオリ 桂 追幸

私のおしゃもじ考(9) 一松尾芭 蕉が"おくのほそ道"で詠った 「月に輝くおしゃもじ様」3 加藤 節男 アチック・ミューゼアムの民具コ レクション(38) 桶畑雪湖の妻

木村 裕樹

◆悠 久

鶴岡八幡宮悠久事務局(発売:おうふう) 〒248-0005鎌倉市雪の下2-1-31 Tel.0467-22-0315 1980年第二次創刊 **◇138** 2014.11 A5 106p 680円 《特集 時を計る》

楊枝コレクション(5)

幾度かの再開一「家康公の時計 | と の不思議なご縁 山田 五郎

古事記神話の「時間の神」 菅野 雅雄 日本人の時刻概念

一不定時法と定時法 湯浅 吉美

人類の英知を結集させた古代・中

世の時計 織田 一朗

中世末から近世初めの日本の機械 時計-西洋機械時計の伝来と和

時計製作技術の確立 佐々木勝浩 近世の和時計とからくり 山田 和人 口絵解説 家康公洋時計 落合 偉洲

江戸庶民の生活と時の鐘 浦井 祥子 時計と王侯貴族

アトキンソン・デービッド・マーク

八幡宮紹介

コラム

八幡宮神社(長崎県対馬市) 新刊紹介 『悠久の森―神宮の祭 祀と歴史―』音羽悟著/『歌の 原初へ 宮古島の神歌と神話』 居駒永幸著

◆歴研よこはま 横浜歴史研究会

〒245-0053横浜市戸塚区上矢部町1624-21

加藤導男方 1984年創刊 **♦ 71** 2014.11 B5 55p 平成26年度上半期行事を終えて 加藤 導男 《特集 城》

八王子城の歴史 竹村 紘一

秀吉が天下を制した陣城

—石垣山一夜城 加藤 導男 豊後岡城跡を訪ねて 大岩 泰 岩槻城の歴史 山口 正枝

推理で楽しむ古代史第6回

倭の五王 蛭田 喬樹 現人神の諏訪頼重と武田四郎頼勝

高野 賢彦

ヤマト史観雑考(2) 間淵二三夫 不比等の出生伝承をめぐって(7) 石川 勝義 鎌倉戦乱シリーズ(3) 山崎 宜晴 会員のひろば

歴史一口メモ(32)

華族の巻(11) 前部 謙蔵 全国歴史研究会

本部会員懇親会の報告 (編・記) 平成26年度春の歴史散歩「武蔵

の国 府中を散策する | 竹内 章二 エッセイ

私と四国遍路(9) 齋藤 宗久 東海道五拾参次 漫遊雑学記(3)

> 古谷 多聞 丹下 重明

古歌をたずねて(1) 新撰組異聞「綾瀬新撰組を訪ね

て 竹村 紘一

「おくのほそ道 | ひとこま

尾花沢 高島 治

第2回 三遊亭歌奴師匠の日吉落語

会開催報告 (編・記)

平成26年度春の一泊バス旅行「英

傑を輩出した越後への旅| 上野みどり

◆頸城文化 上越郷土研究会

関川西岸を潤した西中江用水

〒942-0081新潟県上越市五智6-1-11 花ヶ 前盛明方 TelO25-543-4354 1952年創刊 **♦62** 2014.9 A5 237p 《続 高田開府四百年 特集号》

一稲荷中江用水前史として 清水 萬蔵 頸城郡幕領下の割元に宛てた回状

-- 元禄十一年・同十万年の例 清沢 聰 日吉・山王・日枝神社 小史報告

青山 増雄

松平忠輝と居多神社 花ヶ前盛明

高田城下町ある記

新潟日報カルチャースクール上越教室 上越地方の弥生・古墳時代の玉作

遺跡について―ヒスイ原石産地 での玉生産の役割とその変遷 関 雅之

翡翠と鉄(1)

出雲文化圏と奴奈川姫 鰐渕 好輝 なぜ恵信尼は『親鸞伝記』に登場

しなかったか 太田 空腎 建永の法難と親鸞 三鳥 義教

親鸞の流刑地、越後の国府は「ま

きの村し

星野 欣也 石仏の世界とその歴史 石田 哲彌 越後守護上杉房能と「郡司不入」

に関する一考察 諸井 幸枝 御館の乱 土井 重男

才浜通りの寺院と檀家のこと 大

潟町史資料編 延宝九年(1681)

才浜中宗門人別改帳を読む 小池 曻 大坪 晃 大光寺石 糸魚川市の谷村美術館・玉翠園に

ついて 土田 孝雄

◆新潟県文人研究 越佐文人研究会 〒959-0438新潟市西蒲区下山340-2 Tri.025-688-5335 1998年創刊

♦17 2014.11 B5 178p 新潟県文人研究 既刊目次 王治本 越佐の旅 およびその間 の詩文交流一追補 柴田 清継 細野燕臺の旧蔵「唐津・馬上盃」 李 銘宗 に関する考察 槇田 善衛 会津八一と恩師平野秀吉 平野秀吉と相馬御風の交流 槇田 善衛 池内 力 會津八一関係の最近情報 良寛様と絵師・増田九木 坪井 玲子

東洋越陳人と磯野霊山について 二ノ倉 隆 記事 第63回新潟史学会研究大会 金子錦二の『新潟新聞』記者時代

田宮 覺

阿賀野市における石塚友二先生の

良寬行脚 角田浜「長谷川四郎治

句碑を尋ねて 鈴木 仁 前原一誠 生誕百八十年記念展 旗野 博 続・御掛物帳にみる新発田藩溝口

家旧蔵の書画 宮武 慶之 井上文昌の眷族 齋藤 倫示 漢詩人・阪口五峰の少年時代及び

初期の詩 田春娟 穂苅 隆 『鳥啼句集』増補改訂版(1) 『相馬御風宛書簡集』Ⅲについて

(9) - 画家・林武の書簡 金子善八郎 吉野秀雄と會津八一 岡村 鉄琴

◆新潟史学 新潟史学会

〒950-2102新潟市西区五十嵐二の町8050 新潟大学人文学部史学研究室内 Tel025-262-6289 1968年創刊 **♦ 72** 2014.10 A5 106p 1000円 明応四年の地震と『鎌倉大日記』 片桐 昭彦 中世後期越後直言宗寺院と甲斐円

ゼウス神とヘクトルの卓越性― 『イリアス』第八書に見る強制

縄文時代中期の東北系浅鉢の研究 阿部 昭典 動向 新潟県立歴史博物館・特別 展「親鸞となむの大地―裁後と 佐渡の精神的風土―」観覧感想

(強請)行為 高橋 秀樹

安藤 弥

書 評

山本幸俊著『近世の村落と地域

史料保存| 小田 真裕

西脇康著『佐渡小判・切銀の研

究 付佐渡銭』 渡部 浩二

総会記事

◆まきの木 巻郷土資料館友の会 〒953-0041新潟市西蒲区巻甲3069-1 Tel.025-672-6757 年1500円 1978年創刊

♦101 2014.10 B5 16p 資料紹介

魯松庵と巻村の文人たち(1) 亀井 功 小尾保重とその周辺(2) 山上 健 齋藤津平氏の講演について 小山 則子 旧巻町偉人・碩学 平野秀吉 江幡 完治

◆良寛だより 全国良寛会会報 〒951-8112新潟市中央区南浜通2 北方文 化博物館新潟分館内 Trt.025-222-2262 1978年創刊

♦146 2014.10 A4 20p 良寛遺墨解説(104)

可憐好丈夫(解良家巻子) 加藤 僖一 新 良寛尊像つれづれ(8) 銅板打

ち出し良寛像 無花果庵 櫛重

一郎作 涌井 茂

性坊教雅 矢田 俊文 折々の良寛(35) 第37回全国良寛

会出雲崎大会開催 長谷川義明

第37回全国良寛会出雲崎大会 記

念講演「良寛さまの禅の世界」 (抄録) 東洋大学学長 竹村牧

男先生 本間 動 特集 全国良寛会・出雲崎大会に

参加して

良寛さんの核心を学ぶ 山本 良一 良實聖地に集いて 吉井 和子 謝々 出雲崎、再見 新潟 青木 貞雄 良寛さまのお心に触れて 里羽由紀子 町内史跡めぐり 渡邉 恒侃 古へに 変はらぬものは 東條 玉英 森 和央 良寛さんな出会えた幸せ 良寛ぼさつに導かれて 福島 良一 越後の良實さ! 島田扶美子 加藤 僖一 出雲崎の思い出 平成27年度〔第38回〕全国良寛会 新潟大会(予告)

新作能「国上|-良寛慈愛の手ま

り一に寄せて 齋藤 達也

會津八一記念館がメディアシップ

に 照明が充実、展示は見やす

特別展「南吉と良寛」好評開催中

遠山 光嗣

吉井 清一

良寛 秋の花と紅葉のうた 素描 吉田 福恵 良寛さんと私一死の淵にたって 川口 霽亭 良寛関係施設行事案内

良寛の「温良厳正 | に思う一序章 中川 幸次 トピックス 良寛詩碑建立25周年

回顧展・発願人柳田聖山先生遺 作展/鳥屋野地区公民館成人大 学講座「相馬御風の生涯と芸術 |

開催される 加藤 僖一

◆日本学研究 金沢工業大学日本学研究所 〒921-8501石川県石川郡野々市町扇が丘 7-1 TELO76-248-1100 1998年創刊 **♦ 17** 2014.12 A5 374p

中世前期における白山信仰日吉信 仰全国伝播についての一考察

(2) - 東山道を中心として 平泉 降房 近世儒家の墓碑形態について

一崎門学派を中心に 松本 丘

近代皇室の社会的役割に関する基 礎的研究—宮内庁公文書館所蔵

『恩賜録』を中心として 川田 敬一 参議院議員河井弥八の誕生 内藤 一成 史 料

熱田神宮編年史料(稿本)

中世九 藤本 元啓

弘前市立弘前図書館所蔵『武蔵

小学弁解 | 秋山 一実

◆飯田市歴研ニュース 飯田市歴史研究所 〒395-0002長野県飯田市上郷飯沼3145 Tel0265-53-4670 www.city.iida.lg.jp ♦ 72 2014.10 A4 6p 第12回飯田市地域史研究集会を開 催しました 特集 記憶と経験 を語り継ぐこと―地域遺産とし ての「口述資料」

飯田歴研賞2014 受賞者コメント 胚研當 著書部門 飯田中学校 工場再現文集刊行合同幹事会 編『中学校が軍需工場になっ た 長野県飯田中学校生徒た ちの昭和20年(1945)春夏』松 本敬司さん

奨励賞 学校法人高松学園 認 定こども園 慈光幼稚園『慈 光幼稚園百年史 おさなごと ともに歩んだ百年』高松和子 さん

奨励賞 上山区史編纂委員会編 『上山区史』鈴木順三さん 歴史研究所協議会を開催しました

/美博まつり 建物の模型をつ くろう

資料整理の現場から 旧川路村青 年学校教師 今村正業氏への軍 事郵便―状況や心情を伝える70

年前の兵士の便り 上河内陽子

わが町の建築史ゼミ

10月30日(木)より開講 樋口 貴彦

♦ 73 2014 12 A 4 4n

広がる映像活用の取り組み―座光

寺の映像鑑賞会に参加して 安岡 健一

平成26年度文化庁芸術振興補助金 (文化遺産を往かした地域活性

化事業) ワークショップ 伊 那谷の人形芝居

満蒙開拓平和記念館所蔵 下伊那 郡町村会文書の整理と共同利用

本島 和人

報告 地域史講座「史料からよみ とる江戸時代の長久寺一飯田藩 との関係をさぐる― 千葉 拓真 わが町の建築史ゼミが開講しまし

◆伊 那 伊那史学会

〒395-0081長野県飯田市宮ノ上4048 Tel0265-22-6017 年5500円

◇1038 (62-11) 2014.11 A5 50p 550円

崎氏大正時代の法要 松澤 保

口絵 阿智村宗圓寺 代官向関宮

代官宮崎半兵衛重次とその供養塔

一遠山郷和田龍淵寺遠山氏墓所

下伊那の町村札・商品札(2) 伊坪 達郎 伊那自由大学と下伊那の青年たち

(1) 清水 迪夫 南信州の十王信仰と十王堂(中の1)

下伊那日録(2008年9月~12月) 寺田 一雄 **♦1039** (62-12) 2014.12 A 5 50p 550円 口絵 立石寺・十一面観音立像 織田 顕行 眼の人 井上正先生 安藤 佳香 井上正先生を偲ぶ 櫻井 弘人 先生からいただいた宿題

一井上正先生を偲んで 織田 顕行 雲の上の学匠一追悼・井上正先生

織田 顕行

井上正官庁の行基仏調査

立石寺・十一面観音立像 林 英壽 井上家と兄・井上正のこと 清水 好子 井上正先生 略年譜

思い出の講師(3) ナンチンゲー

ル記章受賞者 小林清子 大原千和喜 長姫選抜大会優勝とテレビ放映 今村 朝治

関島桃子さんを偲んで 鎌倉 貞男 水野英男さんのこと 槇村 洋介 下伊那日録(2009年1月~3月) 寺田 一雄

伊那 第62巻総目次 20141より201412まで

最高齢の『伊那』購読者

◆伊那路 上伊那郷土研究会

〒396-0027長野県伊那市ますみヶ丘798-7 Tri.0265-78-1269 年5000円

◇694 (58-11) 2014.11 A5 40p 500円 《柿木憲二先生追悼号》

柿木憲二先生の面影と歩まれた道 柿木憲二先生の『伊那路』寄稿録

『伊那路』 編集部

弔 辞

大きかった『伊那路』発展への

ご功績

池上 正直

仏教文化探究へのお導きに感謝 横田 良巳

仏教美術の世界へいざなってく

岡田 正彦 ださったご恩 高地 房子

高校生以来のご恩に感謝 氣賀澤徳義 春日愚良子 追悼句 追悼文 柿木憲二さん追悼 竹入 弘元 同僚として、師として 六波羅美代 「柿さ」のこと 小池 确 郷土史に踏み込んだ憲二君 矢島 太郎 柿木先生・柿木さん・ケンチャ 柿木先生を偲んで 杉浦 積 恩師柿木憲二先生を偲んで 武田 幸作 澥洉記 柳澤 次夫 青き日々の夢の儘一父憲二のこと 柿木 英人 諏訪神社に関連する歴史的変遷 飯塚 政美 日本の子育て(13) いろはかるた 大槻 武治 思い出の人・思い出の事(17) 山田邦夫氏 桃澤 匡行 文化短信 「西箕輪ぬくもり館」に 薪ストーブ 山口 通之 古文書の窓(119) 久保村(現南箕 輪村久保地区)にも「御柱祭」が あった? 松澤英太郎 高山の植物(25) オンタデ 南ア ルプスで見かけた植物(13) 田中 茂 **◇695** (58-12) 2014.12 A5 40p 500円 《広域特集号》 第39回上伊那歷史研究会県外実地 踏査報告「愛知県三河と上伊 那とのつながりを探るし 愛知県への旅 田村 栄作 中馬の一大中継地「足助」 福澤 浩之 塩の道を訪ねて 氣賀澤厚典 伝建制度を往か生かした町並み 保存が進む足助 渡辺 弘行 吉良上野介義央公菩提寺華蔵寺 訪問と「理鏡さま」のこと 矢島 信之 市上村中郷の遠山霜月祭り(12

吉良歴史民俗資料館 内藤りつ子 水戸浪士の足跡を中津川に訪ね 7 新井 幸徳 県外実地踏査に初めて参加して 春日 幸人 旅の雑感・道に思うこと 竹若 康雄 江戸に出た兄弟が商人として成功 した記録(1) 松澤 努 絵島の歯かを発見した田山花袋は 高遠へ泊まったのか? 北原 昌弘 中山道よもやま話 歴史エッセイ 編(2) 三留野宿 天才相場師 · 電力王 福沢桃介 宮下 明子 日本の子育て(14) 嘘つきは泥棒の始まり 大槻 武治 高山の植物(26) 西駒ヶ岳のコマクサ 田中 茂 『伊那路』第58巻総目次 平成26年(2014年) ◆伊那民俗 柳田国男記念伊那民俗学研究所 〒395-0034長野県飯田市追手町2-655 飯田市美術博物館内 TELO265-22-8118 年3000円 1990年創刊 **♦99** 2014.12 B5 8p 表紙 勢いよく燃え上がるドンド 焼き/ドンド焼きの準備 北原いずみ 飯田・上飯田のドンド焼き―子ど もたちの「小屋掛け」と現在の 変化 北原いずみ 民俗学入門講座第Ⅱ期 柳田国男 入門 第6回 福田アジオ所長

今井 啓

講演要旨

探訪会「今に生きる民俗を訪ねて」

報告 向山雅重民俗資料館と大

宮五十鈴神社(9月23日)、飯田

月7日) 民俗学入門講座第Ⅲ期 民俗学を 築いた人びと 第1回 講演要 旨 民俗学の形成過程と研究者 群像(福田アジオ所長)、伊那谷 の民俗学を拓いた人びと(櫻井 弘人会員) 今井 啓 報告 民俗学研究入門ゼミナール 10人が出席「速く調査がしたい」 積極発言も 熊谷 文世 飯田柳田研究会報告 『木綿以前 の事 | を読む(2) 一章から四章 髙橋 寛治 ◆信 濃 信濃史学会 〒390-0805長野県松本市清水1-9-607 Tel0263-36-1785 年8400円 www.shinano-shigakukai.jp ◇777 (66-10) 2014.10 A5 78p 1000円 《満州特集》 「分村」の戦後中 育のこころみ―中学校における

一下伊那地方を事例に 安岡 健一 満州移民にみる他者像新谷千布美 満州移民などをとりあげた平和教 教育実践から 両角 太 『あ、野麦峠』に関する研究―「女 工哀史 像の解釈をめぐって 永池航太郎 報告 信濃史学会第98回セミナー 一近世史料論 小野 和英 ◇778 (66-11) 2014.11 A5 76p 1000円 最近の武田氏研究と信濃 柴辻 俊六 信濃のオンドル状遺構についての 一老察 川崎 保 竹内武信の和算と規矩術への貢献

小林 博隆 『甲賀三郎説話』と伝承のあり方 福島 邦男 新聞・テレビ・雑誌などで紹介さ ◇779 (66-12) 2014.12 A5 78p 1000円 れた「善光寺参り絵解き図」 小林 玲子

《特集 中近世移行期の信濃と隣国》 「越中国切」をめぐる政治過程

一信濃情勢との関わりから 竹井 英文 戦国大名武田氏の佐久郡支配―内 山城代小山田虎満・昌成を中心

丸島 和洋

戦国期武家領主の書札礼と権力一

判物・奉書の書止文言を中心に

片桐 昭彦 松井田衆と碓氷峠の地域社会 簗瀬 大輔 書誌紹介

片山正行著『信濃の井上氏』 村石 正行 『信濃』第66巻総目次

◆長 野 長野郷土史研究会 〒380-0905長野市七瀬南部14-7 Tel026-224-2673 年4000円 1964年創刊 www.janis.or.jp/users/kyodoshi/ **◇297** 2014.10 A5 48p 700円 表紙・口絵 伝統的建造物群保存

地区になった稲荷山 小林竜太郎 新出・上原文路宛て一茶書簡 矢羽 勝幸 祈りの道・善光寺街道四百年 小瀬 佳彦 未来に伝えたい「日本一古い映画

館|相生座の価値 小林竜太郎 土井 重男 御館の乱(下) 夏目漱石と信州(12)(最終回)

佐久間象山ほか 中田 敬三 郷土史の視界(5)

江戸時代の「おやき」の記録 小林 一郎 長野と全国各地の繋がり(5) 高 田派本山専修寺と善光寺の交流

小林 玲子

生きた町の歴史を知ろう(5) え ぞす講が盛んな内陸の長野・群 馬・栃木県 小林竜太郎

◇298 2014.12 A5 48p 700円 表紙・口絵 長野県の北の入口の 一つとなる上越妙高駅(現脇野

田駅) 小林竜太郎

立川流棟梁山口藤蔵と長野市小田

切地区の三寺院 お観音様を中心に 瀬脇の百年 太田 正彦 信州教育 温故知新

一地域の学校と教育の多様性 竹内 延彦 最近読んだ歴史小説から(5) 鬼頭 康之 郷土史の視界(6)

海外とつながる越後 長野と全国各地の繋がり(6)

高岡の鋳物と長野 小林 玲子

生きた町の歴史を知ろう(6) こ

れから比較される富山・金沢と

長野市 小林音士郎

「善光寺参り絵解き図」 三月末完

成後の絵解き口演と聴講数 小林 玲子

◆長野県民俗の会通信

〒399-3301長野県下伊那郡松川町上片桐 2626-24 三石稔方 1m0265-37-3017 年5000円 www.k2.dion.ne.jp/~folklore/

◇244 2014.11 B5 8p

名号塔に見る松本市域における徳

本上人の足跡(2) 第191回例会報告

木下 守 小原 稔

駒ヶ根市大御食神社の獅子練り 臼井ひろみ

♦245 2015.1 B5 10p

神城断層地震と村の祭一小谷村中 谷大宮諏訪神社の祭礼に寄せて

太田 真理

葉書でつぶやくコーナー 「故郷 | の変質と、「郷土」の喪失一地

方・故郷・地元・郷土 平成26年度総会概要報告 (小原)

二年間の仟期を終えて

小原 稔

事務局の変更と新年度事業計画に

三石 稔

平成27年度第1回委員会報告 (三石) 「長野県中・南部の石造物 | 刊行に

あたって 福澤 昭司

◆岐阜市歴史博物館だより

〒500-8003岐阜市大宮町2-18-1 岐阜公園 内 151.058-265-0010 1985年創刊 **♦88** 2014.11 A4 8p 700号レジスター

1916年(大正5)発売

企画展「ちょっと昔の道具たち」 企画展「タイムスリップ! 大昔

のくらしし

特集展示「岐阜の年中行事一受け つがれる祭り―|

分館 加藤栄三・東一記念美術館 の展示、特集展示(2階総合展示 室内)、分室 柳津歴史民俗資 料室の展示

加藤栄三・東一記念美術館「加藤 栄三・東一とゆかりの画家たち| 研究ノート 養老孝子伝説の背景

吉田 晋右

館蔵資料紹介 金銅製双龍環頭太 刀柄頭 古墳時代後期 岐阜市 福富1号古墳出土

◆古地図文化ぎふ

岐阜県古地図文化研究会 〒500-8368岐阜市宇佐4-2-1 岐阜県図書館内 TEL058-275-5111 www.library.pref.gifu.lg.jp **♦14** 2014.5 A4 12p 倉石 忠彦 表紙 木曽川河口目論見絵図(写) 作製年 江戸時代/作者不明/ 原寸 100×160cm/手書筆彩

岐阜県図書館蔵 平成25年度地図講演会 講演要旨 高木家文書の古地図Ⅱ 秋山 晶則 平成25年度 研究発表要旨 機能している飛騨古川盆地の霞

新谷 一男

古地図などから見た大墳輪中の

外水・内水対策 伊藤 憲司

平成25年度 岐阜県古地図文化研 究会事業報告/平成26年度 岐 阜県古地図文化研究会事業計画

◆月刊通信ふるさとの民俗を語る会

民俗文化研究所 〒438-0086静岡県磐田市見付3532

Tel.0538-32-3546 2007年創刊 年2000円 www4.tokai.or.ip/child-c.i/

◇90 2014.11 A4 4p 300円 初倉のおせん女踊り 吉川 祐子

♦91 2014.12 A4 4p 300円 吉良さんと棉祖神の里

愛知県西尾市 吉川 祐子

◆静岡県近代史研究 静岡県近代史研究会 〒422-8529静岡市駿河区大谷836 静岡大学人文社会学部 橋本誠一研究室 TeL054-238-4544 年4000円 1979年創刊 **◇39** 2014.10 B5 122p 1500円 総会記念講演

日本近代外交史研究と教科書 原田 敬一 特集1 大正デモクラシーを考える 大正期の「開かれた社会 | 一大 正期デモクラシーの無限の地

金原 左門

静岡県下の1918年米騒動の始ま

りと、旧大池村宮澤家文書 清水 実 小杉あさと静岡県の盲教育 足立洋一郎 特集2 田中正造の新史料紹介

史料紹介 田中正告の新発見史 料(書簡と諷刺画) —掛川市所蔵 河井家文書調査より

河井重蔵/ 弥八研究会

「静岡平和資料館をつくる会」の

あゆみ (1) 浅見 幸也

◇437 2015.2 B5 4p 100円

2月例会レジュメ I 「航空軍都浜

松の成立と変遷 | を執筆して 村瀬 降彦

2月例会レジュメⅡ 伊豆におけ る国会開設請願署名運動一南豆

を中心として 高橋 廣明

書籍紹介 足立洋一郎著『愛盲―

小杉あさと静岡県の盲教育』 川上 努

◆静岡県近代史研究会会報

〒422-8529静岡市駿河区大谷836 静岡大学人文社会科学部 橋本誠一研究室 年4000円

◇434 2014.11 B5 4p 100円 会告 総会・記念講演の延期につ いて

11月例会レジュメ

地租改正による分附関係解消を めぐる訴訟と名主文書引渡一 駿河国安倍郡富沢村を事例に

岡村 龍男

松下 夏子

山代巴研究

図書紹介 桜井祥行氏著『静岡と

世界―静岡県国際化事始め―』村瀬 隆彦 **♦435** 2014.12 B5 6p 100円

総会報告

田中正造は生きているか 会誌第 39号掲載「田中正造の新発見資

料 について

◆静岡県民俗学会会報

〒424-0053静岡市清水区渋川1-9-6-101

清水 実

web.thn.jp/s-folklore/
◇153 2014.10 A4 8p
例会(第2回富士山見学会)のお知らせ 12月14日(日)

調査報告

博物館情報

由比北田の天王船流し行事 多々良典秀 シリーズ食(29)

蝮に因む御供物 外立ますみ 静岡の民俗語彙・方言短信 エビ /ホソー/カッテのシュロボー キ/コゾウコックリ/ヒソコ 渡辺 好洋

◆静岡歴研会報 静岡県歴史研究会 〒422-8045静岡市駿河区西島363-55 篠原旭方 Tel.054-286-8659 **♦141** 2014.11 B5 16p 涙雨と涼風の旅情 水無月の北房 総へ 一泊二日史跡見学会 大川 誠一 第105回研究会 松本検氏の「台 湾に潰した大灌漑施設 | の概要 /望月望氏の「家康の城、城下 町の形成~『城絵図』から見る 大阪城包囲網~ | の概要/和田 嘉夫氏「駿河における江戸・明 治時代の灯用作物 | の概要 世界遺産構成資産めぐり 富士山 麓を南から西へ日帰り中跡めぐ 大川 誠一

◆あつた 熱田神宮宮庁 〒456-8585名古屋市熱田区神宮1-1-1 1m052-671-4151 www.atsutajingu.or.jp ◇244 2014.10 A5 37p 熱田社の学統(4)

松岡市大夫と雄淵 太田 正弘 熱田神宮宝刀襍話(6)

「名鑑漏れ」等に資する宝刀 福井 款彦 南知多町の挨拶運動について(3)

創祀千九百年記念造営事業の回顧

小久保雅広

◆郷土研究誌みなみ 南知多郷土研究会 〒470-3412愛知県知多郡南知多町大字豊浜 字須佐ヶ丘5 南知多町教育委員会内 ℡0569-65-2880 1966年創刊 ◇98 2014.11 A5 84p 500円 表紙 故松本亀男会長/前会長松 本亀男氏と略歴 《前会長松本亀男氏追悼号》 第二の人生を充実させた二つの思

い出 松本 桂子 松本亀男先生の他界を悼む 相川 成三 松本亀男氏を偲んで 石橋 伊鶴 北前船の館・視察旅行の思い出 丸山 専治 故松本亀男会長さんとの思い出 澤田 利久 文化財保護委員長 松本亀男先生

森 崇史 松本亀男氏のご逝去を悼む 大岩 隆 観光ボランティアガイド育成の師

松本亀男先生お世話になりました

野口 正義

日比 桂子

松本亀男先生と「みなみ」 中村 祥 平成26年度南知多郷土研究会役員 源義朝の「長田により殺害伝説|

の検証安原後実トヨの里に生まれて田中誠内海十一ヶ村の地名のルーツを探

る 大岩 義昌 岩屋中之院の俳句碑の刻印(続) 高田 祐吉 「みなみ」原稿募集

第百号発刊に寄せて 編 集 部 世界一内海サンドスキー場の思い

出 内田 白花 常滑陶業界に貢献した井上楊南 大岩 泰彦

一挨拶放送の抜粋 内田 恒助 長尾村三井家文書「天明三年 長 尾村夘年御用御触書写帳 六月 廿三日 庄屋傳左衛門 より当 時の世相を探る 永田 久則 知多地名譚(5) 近世泉州堺と知多黒鍬衆 加藤喜代吉 兵隊二年(3) 内田 辰男 平成26年度 南知多町大井におけ る総会並びに研修会 澤田 利久 片名の神明社/大泊の天神様/銀 蔵弘法さん 南知多町誌 南知多の人 榎本犀助章清 中村 祥

◆郷土文化 名古屋郷土文化会 〒466-0064名古屋市昭和区鶴舞1-1-155 名古屋市鶴舞中央図書館 TELO52-741-9822 年3000円 1946年創刊 ◇**222** 2014.12 A4 48p 1300円 《「郷土文化」別冊 名古屋郷土文化会創立70周年記念写真集 一米国人の見た戦後の名古屋》 70周年によせて 郷土文化会70周年を迎えて 津田 豊彦 名古屋郷土文化会の70年一過去、 現在、そして未来へ 林 董一 収録写真について 写真の来歴/ ウィリアム・S・ペリー氏の略 歴/岡崎茂氏より寄せられたコ メント/ウィリアム・S・ペリ 一氏より寄せられたコメント ペリー氏が仕様していた地図 広小路/市制70周年/アメリカ村 /名古屋にいた米軍/名古屋市 广舎/愛知県庁舎/名古屋駅/

中村遊郭名楽園/松坂屋/大須

/名古屋城/名古屋城の風景/

堀川/東山公園/犬山/国府宮

はだか祭/蒲郡/風俗・風景/ 主な参考文献

◆銃砲史研究 日本銃砲史学会 〒285-0831千葉県佐倉市染井野5-67-15 宇田川武久方(連絡先) 年10000円 1968年創刊

◇379 2014.7 A4 84p 1000円日本における子砲式後装砲の展開一考古資料としてみた「破羅漢

砲」 神田 高士

例会発表

の影響・小澤一郎

松本城の火器仕様 青木 教司

天正10年松本小笠原鉄砲衆につ

いて 市川 慶一

八重とスペンサー銃 加藤 高康 解題 艦砲射撃の命中率に関する

遷(後)」 堤 明男

配布資料 ふたたび鉄砲伝来論一 村井氏の批判に応える 銃砲史 学会松本例会 2013.10.19 宇田川武久

12月例会報告 寛政九年の対馬沖の光と影(松尾晋一氏)/日本における子砲式後装砲の展開一考古資料としてみた「破羅漢砲」(神田高士氏)/八重とスペンサー銃(加藤高康氏)/19世紀イラン高原への外圧(おもにイギリス帝国)からの小火器流入とそのインパクトについて(小澤一郎氏)

3月例会報告 薩摩筒の定義と機 構(須川勲雄氏)/日本海海戦に

おける敵前大回頭と丁字戦法堤 明夫氏)/西南戦争の珍しい兵 器一口ケット・火筒・火矢(高 橋信武氏)/Sttar Carbine and its Ammunition(磯村照男氏)

◆東海近代史研究 東海近代史研究会 〒482-0044愛知県岩倉市宮前町2-75 西形久司方 TRIO587-66-7569 1979年創刊 **♦35** 2014.12 B5 110p 巻頭言 威圧電話 西形 久司 尾張藩正気隊の北越出兵 奏 達之 第一回総選挙と第一議会召集との

事件など 稲田 雅洋 「ええじゃないか」の本質をめぐ って-舞踏伝染病説(河本重次 郎・ノーマン)と即興的祝祭説 (太田明) 田村 貞雄

間一愛知県第一区同名投票訴訟

シリーズ・地域に根ざし平和を語 りつぐ(5) 静岡に平和ミュー

ジアムの設立をめざして 十居 和江 歴史の小径

本誌よ 何処へ行く? 秦 達之 青木美智男さんを偲ぶ 奏 達之

◆蓬 左 名古屋市蓬左文庫 〒461-0023名古屋市東区徳川町1001 Tel052-935-2173 1980年創刊 housa.city.nagoya.jp

♦ 89 2014.10 A4 8p 展示室1 · 2 徳川美術館本館 秋季特別展 復古やまと絵 新 たなる王朝美の世界一訥言・一 薫・為恭・清

展示室1 飾り金具/源氏物語の 世界(展示室1)、ひなの世界 (展示室1)

展示室1・2 徳川園・蓬左文庫 新装オープン10周年記念 古典 文学の世界 大名文化と古典 展示室 2 江戸時代の名古屋をさ ぐる一城・まち・ひと/名古屋 城下の調べ方/もっと知りたい 人は… デジタル版「名古屋城 下お調べ帳| 表紙 奈良絵本 つれづれ草

◆まつり まつり同好会

江戸時代(17世紀)写

〒496-8049愛知県愛西市塩田町砂山25 Tel0567-37-0441 年5000円 1961年創刊 ◇**76** 2014.12 A5 78p 1800円 《特集 神事芸能》

出雲地方における荒神と神楽一大 原神職神楽天保十二年本を中心

井上 隆弘 として

越前町八坂神社の水無月大祓一祝 詞を連続して言霊の実効を祈る

清水 昭男

沖縄のスーマチ(2)

一南西諸島のサークルダンス 坂本 要 まつり総目次(H26・12現在)

まつり同好会事務局

◆まつり通信 まつり同好会 〒496-8049愛知県愛西市塩田町砂山25 Tel0567-37-0441 年5000円 **◇574** (54-6) 2014.11 B5 8p 600円 新刊紹介 ぎふ 民俗音楽 第 101号 岐阜県民俗音楽学会編 茨城・女沼のささら 石川 博司 伊勢大神楽の同壇 蒲池 卓巳 民俗学最高の栄誉 第49回柳田國 男賞 蒲池勢至氏受賞

民俗芸能情報 全国農協観光協会

主催「民俗芸能と農村生活を考 える会 | 開催要項/「愛銀教育 文化財団 | から本会へ助成事業 採用決定

表紙写真のことば 鋤崎八幡神社 秋祭り 岡山県高梁市備中町平 渡辺 良正

民俗芸能学会 創立30周年記念

平成26年大会

◆伊勢郷土史草 伊勢郷土会 〒516-1103三重県伊勢市津村町786-7 1973年創刊

◇48 2014.10 B5 100p 1300円 お伊勢参りと御師宅のおもてなし

藤原 寛 遷宮諸祭余話 穀倉から社へ 荒井留五郎 计村 修一 宮川水運略史

伊勢市大湊町 戦争関連の遺跡と

石碑 山口あい子

伊勢郷土会第465回例会

度会町の歴史散歩 岡谷 昌行 伊勢郷土会だより 生方たつゑ・

荒木田久老・本居能登(安田広

治)関係箇所の清掃活動 阿形 次基 北村 玲子 随想 森添遺跡の思い出

◆織豊期研究 織豊期研究会

〒514-8507三重県津市栗真町屋町1577 三重大学教育学部 日本史研究室内 Tel.059-231-9218 年1500円 1999年創刊 **◇16** 2014.10 B5 91p 1500円 織田・豊臣大名細川氏の丹後支配

鈴木 将典 「長島一向一揆 | 再考 石神 教親 阿波出兵をめぐる羽柴秀吉書状の

年代比定 藤井 譲治

羽柴秀吉文書の年次比定について

播磨 良紀

史料紹介

奥羽仕置における豊臣秀次

-新出徳川家康書状の紹介 藤田 恒春 織豊期における公家の集団的参

礼記事一覧 井出麻衣子

書評 谷口央著『幕藩制成立期の

社会政治史研究-検地と検地帳

を中心に

本多 降成

活動報告 織豊期研究会事務局/藤原達生

◆湖国と文化 (財滋賀県文化振興事業団 〒520-0044大津市京町4-3-28 滋賀県厚生 会館 151077-522-8369 年2520円 1977年創刊 www.shiga-bunshin.or.ip **◇149** (38-4) 2014.10 B5 92p 584円 《特集 ヴォーリズ没後50年》 『ヴォーリズ・メモリアル in 近江 八幡』の開催にあたって 堀江 宏 ヴォーリズ・メモリアル in 近江 八幡-W.M.ヴォーリズ没後50 年企画展

ヴォーリズの教育 原点はYMC

Aという社会教育運動 池田 健夫 ヴォーリズの医療 仲間の発病で

計画が一気に実現 大道 重夫 ヴォーリズの伝道 ガラリヤ丸で

の琵琶湖畔伝道からスタート 道城 献一 ヴォーリズの事業 メンソレータ

ムに込められた想い 山村 徹 ヴォーリズの建築 人々を愛し、

生活を第一にして安らぎと共感

を呼び起こす空間を創る 芹野 与幸 ヴォーリズの素顔

満喜子夫人の思い出と共に 辻 友子 ヴォーリズと巡る ヴォーリズの

足跡が至る所に残り 古さと懐

かしさを感じさせる町 田中 宏樹 ニュースの小箱 ヴォーリズの名建築を訪ねて おうみ(近江)おうみ(多見)歩く 報告1 日本基督教団水口協会 (14) 湖西の遺跡と豪族小野氏 /陸水会館/ヴォーリズ通り を訪ねて 加藤 腎治 報告2 市民の手で建物の整備 新連載 鳥の目巡遊(1) と記録作り ヴォーリズ今津 名神瀬田東インター 延木由起子 郵便局の会 歴史文書は語る 県政史料室から 報告3 ヴォーリズゆかりの旧 (13) 彦根製糸場 大月 英雄 前田邸を継承 いずれは住宅 三角点の山と私(2) として居住 京都市民にも愛されている 元気な商店街その魅力(6) 梶山(大尾山) 山田 宗良 和邇商店街(大津市) 歴史ある古道から手軽に登れる 天下人「信長」の実像(4) 高旗山 吉野千栄子 信長と秀吉の料紙 髙木 敍子 新連載 おもしろ近江考古学(1) ◆彦根城博物館だより 最古級の土偶 松浦 俊和 〒522-0061滋賀県彦根市金亀町1-1 Tri.0749-22-6100 1988年創刊 シリーズ ふるさと遊彩(3) 田中陽一郎 www.hikone-castle-museum.ip 信楽 滋賀文化事情 ユウスゲ 天然記 **♦107** 2014.12 A4 4p 資料紹介 笙 銘海浦 頼尊作 念物指定10年を記念し伊吹山で 鎌倉時代 仁治2年(1241) 山と群落を守る集い 近江の水をめぐる(8) 当館蔵 茨木 恵美 呼ぶ水、続く水 空調設備改修により臨時休館中/ 石川 亮 わたしと湖国(7) ホームページ リニューアル! やっぱり琵琶湖はいいな 中村 百合 ポケットミュージアム 10/1~ 北から南から 2015年5月末頃 開国記念館 企画展示室1 大名文化への誘 各国の肉料理を楽しみ交流の輪 広げる 野口 観道 竜王町の体験教室で鮒ずしの 催し 美術講座、入門講座 歴史 「空漬け」に挑戦 門野 昇二 編 彦根藩の歴史―「井伊の赤 画期的な地球暦で年間行事表を 備え|部隊の活躍、城郭博物館 作成 熊谷 もも 三館連携講演会 近世城下町の 丘の上のキャンパスはヴォーリ 誕生と形成一安土・長浜・彦根 ズ建築 赤尾 和美 特集 博物館資料の修理 膳所城跡公園から日の出を狙う 小連載 表御殿のみどころ(2) 長井 泰彦 江戸時代の能舞台 茨木 恵美 第25回を迎えた「わらげん寄席」 研究余録 金亀玉鶴

山本 常秋 藩校稽古館の建設準備

青木 俊郎

◆民俗文化 滋賀民俗学会 〒520-1121滋賀県高島市勝野1681-5 Tel0740-36-1414 年4800円 1963年創刊 sigaminzoku.fc2web.com **♦614** 2014.11 B5 12p 400円 南の島に鐘が鳴る(前) 一多宝山南 洋寺とサイパン家政女学校のこ 福嶋 崇雄 近江中世石造美術石材研究ノート (3) 凝灰岩-笏谷石製石造美 術を中心に(下) 兼康 保明 長谷川博美 舟と鼠と倭(1) とりもち(黐)について 粕渕 宏昭 アイヌ民族の自作歌 大喜多紀明 人類の歴史と弱肉強食の記録だ一 科学技術を活用して永遠の平和 菅沼晃次郎 **◇615** 2014.12 B5 12+4p 400円 南の島に鐘が鳴る(後)-多宝山南 洋寺とサイパン家政女学校のこ 福嶋 崇雄 舟と鼠と倭(2) 長谷川博美 京攝の「奇縁氷人石 | について(1) 一天保13年以前の史料 関 啓司 「ハゼ籠(かご) | について 粕渕 宏昭 田舟について一滋賀県米原市 粕渕 宏昭 ハトコおっさんのこと 一南丹市美山町 西浦 左門 意密の世界とは 田中 春二 『翻刻 明月記』(追記) 関 啓司 民俗文化 第604号~615号 (6977 ~7120頁) 総目次(50) ◆京都民俗 京都民俗学談話会 〒603-8301京都市北区紫野北花ノ坊町96 仏教大学文学部 八木透研究室気付 Tel.075-491-2141 年4000円 1984年創刊 **♦32** 2014.11 A5 124p

近世中期における祇園社本領と 「同宿」 村上 紀夫 ある香川県出身企業大阪府下にお ける漁業経営一藤戸長太郎に関 する個人史的研究 増临 勝敏 玉手棠洲画『華城八景』の民俗書 誌論的考察 岸田 史生 祭りでみられる桂 一大津市の事例を中心に 森本 安紀 祇園祭山鉾町における町会所の形 態の変化一高度経済成長期以降 を中心に 佐藤 弘隆 大阪市大正区のウチナーンチュ における長寿祝い一その儀礼 形態と意味づけに関する一考 猪園 叶英 書評 森隆男著『住まいの文化論 一構造と変容をさぐる一』 村上 忠喜 新刊紹介 福田アジオ著『現代日 本の民俗学一ポスト柳田の五〇 年』、八木诱編『新・民俗学を 学ぶ一現代を知るために』、門 田岳久著『巡礼ツーリズムの民

◆古代史の海 「古代史の海」の会 〒615-8194京都市西京区川島栗田町22 中村修方 FAX075-392-3743 年4000円 1995年創刊 www7.ocn.ne.jp/~kodaishi/

族誌―誌要否される宗教経験』工藤紗貴子

円筒埴輪の起源渡部 正路アンデス通信(31)市木 尚利

表六甲山系弥生遺跡における太陽

野田 昌夫 観測 山下 輝幸 百済観音の飛鳥時代(1) 悲濤の人・福本正夫(7) 中村 修

◆史迹と美術 史迹美術同攷会

〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入 西大路町146 中西ビル内

Tel075-462-4292 年8000円 1930年創刊 **♦849** (84-9) 2014.11 A 5 32p 916円 百塔自然石塔婆群及び大乗院自然

石塔婆群について(下) 佐藤 誠 日本の塔百選(29)

閼伽井坊(花岡八幡宮)多宝塔 中西 亨 東山七条界隈豊臣家栄枯盛衰(下)

加藤 繁生

第999回例会 南河内・上の太子

叡福寺から中の太子野中寺へ 松永 修輔 **◇850** (84-10) 2014.12 A5 32p 916円 身延町大野山本浩寺、幻の銅燈籠

を追う 石塚 雄三

日本の塔百選(30)

厳島神社五重塔 中西 亨

「木百年妻深井氏墓 | 碑と石工「中

慶雲 | について(上) 嘉津山 清

2014年度(秋季)「石造美術勉強会」

報告(1) 品鱼阿止美

史迹と美術 第84輯(自841号至 850号)総合目録

◆史談福智山 福知山史談会

〒620-0883京都府福知山市本堀1430 中村邦夫方 TEL0773-22-2737

♦ 743 2014.2 B5 4p

平成26年度総会報告 記念講演 「小畠文書から見る光秀丹波攻 略の謎 | 大山崎町歴史資料館館

♦ 744 2014.3 B5 10p

長 福島克彦先生

古代中央集権国家における山陰道

・丹波、丹後ルートの想定(1) 塩見与一郎 コラム 明智光秀関連の話 大槻 伸 **♦ 745** 2014.4 B5 12p

古代山陰道に思う(2) 塩見与一郎 コラム 明智光秀の朱槍 大槻 伸 **♦746** 2014.5 B5 12p

古代山陰道に思う(3) 塩見与一郎 コラム 志賀里のしずく松 大槻 伸

♦ 747 2014.6 B5 6p 由良川架設橋梁運動の一コマ

(音無瀬橋のこと) 嵐 光澂

♦ 748 2014.7 B5 4p

ころび(油桐)について 大槻 伸

トピック 世界最古の土器片(中

国)と日本最古の土器片(青森県 外ヶ浜町) (付)福町山最古の

十器 塩見 昭吾

♦ 749 2014.8 B5 4p

大江町の庚申塔について 大槻 伸

コラム 枚方市禁野車塚古墳見学

会での失敗例 塩見 昭吾

♦750 2014.9 B5 6p

緑陰講座 醍醐寺と弘巌和尚の禅

画について 講師:山口正世司

会長「醍醐寺の梵鐘について」赤井 信吾 コラム 明智光秀の「湖水渡り」

は歴史的史実か 塩見 昭吾

♦ 751 2014.10 B5 8p

疫病(主として福知山地方) 嵐 光澂 大槻 伸 天寧寺の梵鐘等について

♦ 752 2014.11 B5 6p

算術の才女 佐藤小夜女 大槻 伸

コラム 愛国婦人会からの変遷

愛国婦人会→大日本防婦人会→

大日本婦人会→国民義勇隊へ 塩見 昭吾 根本惟明先生を偲んで 編集者

♦ 753 2014.12 B5 4p

鬼退治の音頭について

- 篠山音頭ほか 大槻 伸

◆丹 波 丹波史談会

〒622-0042京都府南丹市園部町栄町3-3-2 上野榮二方 1999年創刊

♦16 2014.10 A5 102p 1000円

発刊のことば 上野 榮二 口丹波の合戦と城郭(1) 若江 茂 長講堂領 弓削荘の課役 山村 安郎 丹波蜷川城と山崎合戦の謎 河原 信之 美山町における掟の類いの考察 小畑 弘 万延元年の一揆 稲元源太郎 日蔭下における樹木の生長 中屋 嘉治 資料紹介

新出の『内藤宗勝書状』につい

7 福島 克彦 『丹波地誌』考 上野 癸二

続・杉村光徳寺文書

今宮山 山論裁許 浅井 義久

丹波史談会例会研修内容

◆都藝泥布 京都地名研究会通信

〒611-0031京都府宇治市広野町宮谷110-15 糸井通浩方 TEL0774-44-7636

年3000円 2002年創刊

www.geocities.jp/Kyotochimei/

♦48 2014.11 A 4 8p

第38回地名フォーラム報告 発表

1 八幡信仰と地名伝承(石田天 祐) / 発表2 丹波式内社による 丹波猿楽の考察(櫻井雅子)/発

表3 京都手誌行政史料の活用

について(大野政男)

地名随想

寺の名の付いた町名(9)

元頂妙寺町 清水 弘 もう一つの「山背」 糸井 涌浩

京都地名研究会 第39回地名フォ ーラム案内 講演 吉田会長退 任記念講演 浦島太郎のふるさ と/発表1 秋山郷 平家落人 伝説と地名―その構造をさぐる (明川忠夫)、発表2 大路・小

路から通りへ一公家の日記を探

◆土 車 古代学研究所だより

〒604-8131京都市中京区三条通高倉西入ル 菱屋町48 TRLO75-252-3000

kodaigaku.org

る(清水弘)

♦127 2014.11 B5 8p

福井市糞置・二上遺跡の土器 山本 亮

角田文衞博士と岸本綾夫将軍市長

そして「マンガの神様 | 手塚治

山田 邦和

研究員の活動 関広尚世客員研究

員、長岡拓也客員研究員 随想(8) 生きている平安京

平安京の都市プラン

解 説

角田 文衞 山田 邦和

角田文衞古代学奨励賞 第4回受 賞者インタビュー 久米舞子氏

古代学講座だより 平成26年度後

期講座がスタートしました インド考古学通信(番外編)―イン

ド留学を通して学んだディシプ

リンの重要性 小茄子川歩

第4回角田文衞古代学奨励賞 久

米舞子「平安京『西京』の形成し

ーランドに殉じた禅僧梅田良忠|

◆やましろ 城南郷土中研究会

〒619-0204京都府木津川市山城町上狛南野 田芝29 中津川方 151,0774-86-3262

1953年創刊

◇28 2014.12 B5 150p 1200円 敗戦前後の旧木津町北大路町内会 文書―町内会保存文書にみる戦 時下の国策下達の媒体をめぐっ

て 青山由起子

鷲峰山金胎寺史の再構築

古代・中世の実像を求めて 八田 達男 宇治 文学碑廻り(3) 古西 亘 追悼 小林凱之さんの思い出 岡井 毅芳 史料紹介・宇治田原町今西義彦家

文書より 高尾 日露戦争「記

念碑」除幕式祝辞 橘 尚彦 《特集 続 南山城水害・台風十三号災害60年》 南山城水害 相楽郡連合青年団の

救援活動 永嶋 和男 宇治川決壊と旧巨椋池 堀井 篤 相楽地域災害救助活動の記録―資 料紹介 京都府相楽地方事務所 ・相楽郡町村会〔編〕『災害写真』 「序」

南山城水害誌(高麗村にみる記録)

(2) 大西 康允 解説一資料収集過程を中心に 赤塚 康雄 南山城水害慰霊碑・記念碑調査報 告(2)

南山城水害·台風13号災害 文献 目録 追加



小特集 城南郷土史研究会発足60年 研究会発足のころ一当時の記録 再録によせて 中津川敬朗 『関西地方史研究者協議会会報』

第10号(1953年7月1日発行)よ

り再録

城南郷土史研究会について 上野 公 研究会が発足するまで 城南郷土史研究会 *城南郷土史研究会は昭和28年4月に会員14 名で初めての会合を持ち、中津川保一氏を代 表者に選出して発足、爾来2度の休止期間が あったものの、昨年で61年目に入った。会創 立のきっかけの一つは、前年、京都大学国史 学研究所の若手研究者上田正昭氏、井ヶ田良 治氏らが農村調査で当地に入り、中津川氏宅 に宿泊したことにある。同氏の子息で現会長 の敬朗氏は、小特集・城南郷土史研究会発足 60年「研究会発足のころ―当時の記録再録に よせて一」で、その時、それぞれの村には村 の人たちの長い歴史があり、村の歴史を創っ てきたのは村の人たち自身であること、ま た、山城国一揆の史料にも、この町の人びと の動きがくわしく記録されているといった、 地域の歴史を学ぶことの意義を聞き、それが 「地域の歴史との衝撃的な出漕い」となり、 そこから学んだ「研究方法や姿勢、運営が今 日までずっと続いている」述べている。巻頭 言に掲げられた「『やましろ』は、自主的な 勉強の成果を通して、山城の人々の歴史と、 その伝統を考えあっていく場です。」「『やま しろ』を読みあうことは、山城の歴史と伝統 を土台に、現在の暮らしを考え、未来の地域 社会をつくることに役立てることです。| に その精神が示されているように思う。

ところで、奇しくも同地域は、研究会発足の年の8月14日から16日にかけて、激しい集中豪雨により、死者・行方不明336名、重傷者1366名。被災家屋5676名(数字は京都府ホ

ームページに拠る)という大災害に見舞われる。本誌27(2013.12)と28ではその災害60年を特集し、災害実態、救援活動、文献目録を記録する。まさに、会の歴史とともにあるわけで、常にこの歴史を振り返り、「未来の地域社会」作りに活かしていって欲しい。

◆立命館大学国際平和ミュージアムだより

 ▼立命館大学国際平和ミューシアムたより 〒603-8577京都市北区等持院北町56-1 『m075-465-8151 1993年創刊 www.ritsumei.ac.jp/mng/er/wp-museum/ ◇63 (22-2) 2014.8 A4 20p スポット ミュージアムの所蔵品 (60) 『アウシュヴィッツで殺 害された子どもの靴』

巻頭つれづれ 第8回 国際平和博物館会議@韓国ノグンリ 安斎 育郎館長だより 芸術・文化・科学で表す感性と理性の融合が持つ意味一立命館大学国際平和ミュージアムと設立予定の附属研究所

の使命についての考察 モンテ・カセム ここが見どころ 国際平和ミュー

ジアム初代館長加藤周一と「小 加國 尚志

運営委員リレー連載

平和構築の現場から 東 佳史

ミュージアムおすすめの一冊 石 川明人著『戦争は人間的な営み である一戦争文化試論』(並木

書房 2012年刊) 金丸 裕一 ミニ企画展 開催報告(2014年6月

~8月)/事業報告

〒596-0845大阪府岸和田市阿間河滝1425 井田寿邦方 TELO724-28-0204 年1200円

www.eonet.ne.jp/~sanonokai/

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報

◆323 2014.11 B5 12p 2014年度夏の研修旅行(1) 勝矢 寛雄 都市間鉄道網形成と観光地 一近鉄奈良線と生駒山(3) 岸田 修一 和泉の中世城郭(33) 井田 寿邦 たそがれの泉州弁(2) 中野 恒一

◆324 2014.12 B5 12p 土丸城についての新史料

一紀伊土屋家系図の記事 廣田 浩治 近世前期の土地「越ス」作業(5)

一和泉国佐野村の場合井田 寿邦昭和初めの佐野漁業(1)北山 理たそがれの泉州弁(3)中野 恒一

◆大阪の歴史 大阪市史編纂所

〒550-0014大阪市西区北堀江4-3-2 大阪市立中央図書館内 Tet.06-6539-3333 1980年創刊

近畿日本鉄道成立史の一断面 武知 京三 明治二十一年の巨獣たち一大阪府

立博物場美術館の天井画群 橋爪 節也 慶応二年大坂騒擾と戦時下の社会

変容 澤井 廣次 史料紹介 大阪地方世話部「陸軍 墓地ニ関スル書類綴 | について

(下) 横山 篤夫

みおつくし

直木倫太郎と帝都復興 川内 淳史 新刊図書紹介

オダサク倶楽部編『織田作之助

の大阪』、『織田作之助』 古川 武志 府女専資料刊行会編『大阪府女

子専門学校十年史草稿』 松岡 弘之

◆大阪歴史懇談会会報

〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2 アンテ ィークショップ一兵内 TELO6-6931-1081 年5000円 1984年創刊 osakarekikon.cocolog-niftv.com

♦363 (31-11) 2014.11 B5 8p

巻頭言「妖怪図・幽霊図 | (7)

「死神 | 井川 光正 平成26年10月例会報告(第338回)

「空也の二つの顔一山林修行者 と都市の念仏聖一」上田さち子

(朝山)

古文書講座·古文書苦楽部版(第5

同) 末期養子願と判元改 中

澤祐一氏 (和久)

元事務局長 安田建一さんの死去

の報に接して 田村 紘一

◇364 (31-12) 2014.12 B5 8円

巻頭言「妖怪図·幽霊図」(8)

「鬼」 井川 光正

平成26年11月例会報告(第338回) 「元寂の遺産(二題) | 一肥前の

「蒙古屋敷|跡と津軽の「つし

ま」姓 片倉穣氏

秋の見学会:報告

「大阪らくご散策」 (和久)

◆家系研究 家系研究協議会

〒675-0101兵庫県加古川市平岡町新在家 1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921 年5000円 1981年創刊

www.geocities.jp/kakenkyou/

♦58 2014.10 B5 101p 1500円 多々良姓大内氏とその同族諸氏

(F) 宝智 寿男

安原千方の足跡と出自・一族につ

いて 安原 繁俊

中田みのる

珍姓のルーツ(23)

肥後(熊本藩士)の山形氏について

(1) 相良 一夫

真説津軽為信物語(終編の1)一大 石内蔵助の高祖母共近衛卿の落

胤か、時慶卿記の真実

佐藤 博

西国街道まち歩き(1)

明石から神戸長田まで 須貝 降弘 島津氏関連著作物の紹介

野田 幸敬

薩壓刀匠 浪平正国一千年秘話

刀鍛冶の里(6)

浪平 博司

院政の政僧「信西」 川村 一彦

コラム ここでちょっとコーヒー

ブレイク 柳生一族とペギー葉

山さん/ちょっと気になる安井

馬原 浩一

表紙家紋「丸に三つ栗」

馬原 浩一

◆家系研究協議会会報

〒675-0101兵庫県加古川市平岡町新在家 1745-203 馬原浩一方 TELO79-424-0921 年5000円 2002年創刊 www.geocities.jp/kakenkyou/

♦50 2014.10 B5 8p

「孫子」の兵法を身につけた官兵

衛と村重

(朝山)

安居 降行

家系研究協議会 平成26年度 夏 の例会報告「馬場六太夫とその

一族の謎 | 作家木屋青子氏こと

馬場静枝氏、「千人頭の系譜ー

八王子武士の近世一」開沼正氏 (馬原)

家研協たより/家系研究協議会次

回例会予定

珍名さんいらっしゃい(45-2) 眞野 幹也

図書出版案内/受贈図書・資料

◆河童通心 和田寛

〒591-8021堺市北区新金岡町5-4-327 Tel072-251-2586 年2400円

◇366 2014.11 A5 12p 200円 人形(ひとがた)から河童(かっぱ)

 \sim (5)

和田 寛

◆近畿文化 近畿文化会

〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13 上本町YUFURA 7階

Tel06-6775-3686 年2200円

♦780 2014.11 A4 10p 300円 伊勢本街道周辺の文化財

一美杉町・御杖町・曽爾村 菅谷 文則 百舌鳥野を巡る

一百済・百舌鳥川を遡って 一瀬 和夫 **◇781** 2014.12 A4 10p 300円 巨椋池と宇治川流域の社寺と遺跡

を訪ねて

泉森 皎

奈良東南部の横穴式石室 猪熊 兼勝

◆城だより 日本古城友の会

〒577-0044大阪市西成区玉出中2-11-28 平川大輔方 TELO6-6652-4511 web1.kcn.ip/kojyo_tomonokai/

♦551 2014.11 B5 22p

近江 田屋城、井ノ口館を探訪し

ます/セミナー等のご案内/受 贈図書・資料/城郭ニュース

10月・第612回例会の報告

大和宇陀松山城、下秋山城 藪西 旭 会員通信 村上水軍の城を訪ねて

川端 義憲

新聞記事紹介

♦552 2014.12 B5 22p

総会・講演会のご案内(講演会 新谷和之氏「近江六角氏の底力

一戦国最大の城、観音寺城の成 立秘話 |) / 平成27年2月·第616

回例会の予告/セミナー等のご

案内/受贈図書・資料/城郭二

ユース

11月・第613回例会の報告

越前 疋壇城、若狭 国吉城 川端 義憲 会員诵信

村上水軍の城を訪ねて(承前)

来島城 (今治市波止浜町来島)、

甘崎城(今治市上浦町甘崎古城

川端 義憲

今治城の鉄御門も見てきました

木下 修二

小川 滋

新聞記事紹介

◆つどい 豊中歴史同好会

〒560-0054大阪府豊中市桜の町4-6-27-208 小川滋方 月1000円 1988年創刊

homepage2.niftv.com/tovonakarekishi/

♦322 2014.11 B5 20p

雄略天皇は「英雄王」か(中) 塚口 義信 豊中市・池田市の史跡を訪ねる 山口 久幸

♦323 2014.12 B5 14p 雄略天皇は「英雄王」か(下) 塚口 義信

堺市博物館と百舌鳥古墳群西群を

訪ねる

◆ヒストリア 大阪歴史学会

〒662-8501兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155 関西学院大学文学部 高岡裕之研究 室気付 1951年創刊

www.historia-osaka.on.arena.ne.ip

◇246 2014.10 A5 94p 900円

《特集 在郷町伊丹の歴史と発展》

特集にあたって 大阪歴史学会委員会 在郷町伊丹研究の成果と課題 今井 修平

有岡城跡・伊丹郷町遺跡の考古学

的研究成果 川口 宏海

伊丹郷町の文化的特質一郷学明倫 堂橋本香坡と幕末伊丹の町人文

今井 美紀

在郷町伊丹の近代化過程

一鉄道敷設過程をとおして 久野 洋 わたしたちの文化財

薬師寺最勝会 内田 敦士 書評 三宅正浩著『近世大名家の

政治秩序』 藤月

藤尾 隆志

新刊紹介

天野忠幸『ミネルヴァ日本評伝 選 三好長慶一諸人之を仰ぐ

こと北斗泰山一』 中西 裕樹 同朋大学仏教文化研究所編『教

如と東西本願寺』 大澤 研一報 告

宮内庁書陵部との懇談会2014 企画委員会 ピースおおさかの展示リニュー

アル続報3

企画委員会

◆民俗文化 近畿大学民俗学研究所 〒577-8502大阪府東大阪市小若江3-4-1 ™06-6721-2332 1989年創刊

◇26 2014.7 A5 350p

《静岡県の民俗》

大井川流域民俗語彙 野本 寛一 伊豆の水陸連携魚輸送

一馬士と押送船 胡桃沢勘司

東海地方のなかの静岡県

一さかいの民俗学 戸井田克己 伊豆のなまこ壁建造物群と清水瓦

網 伸也

静岡県のウミガメの民俗―御前崎 市・伊東市における15、6年前の

調査をふまえて藤井弘章

近現代における地域交通の展開一

南海高野線の存続と河内長野を

関わらせて 井田 泰人

書評と紹介

田畑久夫著『鳥居龍蔵のみた日 本一日本民族・文化の源流を 求めて一』 戸井田克己

岩本由輝編『歴史としての東日本大震災 口碑伝承をおろそ

かにするなかれ』 岩間 剛城

野本寛一・三国信一著『人と樹木の民俗世界一呪用と実用へ

の視覚―』 吉野なつこ

近畿大学構内遺跡学術調査の紹

介(1) 藤田 義成

付録 民俗学研究所第25回公開講演会 座談から見る柳田国男

(要旨) 鶴見 太郎

◆歴史考古学 歴史考古学研究会 〒580-0042大阪府松原市松ヶ丘2-12-16 奥村隆彦方 ℡072-331-6679

年3000円 1978年創刊

♦69 2014.11 B5 90p

韓国梵字資料調査(2011:2012年調

査) 高正龍/小林義孝/松永修輔/松波 宏隆/三木治子/横田明/金大煥/ 嚴基杓(東アジア梵字文化研究会)

梵鐘/石造品/瓦/腹蔵品/そ の他/梵鐘・仏画銘文

小仏塔の世界(1)

田村 信成

紹介 六字真言を刻んだ中世石塔

歴史考古学研究会(小林義孝)

◆会報むろのつ 「嶋屋」友の会

〒671-1332兵庫県たつの市御津町室津 457 たつの市立室津海駅館内 TEL079-324-0595 年3000円 1997年創刊 www.maple.or.jp/~shimaya/

◇21 2014.11 B5 41p
誌上ギャラリー 先人への想いー
黒田官兵衛の銀白檀塗合子形兜

岡田 道明

誌上インタビュー

小さな地域から見る世界 赤坂 憲雄 《特集 地域学》 地域学のすすめ

一「草木虫魚悉皆成仏」 中路 正恒 「播磨学研究所」の四半世紀 中元 孝迪 「いくつもの地域学」 柏山 泰訓 播磨の10人(1) 恵便法師 千田 草介 水で繋がれた歴史の中で(7)

中世の水産物の流通 岩井 忠彦 町並み探訪(21) 三角西港 八木 雅夫 博物館遊歩(21)

UCCコーヒー博物館 柏山 泰訓 広告世相史/クロスワードパズル 会員の書窓 防津暮色 高橋 邦夫 室津ミュージアムニュース/ふれ あいフォーラム

◆史料ネット NEWS LETTER

歴史資料ネットワーク 〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1 神戸大学文学部地域連携センター気付 ™078-803-5565 年1000円 siryo-net.jp ◇77 2014.12 A4 16p 《2014年8月豪雨災害対応特集号》 券頭言 2014年8月豪雨対応に思う

大国 正美

特集 2014年8月豪雨災害での史 料保全活動

徳島県海部郡海陽町での被災史

料巡回調査 川内 淳史 丹波市市島町における被災状況

調査 前田結城/小野塚航一 水損資料レスキューに参加して

-2014年8月福知山豪雨被害 室山 京子 広島土砂災害による被災写真ア

ルバムの保全活動 吉川圭太/吉原大志 歴史資料ネットワーク2014年度総

会・シンポジウムの記録 小野塚航一

歴史資料ネットワーク2014年度総

会シンポジウムに参加して 市川 大暉 第9回地域史卒論報告会 小野塚航一 第9回地域史卒論報告会

 地域史卒論報告会参加記
 和辻 卓也

 地域史卒論報告会参加記
 緒方 美咲

 兵庫区歴史講演会
 加藤 明恵

◆地域史研究 尼崎市立地域研究史料館紀要 〒660-0881兵庫県尼崎市昭和通2-7-16 総合文化センター7階 Im.06-6482-5246 1971年創刊

て 平野 泉 白髪一雄と尼崎 妹尾 綾 「尼崎市立開明小学校」の廃校か

ら「尼崎市役所開明庁舎」へ 山本 敏史 「鍛冶宗」の焼印づくり

一灘五郷銘酒銘柄榎本 利明「引札」を読む武田 壽夫誌上レファレンス地域研究史料館史料紹介

尼崎の古代・中世―史料と研究

(1) 尼崎市史古代・中世史

料補遺(1) 天野忠幸/樋口健太郎 壬生家文書所収の杭瀬庄関係文

書について 樋口健太郎 荒木村重の戦いと尼崎城 天野 忠幸 桜井忠興事績関係史料 田中 敦 襖下張り文書の保全と活用

一市民ボランティアとともに 松下 正和 尼崎市立地域研究史料館の下張り

文書はがし作業について 城戸八千代

◆西宮文化協会会報

〒662-0974兵庫県西宮市社家町1-17 西宮神社内 TELO798-33-0321

♦ 559 2014.10 B5 8p

11月行事秋見学会 民俗学のふる さとを訪ねる―柳田國男の生家、 日本玩具博物館、生野鉱山跡等

11月見学会の御案内2

民俗学のふるさとを訪ねるⅡ 山下 忠男 月見の宴 御報告 武地 秀実 「西宮」保存箱、玉手箱(11)

―情報公開課資料より 豊田 みか 夙川今昔物語(3) 村岡 和繁

♦560 2014.11 B5 8p

♦ 561 2014.12 B5 8p

12月行事 会員忘年懇親会

西之宮の信行寺の寺送状 藤田卯三郎 イギリスの旅 オックスフォード

・ロンドンの旅2

牧野 好男

豊田 みか

田邊 竹雄

「西宮」保存箱、玉手箱(12)

一情報公開課資料より 今年もまた

◆LINK 地域・大学・文化 神戸大学大学院人文学研究科 地域連携センター年報 〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1 Tel078-803-5566 2009年創刊 www.lit.kobe-u.ac.ip/~area-c/

♦6 2014.12 B5 154p

巻頭言 古市 晃 《特集 専門知と市民知一現場から問う》

趣旨説明 学問が展開する場につ

いて考える 市沢 哲

現代考古学とコミュニケーション

一日本版パブリック・アーケオ

ロジーの模索 岡村 勝行

地域に伝えられる災害伝承をいか

に受け止めるのか―"津波でん

でんこ"をめぐって 遠州 尋美

科学コミュニケーションの現状と

課題一実践者の立場から 伊藤 真之

神戸大学附属図書館所蔵「古文書」

の来歴と太田陸郎 山本 康司

史料紹介 明石市立文化博物館所

蔵 黒田家文書「慶応元年乙丑

年日記 |(下)

前田 結城

フィールドレポート

三木市の中心市街地における歴

史文化資源活用イベント「ミ

キシル」について 川北 健雄

「小学生から読める古文書講座」

事業の実践一新しい博物館教

育論と資料論の構築を目指し

篠山市立中央図書館地域資料の 整理に向けて一地域資料整理

サポーター結成と活動 井上 勝盛

LINKを読む

時評・書評・展示評

史学史のインタビューを読む 上川 通夫 「地域・大学・文化」 佐藤 昇

奥村弘編『歴史文化を大災害か

ら守る一地域歴史資料学の構 築─∥ 胡

大津留厚著『捕虜が働くとき―

第一次世界大戦・総力戦の狭

間で一 増田 好純

活動報告

速報 新出の「九鬼家文書」の

紹介 村井 良介

科研費基盤研究(S)の成果報告

選村 弘

人文科学研究科古文書室架蔵文

書群の紹介(3) 木村 修二

人文科学研究科古文書室収蔵文

書一覧(2013年度購入分) 板垣 貴志 石川道子氏のご逝去を悼んで

石川道子さんの思い出 奥村 弘 さようなら、石川道子さん 木村 修二 石川先生のご研究を辿って 加藤 明恵

◆歴史と神戸 神戸史学会

〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4 田中印刷出版内 Trt.078-871-0555 年3000円 1962年創刊

◇306 (53-5) 2014.10 A5 48p 600円 《特集 知られざる鉄道と通信の歴史2》 兵庫県内の航空灯台について 柴田 昭彦 戦前の弾丸列車構想ルート(神戸

市内)について 大島 貴之 神戸市の方面教育の始まり一その

前史から一九五〇年代までの展

鳥居 和代

わが神職累代の記(4) 祖父のこ

と(3) 恋愛結婚、事業挫折、

浪人募らし。 上村 武男

新聞地域版を読む

◇307 (53-6) 2014.12 A5 48p 600円 《特集 ひょうご近世史新研究》

播磨西国三十三所の札所の案内記

桂 義一

加西の文人、児島尚善と京都の儒

者、皆川淇園との交流 三枝 正平 尼崎城本丸御殿の鬼瓦 岸添 和義

わが神職累代の記(5) 祖父のこ

と(4) 転居、神職、そして終焉。

上村 武男

地名研究(105) 兵庫県の地名探

索 船坂 坂と地名 渋谷 武弘

ラフカディオ・ハーン(小泉八雪)

来神120年に寄せて 記者とし

て、八雲として 玉木 雄三 訃報 濱岡きみ子さんが永眠

巻頭言 一年の回顧と力作寸評 河野 昭昌

古文書解説

♦9 2014.10 A 4 49p

◆鳩 遊 斑鳩を古文書で歩く会

『斑鳩古文書三十選』25「広降 寺・聖徳太子像胎内物の包紙」

聖徳太子像胎内物包み紙の発

見と詳細 小山博之/足立恵子 /中西博子/横山誠

『斑鳩古文書三十選』27「僧賢

範起請文」 記名のある落書

起請文一「腎範起請文 | 河野 昭昌

『斑鳩古文書三十選』27「僧賢

範起請文| 釈文と若干の注

乗本 益行 「僧賢範起請文」の賢範小伝 田中 順一 落書、祭文および起請の体系と変

鬼塚 重則

牛玉宝印(ごおうほういん)につい

磯田 真理

証文の最後の決まり文句「仍如件」

「西方浄土信仰」と藤ノ木古墳に

について 鬼塚 重則 『南北朝期 法降寺記録』追考 河野 昭昌

ついて思うこと 横口 誠 吉田松陰の漢詩『詠姫路城』につ

いて 鬼塚 重則

「平成二十四年度公民館まつり」

コラム

参加者御感想

ニューヨークの吉野家の「牛丼」

は「和食」でしょうか? 小山 博之 『教育 PRO』(照一隅)より 河田 修

◆LUCIFER ルシファー

水平社博物館

〒639-2244奈良県御所市柏原235-2 Tel0745-62-5588 1999年創刊

www1.mahoroba.ne.jp/~suihei/ **♦17** 2014.10 A5 60p 第14回企画展「アートで人権」を 開催して 駒井 忠之 第17回特別展「水平社運動の多様 性」を開催して 佐々木健太郎 報告

公開講座 2013年度第1回公開 講座「衡平社と水平社の交流

について 徐知延/徐知伶 公開講座 2013年度第2回公開 講座「アートと人権―輝いて

生きる一| 田仲 敦三 水平社創立宣言を世界の記憶に

水平計博物館

第5回(2014年度)奈良人権文化 選奨表彰

2014年度「おもいやりショート レター| 各部門受賞者を表彰

◆熊 野 紀南文化財研究会 〒646-0024和歌山県田辺市学園6-3 濱岸宏一方 TEL0739-25-0657 年3000円 1969年創刊 **♦ 147** 2014.11 A5 83p

熊野地方の年貢と作徳 廣本 近世田辺領の今高制・上ヶ知制、

トヶ米制序説(4) 芝 英一 熊野に棲息する妖怪たち(3) 宮本 惠司 郷土関係新刊紹介 熊野中道 古 座街道/歴史の旅 熊野古道を 歩く/管野スガ再考/天神崎の 自然を大切にする運動 40年の あゆみ/熊野信仰の諸相 文化財ニュース/会合メモ

◆熊野誌 熊野地方史研究会 〒647-0045和歌山県新宮市井の沢4-15 新宮市立図書館内 TEL0735-22-2284 1958年創刊

◇61 2014.12 B5 131p 1500円 《特集 2011年台風12号》

紀伊半島大水害のこと 松實 豊繁 言い伝え 松村 哲 坂本 動牛 台風12号の思い出と今後 紀伊半島大水害・避難所の記録よ

丹羽 達宗 台風12号紀伊半島水害(当時の北

山村)報告 藪本いづみ 紀伊半島大水害―主婦の非・日常

生活 覚え書き 守安 美湖 私の中の台風12号 下阪 殖保 台風12号災害を体験して 福島 圭 第29回土と水と緑の学校開催への

正法地 浩

台風12号による紀伊半島豪雨水害

上中 章嘉 平成23年9月 台風12号による豪雨

災害から 倉橋 延行 一所懸命 大石 元則 太田川 木本 殖巳 平成23年・台風12号の災害をふり

仮って 引地 貞子

平成23年9月4日 真夜中の金山西

山地区災害 永井 充吉 2011年9月の台風12号による古座

川水害に関する聞書き 梅本 信也 2011年豪雨災害を振り返って 神保 信也 能野川数十年の移い 谷上 嘉一 風化させてはならない台風12号 西畑 正良 阿田和油社

一大水害から復興への記録 蛇畑 恵 日置川流域の三大水害 庸本 満 新宮の民話と伝説(下) 山﨑 泰 灯台守・芝山二三一の幾歳月と本

州最南端の町の灯台 上野 一夫 地形・地質からみた紀伊半島大水 後 誠介

◆国際熊野学会会報

〒647-8555和歌山県新宮市春日1-1 新宮 市教育委員会文化振興課 TEL0735-23-3368 年3000円 2005年創刊

◇22 2014.11 B5 4p 霊山金峯山と霊場熊野

一その成立と展開 時枝 務

国際熊野学会熊野・東京合同例会 in 順天・Suncheon 日韓国際シ ンポジウム 青巌大学校創立60 周年記念特別公開シンポジウム (実施報告) 総合テーマ「『日 本学』の構築に向けて

平成26年度国際熊野学会熊野例会 「熊野の霊山・霊場信仰 | / 明治 大学·新宮市連携講座 第8回熊 野学フォーラム(予告)「がま蛙 神 | はなぜ熊野に出現したか!

◆和歌山地方史研究 和歌山地方史研究会 〒649-6258和歌山県岩出市山980-2-1312 江本英雄方 年3000円 1980年創刊 wakayamachihoshi.hp.infoseek.co.ip **♦66** 2014.11 A5 80p

《特集 岩橋千塚再考(続)》

岩橋千塚と紀直 栄原永遠男 シンポジウム「岩橋千塚発掘着手 50周年 | の記録

和歌山地方史研究会事務局

万葉集・石上乙麻呂の土佐配流歌 群の「大崎 | 一聖武天皇紀伊国 行幸の道筋の想定にも及ぶ 村瀬 憲夫 名手狩宿の米騒動と諸階層-堀家 文書群中堀正寿『日誌』を史料 として

和歌祭餅搗踊囃子方の復興につい

蘇理 剛志 新刊紹介 海津一朗編『中世都市

根来寺と紀州惣国』(同成社中 世選書13) 弓倉 弘年

動向 2014年度和歌山県内展覧会 情報

中国・四国

◆北東アジア文化研究

鳥取短期大学北東アジア文化総合研究所 〒682-8555鳥取県倉吉市福庭854 Tel0858-26-1811 1995年創刊 www.cygnus.ac.jp/local/asia.html **♦39** 2014.11 A5 74p 人間形成と風土一高校教科書にみ る和辻哲郎「風土論」を中心に

1.7 佐藤 光方 民話「子育て幽霊」に見る母性愛 酒井 董美 サンフランシスコ講和条約と千島

竹島=独島問題(2) サンフランシスコ講和条約と千島

竹島=独島問題(3)

◆大社の史話 大社史話会

〒699-0751出雲市大社町杵築西2695-1 稲根克也方 1至0853-53-4966 年2500円 1974年創刊 www.taisha-shiwa-kai.ip **♦181** 2014.12 B5 34p 『出雲大社観光史』の発刊に寄せて

馬庭 孝司 出雲二見に整備された大社漁港 馬庭 孝司 読者コーナー 編集部 書籍紹介 会員の馬庭將光氏が自

費出版! 編集部 消えゆくもの(45)

一まくり(海人草) 春木 芳子

小田 直寿 日置風水の紀行文

『隠岐のすさび』を読む(7) 山崎 隆司 日本海運史料(11) 出雲国鷲浦庄 屋共有文書 御城米 御用荷物 雲州神門郡鷲浦入津改帳 藤澤 秀晴 特別展 尾道松江線発掘物語―中 国横断自動車尾道松江線発掘調 査の成果―開催にあたって

古代出雲歴史博物館

アテンダントのご縁物語(5)

-歴博であそぶ! 古代出雲歴史博物館 手錢記念館の四季 ワークショッ

プ「料理再現一秋の茶懐石一」 佐々木杏里 出雲弥生の森博物館 秋季企画展

出雲を掘る一第五話一瓦の歴

史 出雲弥生の森博物館 平成26年7月~9月出雲市大社町年

表 編 集 第

◆宇喜多家史談会会報

〒700-0826岡山市北区磨屋町6-28 光珍寺内 TEL086-222-2028 年2000円 2002年創刊 ◇52 2014.10 A4 10p 宇喜多家の歴史に学ぶ 大森 雅夫 宇喜多氏の城々(8) 奈良部城 ーその存否の検討(3) 出宮 徳尚

宇喜多秀家役を体験して 佐藤 貴洋 物語直家記伝 乙子の城 第22回

伴侶(8)山重十五郎会員サロン 高母平を訪ねて奥田亜紀子

◆岡山地方史研究 岡山地方史研究会 〒704-8113岡山市東区西大寺上2-6-36 村上岳方 TEL086-942-6156 年1500円 1986年創刊 homepage3.nifty.com/okayama-chiho/chiho/c-main.htm ◇134 2014.12 B5 30p

《特集 『歴史学研究』 「特集 史料の力、歴

史家をかこむ磁場 | 合評会》 特集趣旨 久野 洋 松原宏之「歴史の変動、歴史家と 変革」、小野寺拓也「過程的な 問いも引き出されるアクチュア リティー 大貫 俊夫 史料読解と地域・民衆-安村・沢 山・若尾各氏の論考を通じて 東野 将伸 安村直己「植民地支配・共同性・ ジェンダー―一八世紀メキシコ の訴訟文書をめぐって― |を読 沢川美果子 「当事者」と歴史学一歴研特集の 人見論文・藤野論文を読んで 松岡 弘之 「史料読解」をめぐる断章―岡山 地方史研究会での合評会に参加 1.7 大門 正克 参加記 多様な史料解釈と歴史学 の目的について 上村 和史

博物館特別展「護国山曹源寺」 展と池田家文庫絵図展「岡山藩 と明治維新|を見て 山下 香織

博物館・展示会めぐり 岡山県立

◆岡山藩研究 岡山藩研究会 〒169-0051東京都新宿区西早稲田 早稲田大学文学部 紙屋研究室内 blogs.yahoo.co.jp/okayamahanwaseda/ ◇74 2014.11 B5 10p 〈第22回総会の記録〉 2014.8.2 報告要旨

将軍綱吉の前田綱紀邸御成 池ノ谷匡祐 参加記

池ノ谷要旨「将軍綱吉の前田綱 紀邸御成」を聞いて 泉 正人 徳川綱吉の御成儀礼をめぐって 一池ノ谷匡祐氏のご報告を聞 いて 吉川沙里矢 ◆岡山民俗 岡山民俗学会

〒703-8421岡山市中区高島新屋敷382-14 難波後成方 年4000円 1949年創刊 http://okayamaminzokugakkai.web.fc2.com **◇235** 2014.12 B5 97p 大田植の研究一地理学の観点から

高野 忌み筋伝承の考察―ナメラスジと

ナワメスジを中心に 木下 浩 岡山県下における伊勢大神楽の回

檀と地域社会 森川奈津美

農耕技術民俗調査アンケート (昭 和46年) 結果・苫田郡 森川奈津美

◆岡山民俗学会会報

〒703-8421岡山市中区高島新屋敷382-14 難波俊成方 年4000円 okayamaminzokugakkai.web.fc2.com ◇213 2014.11 B5 12p 投稿 島村知章の墓所 次田 圭介 みんぞく読書会・参加者アンケー

ト 次田 圭介 学会記事

御影史学研究会との合同発表会

難波 俊成

合同発表会発表要旨

鶏合せの神事の持つ意味 藤原喜美子 岡山の忌み筋 木下 浩 箕面の役行者伝承と竜樹菩薩・

弁才天 籔 元晶 御室仁和寺配下の六十六部組織

について一三原市の新出史料

から
小嶋 博巳

憑霊信仰と憑祈祷

一修験と巫女をめぐって 酒向 伸行

◆芸 備 芸備友の会

〒731-0135広島市安佐南区長東1-4-12-10

小都隆方 1973年創刊 **◇44** 2014.12 B5 52p 1000円 《特集

最近の発掘調査・研究による新たな成果》 「考古学から見た郷土の歴史」

講座の報告

前方後円墳・甲立古墳の発掘調

査 沖田健太郎 安芸国分寺の発掘・研究の成果

妹尾 周三

甲立古墳造営の地理・歴史的背景

立口负担占 少地社 在人口日东

脇坂 光彦

「"広島県の遺跡は今"報告・講演

会」の報告 芸備友の会

遺跡・文化財の動向―2014年1月~

12月 芸備友の会(脇坂光彦・小都隆)

◆備陽史探訪 備陽史探訪の会

〒720-0824広島県福山市多治米町5-19-8 TEL084-953-6157 bingo-history.net

♦180 2014.10 A4 26p

高田河内守と太閤蔵入地 田口 義之 カンタン 山城鳥瞰図

その3 いろいろな表現 山岡 佑佳 調査報告 中世石造物の調査報告

篠原 芳秀

古墳講座

邪馬台国を考古学する(1) 網本 善光 吉田豊辰家に伝存した遺失古志家

文書について 矢田 貞美 古文書解読 「宝永八年沼隈郡神

嶋村萬差出帳 | (5)

備後史談 榎木峠2 享保の一揆 根岸 尚克 大分便り 語り部の会研修旅行 後藤 匡史 備後史談

尾道の力石と沖神社について 岡田宏一郎 例会談義 4月バス例会「備北紀

行」に寄せて・その2 稲葉 泰造

例会報告

ドタバタ姫路行 大場 和弘 信長が生きていれば

松風月「日本百名城の旅| 佐藤 秀子 近世・近代史部会便り 「近世福 山を読む」第18回〜第19回要旨

髙木 康彦

山城レポ 越前の山城

一乗谷朝倉氏遺跡 末森 清司 備陽史研究「山城志」 目次総覧(第 10集~第15集) (1991~1998) **♦181** 2014.12 A 4 30p

『備後古城記』を読む一田邊美作

守、未渡村国広にて成敗の事 田口 義之 調查報告

山手銀山城測量調査報告

カンタン 山城鳥瞰図

その4 相方城を描く 山岡 佑佳 古墳講座

邪馬台国を考古学する(2) 網本 善光 地主大明神

矢田二郎三郎重宗の碑文 矢田 貞美 備後史 100Photo P1

伊能忠敬御膳

古文書解読 「宝永八年沼隈郡神 嶋村萬差出帳 |(6)

研究レポート 甦る福山城下町一 現在の町並へ城下町を復元する

瀬良 泰三

調査報告 中世石造物の調査報告

篠原 芳秀

郷土探訪 賽の神を探す 根岸 尚克 大分便り 石田三成末裔の行方 後藤 匡史 備陽史聞き語り 祖母が見た戦争

大場 和弘

例会談義

藪路三軒家のこと 野田 恭造 4月バス例会「備北紀行」に寄せ

て・その3 稲葉 泰造

例会報告

「藪路大峠を歩く」に参加して 山本 典子 ぶら探訪「藪路大峠を歩く」 岡田宏一郎 前方後円墳ツアー 野母 寿子 近世・近代史部会便り 「近世福山

を読む | 第20回~第21回要旨 髙木 康彦 山城レポ 越前山城探訪

横山古墳群と瓜牛城跡 末森 清司 備陽史研究「山城志」目次総覧

(第16集~第21集) (2002~2013)

1月24日備陽史探訪の会記念講演 に寄せて 福山藩の農民はどの ように年貢を負担したか―阿部

氏治世期福山藩徴租法の探究 勝矢 倫生

◆みよし地方史 三次地方史研究会 〒729-4304広島県三次市三良坂町三良坂 2747 中畑和彦方 TEL0824-44-2753 1987年創刊

♦95 2014.12 A4 10p

《故新祖隆太郎氏(本会会長)追悼号》

米丸 嘉一 弔 辞 本紙に掲載された論文・報告文一覧 その足跡と「思い出のアルバム」 遺稿 『三良坂町中世史料総覧』

(その1) 新祖降太郎

三次地方史研究(第4集) 上木屋 文書(史料編1) 藤村耕市責任 編集/ものがたり・三次地方史 芸備線百年一あなたの思い出の 駅・思い出の列車は 米丸嘉市

◆わが町三原 みはら歴史と観光の会 〒723-0062広島県三原市本町1-9-27 福岡幸司方 TEL0848-62-2935 年3600円 今月の各地 三原讃歌 パートI

大坪 一風 Culture Club

H26年度総会記念 網本善光先生 講演「三原の古墳時代をさぐる」

(要旨4) 鈴木 健次

とくじゅまる物語2

「さんぼんのや」 下西 勝彦 八階 見晴中 病床狂語(最終同)

備後 浮城

◇285 2014.12 B5 18p 100円 今月の各地 鎮守の祭りを若い世

代に伝えよう 羽藤 文雄 H26年度総会記念 網本善光先生

講演「三原の古墳時代をさぐる」

(要旨5) 鈴木 健次

平成26年度レキカン秋の研修旅行 つ「阿久利姫のふるさと三次 をたずねる | に参加しての感 想文

三次と三原 大谷 和弘 阿久利姫の故郷 三次を訪ねて

寺迫 保夫

三次への研修旅行に参加して 桧山 幸三 秋の研修旅行 行武 郁子

秋の研修旅行 丹 悟 三次の旅 似たもの同志の街 大坪 一風 秋の研修旅行に参加して 西村 雅幸 とくじゅまる物語3

「ひとこそ たから」 下西 勝彦

◆徳島県立博物館ニュース

〒770-8070徳島県徳島市八万町向寺山 徳島県文化の森総合公園 TEL088-668-3636 1990年創刊

www.museum.tokushima-ec.ed.ip **♦97** 2014.12 A4 8p 300年前の巨大地震を伝える 宝

村塩除堤奉願帳扣 松永 友和

磯本 宏紀 改良唐箕「島本式唐箕」

館蔵品紹介

那賀郡富岡町吹田家文書 松永 友和

情報ボックス

毒棘をもつ魚 アカザ 佐藤 陽一 野外博物館

山里に群生して咲くタンポポ 小川 誠

Q&A トピックコーナーで展示

した土器の年代は、どうやって 決めたのですか? 岡本 治代

◆伊予史談 伊予史談会

〒790-0007愛媛県松山市堀之内 愛媛県立図書館内 1915年創刊

◇375 2014.10 A5 51p 750円 四阪島煙害問題の再検討

一農村社会の動揺をめぐって 永井 紀之

歴史余話 古代の戦乱・政変の呼 称と日本史教科書 寺内 浩

美術館へ行く 愛媛県立美術館

「空海の足音・四国へんろ展

愛媛編 | をみる 松友 武昭 小特集 話題の研究書

橋本雄一著『斉明天皇の石湯行

宮か-- 久米官衙遺跡群-- 』 山内 英樹 長井敷秋著『愛媛県内の主要宝

筬 印 塔 | 十居 聡明

市村高男編著『中世宇都宮氏の

世界一下野・豊前・伊予の時

空を翔る一』 桑名 洋一

四国中世史研究会・戦国史研究

会編『四国と戦国世界』 中平 暑介 土居聡明・村井祐樹・山内治朋

編『戦国遺文―瀬戸内水軍編

磯川いづみ

藤田達生著『蒲生氏郷一おもひ きや人の行方ぞ定めなき― 『宇都宮匡児 川東竫弘著『帝国農会幹事岡田 温(上巻)—一九二〇・三〇年 代の農政活動』 高須賀康生 新刊紹介 遊口親之著『平和と自 由を希求した人一愛媛における 新渡戸稲造・矢内原忠雄・乗松 雅休・安藤正楽らの足跡□、田 中貞輝著『幕末宇和島万華鏡』

編集部(髙須賀康生)

郷土その日その日 編集部(柚川俊夫) 例会記事 第1189回~第1191回

◆海南千里 土佐山内家宝物資料館だより 〒780-0862高知市鷹匠町2-4-26 Tel088-873-0406 2000年創刊 www10.ocn.ne.ip/~vamauchi/ **♦44** 2014.10 A4 10p きうのすんとりやう覚(灸の寸取 り様) 實文11(1671)年~延宝 元(1673)年 始まりと終わり 特設展紹介 「わき出づる歴史― 長帳の世界一|(冨井優)/特集 コーナー 「吉祥 | (尾本師子)

事業報告 平成25年度高知大学の 学芸員資格課程との連携事業 運営・広報(大平悦子)/調査・ 整理(片岡剛)/展示・公開(横 山和弘)/教育普及(中屋真理) /地域連携(筒井聡史)

特設展関連行事報告 「寄贈寄託 展 蔵出し高知の歴史 関連行 事 特別講座「寄贈・寄託資料 より 三つの歴史―家臣・田畠

古賀 康士 ・満州―|

御道具根居をよか(5)

御道具の世界像(3) 屋本 師子 新 研究の手引 家紋を調べるには 片岡 剛 整理と保存(44) 修理事例「槍 |(2) 田井東浩平 古文書への招待 長宗我部氏の材

木献上と土佐藩 横山 和弘 土佐史の人々

香宗我部親泰(1543~1593) 横山 和弘 古文書基礎知識 紙背文書 古賀 康士 土佐の○ 地域とともに 「大学

連携の取り組み一高知大学博物 館学芸員資格課程との連携―」中屋 真理

清水地区の皆さん 筒井 聡中 ポスター・チラシの発送 村﨑加奈子

まなびのひろば 高知城御台所伝

お世話になった人々一十佐清水市

承梅漬けの会/夏休み工作教室 ①伝統建築に学ぶ! イスをつ

くってみよう!、②和本をつく

って、絵日記をえがこう 中屋 真理 受付だより

山内資料館を囲む自然 大平 悦子 路傍の歴史 弥右衛門ノ丸

高知市弥右衛門地区 藤田 雅子

◆秦史談 秦史談会

〒780-0023高知市東秦泉寺283 松本紀郎方 TeL088-875-6671 1984年創刊 **♦180** 2014.11 B5 63p 表紙説明 久万川夕景(久万川橋)

松下 政司

子安信仰あれこれ

広谷喜十郎 - 秦地区の場合

秦の昔話(41) 東谷の巻 秦泉寺 城址のふしぎ 二話(『こうち

童話』第88集から) 永野美智子

地名往来 宇津野 山あいの袋状

の地(『高知新聞』より)

「秦泉寺郷地検帳 | に見る秦泉寺

村の不思議 松本 紀郎 絵巻物「浦戸湾風景 和田 豊子

澤田正太郎氏画の卓上カレンダー

来信 「劇団若獅子」と「澤正」 安藤 美智 土佐ゆかりの沢田正二郎創設

「新国劇の世界 | 展(『高知新聞』 より)

お龍さん雑録(3) 岩﨑 義郎 土佐路の野口雨情(10) 四国東南部における野口雨情の作

原田 英祐 谷干城の洋行について 武山 高之

千頭 將宏

銘酒「瀧嵐」を愛でたもう一人の

秦・史跡めぐり余滴(10)

一溝渕庸之丞 (松本)

笹原 保博 黒田節の母里太兵衛

「ローカルジャーナル 秦史談!

(『高知新聞』より)

遠みち近みち 石に刻まれた地震 の遺訓(『日本経済新聞』より)

近江屋事件百五十年に向かって

川路 洋

七ツ渕神社(高知市)の橋落下 3 日前後の大雨影響(『高知新聞』 より)

随想 軍歌 松本 紀郎 戦史22 七三一部隊の暴虐(2)-

ロシア人の女の子毒ガス室へ 毛利 俊男

一宇津野の陸軍の壕跡 (松本)

「翠柊覚書|より 淋し谷・秦泉

寺氏墓地を訪ねて 神里翠柊(良)

平成26年度秦ふれあいセンター市

ジョン万研究家・永国さんしのぶ 「教えが小説の参考に」高知市 山本一力さんが講演(『高知新 聞!より)

岡村庄告氏拓本集から(33)

九州・沖縄

◆季刊 邪馬台国 梓書院

〒812-0044福岡市博多区千代3-2-1 麻牛ハ ウス3階 151092-643-7075 1979年創刊 **◇123** 2014.10 A5 204p 1250円 券頭言 時代は動く

特集を組むにあたって 〈総力特集

「新・古代年代推定法=鉛同位体比 |の研究> 銅鐸を中心とする青銅器の銅原料

には、時代とともに一定の方向 の変化する強い傾向がみられる ここから、青銅器の製作年代

を推定できる 安本 美典

鉛同位体比から見た弥生期の実年

代に関する一試論 新井 宏 〈小特集 長野県から出土した銅鐸〉

長野県から2007年に出土した銅鐸

について 安本 美典

長野県中野市柳沢遺跡の発掘調査

東日本で初例となる青銅器埋

納坑の調査 庸田 和穂 前期古墳の14C年代 入倉 徳裕

九州古代紀行(25) 平家落人伝説

の椎葉厳島神社を往く 加藤 哲也 世界遺跡巡り(5) 遥かなるシル

クロード 交河古城を中心に 井上 修一 ブッダへの道(9)一法顕が見た五

世紀初頭のアジア 河村 哲夫

私の邪馬台国論

建凍須佐之男命と月読命 後藤 幸彦

秦・史跡めぐり余滴(11)

民講座 講演会「土佐の歴史散

◆末盧国 松浦史談会

〒847-0824佐賀県唐津市神田2118-1 TEL0955-73-3549 年2000円 1962年創刊

◇200 2014.12 B5 20p

《記念特集号》

松浦史談会の発展を祝して 富岡 行昌 地域史研究の「起点」 宮崎 克則 事務局より

松浦史談会沿革史 山田 洋 松浦史談会88周年·「末盧國」200号

達成に寄せて

「末盧國」と私 池田 恭子 松浦史談会と私 江川トミエ 歴史で地域が輝く新しい「唐津 |

を! 熊本 典宏 二百号発刊に寄せて 神田 歳成 松浦史談会と私 寺沢 光世 坦平先生の宿題 中里 紀元 祝『末盧國』二百号発刊 原田 重和 松浦史談会のご発展を祈ります

福井 壽一 常安大人との出逢い 丸田 利實 再録「末慮國 |

松浦潟由来 からつ鑑賞の葉

 その地位と魅力
 岩下
 正忠

 舞鶴城跡の多宝塔
 市場直次郎

 帰化した神々7
 権現さま
 飯田
 一郎

 旧家の由緒
 唐津中町
 坂本
 智生

 伊能忠敬
 唐津の城下町を測量

小宮 睦之

栄枯盛衰四百年

岸岳城波多氏の興亡 山崎 猛夫 歴史的伝統の重み

白水郎(あま)の系譜 河児 哲司

高串漁業の沿革

浜井 三郎

◆浜木綿 五島文化協会

〒853-0052長崎県五島市松山町604-10 筑田俊夫方 Tm.0559-74-2667

♦98 2014.11 A5 130p

巻頭言 シンポジウム福江城一基

調講演より 福江城の構造と歴

史的意義 中井 均

わたしの体験

「子どもの本」に関わって 坂井 淳 落葉帰根 坂口 進 一期一会の旅一北京・上五島 松原 剛 『グツの話』

 一祖父が話してくれた昔話
 山中 彦昭

 センセンバン(先生の番)
 石田ちとえ

 河童探訪2
 出島 勝馬

 五島を通った遺唐使(1)
 櫻井 隆

 逓信畑の俳人点描一父・内海朝次

郎の交遊を通して 内海 紀雄 「活動の記録」より 片山 圭弘 佳句独賞 筑田としお 平成26年度通常総会 肩の凝らない教養談義 筑田 俊夫

潮の目 ある日・ある時スクラップに拾う

◆石の証言 「八紘一宇」の塔を考える会 〒880-0951宮崎県宮崎市大塚町西ノ後3376

-1 土岐宗春方 Tel.0985-52-5014 年2000円

♦64 2014.11 A4 8p

石の証言 マンザナー収容所 (19 42年7月3日) 「北米カリフォル ニア南加中央日本人会」

公開学習会のご案内 テーマ: 「八紘一宇」の塔の歴史 発表

者:税田啓一郎

「八紘一宇」の塔の歴史(1) 税田啓一郎 「特定秘密保護法」施行(2014.12.10)

に想う 野崎 眞公

トピックス

「俘虜二人」山田新一作 原田解さん(82)へのインタビュー 2014年11月13日 ご自宅で

◆鹿児島民俗 鹿児島民俗学会 〒890-0056鹿児島市下荒田4-1-18 阿多利昭方 Inl.099-253-1775 年4000円 1950年創刊 ◇146 2014.12 B5 96p 表紙写真解説

北薩の太鼓踊の特徴 所崎 平 民俗行事と物語性 トカラ列島の 七島正月一悪石島のコマ正月を

中心に 渡山 恵子 気象観測者顕彰碑に見る民俗 牧 民郎 みんぞく・かわらばん 桜の花見

所﨑 平 蚕舞と出水の蚕宮神社 松原 武実 みんぞく・かわらばん

士踊と強跳踊 所崎 平 第19回かごしま郷土芸能(報告) 所崎 平 「ホトケバアサン(仏婆様)」を母 とする「隠れ念仏」(6) ―シャー マンと「ウチノニョウサン(内

の如様)」(1) 森田 清美

みんぞく・かわらばん

尾骨を反らして身体活性化 牧 民郎 資料 トカラ列島中之島の「粟山

焼畑と栗の祭り」 下野 敏見本田トメ嫗の昔語り(1989年) 本田 碩孝

霧島修験 本山派愛甲修験資料 『異賦調伏御祈祷日帳』読み解 き(2)一綿密かつ新調な薩摩藩 の対外列強政策と修験による祈

資料 安永二年 次渡日帳 川邊郷 前床重治・編

森田 清美

新里 孝和

高宮 広土

学会活動報告(平成26年5月~同年10月)

◆季刊 沖縄 沖縄協会

〒112-0004東京都文京区後楽1-2-9 エー・ゼットキュウブビル5階 TRIO3-5803-2341 1996年創刊

homepage3.nifty.com/okinawakyoukai/

♦47 2014.10 A4 48p

Interview ピアノという"もうー

つの声" セキヤマキ

亜熱帯沖縄の木や森や里山(5)

育み育まれる里山のえにし(中2)

新連載 琉球列島先史・原史時代

の世界的価値―奄美・沖縄諸島

を中心に(1) 東京沖縄県人会第2回文化講演・

講演録 琉球文学について一そ

の固有性を考える 波照間永吉

沖縄文化の基層は沖縄語 船津 好明

戦後おきなわ写真館(2) 鳩間の子供達(沖縄県竹富町鳩間)

◆宮古郷土史研究会会報

〒906-0013沖縄県平良市下里1223-8 下地和宏気付 Tet.0980-72-9963 1977年創刊

◇205 2014.11 B5 8p 11月定例会 第47回琉球大学史学

会大会「宮古諸島をめぐる歴史
・民俗・社会」 事務局

第47回琉球大学史学会大会日程 12月定例会レジュメ 宮古島市総

合博物館第28回企画展「クバの

ものがたり」調査研究中間報告

與那覇史香

9月定例会のまとめ 宮古島狩俣 の「ニーラアーグ」をめぐって 上原 孝三 10月定例会のまとめ 宮古におけ る1950年代から60年代にかけて

の農業と生活の変化 新城日出朗 オオムギ・コムギ・マメ科などを 検出ーミズヌマ遺跡・13世紀後

半の炉跡遺構より 久貝 弥嗣 手績み苧麻糸を用いたクイチャー

衣装の試作 岩本 大介 第9回市民文化祭・郷土史部門 城返地区の25の史跡をめぐる 久貝 弥嗣

城返地区の25の史跡をめぐる 久貝 弥嗣 第9回なりやまあやぐまつり 元 島学習会、集落の史跡をめぐる

下地 和宏

本永清(市史編さん委員)さんの金 城朝永賞受賞を祝う会 (下地) 県地域史協議会研修会開催 石垣 市で41名集い研鑽を深める開催

下地 和宏

旧平良市長選挙と金城睦弁護士 仲宗根將二

寄贈図書紹介

◆青森県立図書館所蔵「滝屋文書」書状関係 資料集 続1 みちのく双書57

青森県文化財保護協会(〒030-0111 青森県 青森市荒川字藤戸119-7 青森県立図書館内 lm.017-739-4211)2014年3月 A4 241頁 江戸時代後期、青森の廻船問屋として名をと どろかした滝屋こと伊藤善五郎家の資料『滝 屋文書』の書状関係資料集の続編。青森県立 図書館文書整理番号180から183までの書状71 点を、影印版・解読文にて収録する。解題 (鈴木幹人)/文書整理番号180/文書整理番 号181/文書整理番号182/文書整理番号183

◆復刻 東北民俗研究

東北文化資料叢書7 民俗資料 東北大学大学院文学研究科東北文化研究室 (〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1) 2014年 3月 B5 167頁

昭和25年から28年にかけて謄写版印刷で出版 された全3冊の論文集『東北民俗研究』(東北 民俗学会発行)を合本・復刻。第1集・第2集 が昭和25年9月に、第3集が昭和28年9月に発 行された和装論文集で、公共図書館にも収蔵 されていない「まぼろしの冊子」である。は じめに(鈴木岩弓)/『東北民俗研究』とその 背景(岩崎真幸)/『東北民俗研究』解題(岩崎 直幸・鈴木岩弓) / 修験道の起源と発展(戸川 安章)/伊具郡年中行事(山本明)/後記(第一 集)/屋敷に祀る神(森口多里)/秋田マタギ の語彙(武藤鉄城)/モノガタリと物語る日 (三谷栄一)/民俗書簡集—柳田國男先生書簡 (髙木誠一)/編集後記(第二集)/民俗書簡集 ーネフスキイ書簡(髙木誠一)/真古文章を語 る(夏堀謹二郎)/葉山託官集―福島県相馬郡 大館村大倉(岩崎敏夫)/後記(第三集)

◆環境動態を視点とした地域社会と集落形成 に関する総合的研究 平成25年度研究成果 報告書 文部科学省市立大学戦略的研究基 繋形成支援事業

東北芸術工科大学東北文化研究センター編・刊(〒990-9530 山形県山形市上桜田3-4-5 Tati023-627-2168) 2014年3月 A4 89頁 研究の目的と概要(田口洋美)/平成25年度研究成果報告 各班の研究進捗状況(環境史研究および地域比較研究) 民俗・人類班(蛯原一平)・歴史班(佐藤健治・竹原万雄・中村只吾)・考古班(長井謙治・北野博司)、地域資源活用研究の進捗状況(蛯原一平・中村只吾)/個別研究成果報告 研究ノート 中世からの村・島守研究序説(佐藤健治)、研究ノート戦後本寺地区における景観変遷(竹原万雄

・菅沼信雄・早川由希子・三好明日美)、研究ノート 中国東北地域の定住化と伝統文化の継承-エペンギ族(根河)とオロチョン族(亜里河鎮)を事例に(謝黎)、講演録 八戸の集落一万年:なぜムラができ、消えたか?vol.1(田口洋美・安斎正人)/総括/附編1本事業に関する研究実績一覧、附編2本事業に関する新聞等記事掲載一覧(平成25年度)

東北一万年のフィールドワーク9

◆阿仁根子

東北芸術工科大学東北文化研究センター編・ 刊(堂上)2014年3月 B5 51百 文部科学省市立大学戦略的研究基盤形成支援 事業「環境動態を視点とした地域社会と集落 形成に関する総合的研究 | プロジェクトの一 環として行われた北秋田市阿仁根子集落の調 査成果。阿仁根子集落の概要(高橋佳帆里)、 コラム 阿仁鉱山の歴史(高橋佳帆里)/空か らみた根子 集落図(鈴木彩也花)、景観を読 む(鈴木彩也花)、コラム 根子をあるく(高 橋佳帆里) / 暮らす-なりわい・信仰 牛業 カレンダー(高橋裕子)、採集物リスト(高橋 裕子)、奥山・里山での狩猟(蛯原一平・田口 洋美・鈴木里佳)、暮らしの中の信仰―根子 番楽 (鈴木彩也花)/住まう-水路・古民家 (二又荘・山田邸) 根子の水路(小松諒)、根 子の古民家 二又荘・山田邸(成瀬翔太・鈴木 清)、断面図からみる根子民家の構造上の特 徴(成瀬翔太)、コラム 阿仁根子集落の二又 荘に見る差鴨居の使い方(鈴木清)、復元図か らみる家屋の変化(成瀬翔太・鈴木清)、根子 の家々(高橋佳帆里)/暮らしがつくる景観 根子鳥瞰図(田中望)、鳥瞰図に描かれた景観 (小松諒)、写真でみる根子

◆小々汐仁屋の年中行事 ブックレット〈むらの記憶〉1 文部科学省市立大学戦略的研究基盤形成支援事業「環境動態を視点とした地域社会と集落形成に関する総合的研

究.

東北芸術工科大学東北文化研究センター編・刊(同上)2014年3月 B5 56頁 文部科学省市立大学戦略的研究基盤形成支援 事業「環境動態を視点とした地域社会と集落 形成に関する総合的研究」プロジェクトの一 環として、1980年代から撮影してきた宮城県 気仙沼市小々汐集落での行事に関する写真を 中心にまとめる。小々汐集落について/仁屋 について/新たな年を迎える/早春から初夏 にかけて/盛夏一盆を迎えて/秋と冬/あと がき一仁屋に通い続けたころ(川島秀一)

◆茨城県立歴史館史料叢書17

一橋徳川家文書 覚了院様御実録Ⅱ 茨城県立歴史館史料学芸部編 茨城県立歴史館(〒310-0034 茨城県水戸市緑町2-1-15 Im029-225-4425) 2014年3月 A5 334頁 茨城県立歴史館所蔵の5400点を超える一橋徳川家文書のうち、一橋徳川家初世宗尹の誕生(享保6年〈1721〉)から没後七回忌にあわせて贈位のあった明和7年(1771)12月までの編年体による記録「覚了院様御実録」を翻刻。史料叢書14(2011年3月)に引き続き、本書には宝暦8年(1758)から宝暦12年までの巻九から巻十二を収録する。解題(笹目礼子)/覚了院様御実録 巻九~巻十二/人名索引/附録一橋御屋形并御持場絵図

◆常陸国筑波郡弥左衛門新田『御用留』Ⅲ

一茨城県取手市新川 飯島満男家文書 近江礼子著(〒300-1536 茨城県取手市光風 台2-4-13 IEI0297-83-4662)2014年4月 B5 114頁 1000円

常陸国筑波郡弥左衛門新田(茨城県取手市新川)の飯島家における約3000点の所蔵文書のうち、第 I 集(2011年7月)、第 II 集(2012年11月)にひきつづき明治2年(1869)から明治8年までの「御用留」等16点と、人間文化研究機構国文学研究資料館所蔵の弥左衛門新田関連

資料7点を翻刻・収録する。解説 明治初期の「御用留」にみる弥左衛門新田

◆さいたま市緑区の庚申塔・馬頭観音 江戸時代の石造神仏を訪ねて

石戸誠著(〒336-0907 さいたま市緑区道祖 土4-18-7) ブイツーソリューション(〒466-0848 名古屋市昭和区長戸町4-40 Im052-799-7391) 2014年3月 A5 125頁 1900円 さいたま市指定文化財の登録数の3割が所在 する緑区内の石造物231点について全塔を調 査し、石造物の解説とともに銘文や法量を紹 介する。庶民信仰と「講」/ 塔型と造立年代 /石造物に見る信仰の盛衰/緑区の地勢と石 造物/主尊と像容(庚申塔、馬頭観音、日 待・月待塔、経典供養塔 補足: 六地蔵について、巡拝供養塔、花見堂供養塔)/ 調査結 果/主要石造物の銘文と写真

◆多輪免喜6 千代田の地名

佐倉地名研究会編・刊(〒285-0864 千葉県 佐倉市稲荷台1-3-6 野村忠男方 TEIO43-487-1033) 2014年4月 B5 114頁 1000円 昭和62年に発足した佐倉地名研究会の調査研 究成果をまとめる地誌の第6集として、佐倉 市千代田地区の地名を取り上げる。表紙名の 説明・「たんたん山」の由来について/挨拶 (蕨和雄)/多輪免喜第六号の発刊にあたって (野村忠男)/佐倉市千代田地区・千代田の区 域図/千代田地区について/畔田地区/飯重 地区/地名関連コラム 呉林さんの字界図/ 生谷地区/羽鳥地区/吉見地区/地名関連コ ラム 千代田地区の佐倉市への編入経緯、野 田ミニ紀行/多輪免喜余話 日本地名研究所、 六崎組十善講について

◆江戸期おんな表現者事典

柴桂子監修 桂文庫編・著 現代書館刊 (〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-2-5 Tell 03-3221-1321 Fax 03-3262-5906) 2015年2月 A5 1408頁(うち口絵16頁) 26000円

250年ものあいだ戦のなかった「平和」な時代、 女たちは後世に何を残したのか――。

江戸期の女たちが書き残した作品や足跡を示す史料を、30年余の歳月をかけて全国で調査収集。知的・創造的・行動的だった女たちをその表現作品とともに収録。

[固有名詞が判明している女たちを 主に約12000人を紹介] 天正期(1570年頃)以降に生まれ、大正期(1910年頃)までに没した、主として江戸期に教育を受けたと考えられる女たちを収録。天皇、公家、尼僧、武家、農民、町人や遊女、瞽女ほか、政治や教育分野などでも活動した女たちの生没年、姓名、雅号、院号、墓所などを判明できる限り列記。

[都道府県別・50音順に配列、表現作品なども掲載] 各人の行動や人生とともに、表現した作品(日記、和歌、漢詩、俳諧、訓戒書、随筆、物語、紀行文など)あるいは作品名(書画工芸など)も紹介。

[きれいなカラー口絵、参考文献も充実] 全国各地の図書館や史料館はもとより、個人 が所蔵する史料などを30年以上かけて調査収 集。原典から日記や俳諧などの作品を引用し、 その史料や参考文献を、立項した人物ごとに 併載(参考文献は、各都道府県末に、著書、 図録、論文、その他に分けて50音順に配列)。 また、口絵には多彩なジャンルから選んだ70 占の作品を収録。

*今秋、別冊「索引編|を刊行予定。

◆北区諸家文書目録2

文化財研究紀要別冊23

東京都北区教育委員会北区飛鳥山博物館事業 係編 東京都北区教育委員会(〒114-8508 東京都北区王子本町1-15-22 TeL03-3908-1111)2014年3月 B5 182頁 2002年刊行の『北区諸家文書目録』につづき 7件の諸家文書を収録する。浮間村 清水吉) 家文書 解説・目録(黒川徳男)/浮間村 立 石(邦)家文書 解説・目録(保垣孝幸)/浮間村 松澤家文書 解説・目録(田中葉子)/岩淵宿 石渡家文書 解説・目録(田中葉子)/下村 冨田家文書 解説・目録(金澤真嗣)/豊島村 倉木家文書 解説・目録(保垣孝幸)◆史料としての猫絵 日本史リブレット79藤原重雄著 山川出版社(〒101-0047 東京都千代田区内神田1-13-13 Tat03-3293-8131)2014年5月 A5 103頁 800円歌川国芳による猫の浮世絵をはじめとする猫絵の図像学から、中世・近世の社会や文化を透かし見る。絵をみること/猫絵の導き/首網から放たれる/図像と歴史

◆戦国時代の青梅―三田氏の滅亡と北条氏 青梅市郷土博物館編・刊(〒198-0053 東京 都青梅市駒木町1-684 TEL0428-23-6859)2014 年3月 A4 44頁

青梅市郷土博物館企画展の展示資料集。古くから青梅の地を支配していた三田氏とその後の北条氏の盛衰を中心に、戦国時代の青梅の姿を紹介する。三田氏略系図/北条氏略系図/北条氏照関係地図/図版・解説編 関東の戦乱一戦国の世の始まり、北条氏の武蔵進出と三田氏、北条氏の勢力拡大、戦国時代の三田氏とその領国、長尾景虎の関東出兵、三田氏の滅亡、北条氏照と青梅、武田信玄襲来、北条氏の北関東進出、北条氏の滅亡/資料編掲載資料釈文・法量、三田氏領国概念図、勝沼城推定復元俯瞰図、辛垣城推定復元俯瞰図、辛垣城推定復元俯瞰図

◆全国歴史資料保存利用機関連絡協議会

東日本大震災臨時委員会活動報告書 2011 ~2012年度

全国歷史資料保存利用機関連絡協議会 東日本大震災臨時委員会編 全国歷史資料保存利用機関連絡協議会(〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47 広島県立文書館 TeL082-245-8444) 2014年3月 A4 93頁

東日本大震災をうけて全国歴史資料保存利用

機関連絡協議会が行ってきたさまざまな震災 対応についての活動報告書。はじめに(井口 和起)/全史料協東日本大震災臨時委員会の 活動とその組織/陸前高田市被災公文書救援 活動について/被災資料調査報告/全史料協 における震災対応のこれまでとこれから一震 災ワーキングチームの提言/資料 被災資料 調査データ、陸前高田市における被災資料修 復事例報告、文書館防災対策の手引き、東日 本大震災に対する全史料協としての支援にむ けて/おわりに(小松芳郎)

◆東日本大震災被災地域における無形文化遺産とその復興 311復興支援無形文化遺産情報ネットワーク報告書2013

無形文化遺産情報ネットワーク編(http://mukei311.tobunken.go.jp) 東京文化財研究所無形文化遺産部編・刊(〒110-8713 東京都台東区上野公園13-43 TELO3-3823-4925) 2014年3月 A4 152頁

全日本郷土芸能協会・儀礼文化学会・防災科 学技術研究所との協働による「無形文化遺産 情報ネットワーク」の報告書。震災後の無形 文化遺産をめぐる動き 岩手県の動き (3年 目の本気一岩手県沿岸部における民俗芸能の 支援と公演(橋本裕之)、映像記録を通してみ た震災後の岩手(阿部武司))、宮城県の動き (小谷竜介)、福島県の動き(懸田弘訓)/把握 する 岩手県における民俗文化財現況調査に ついて(大舘勝治)、宮城県における民存文化 財現況調査について(高倉浩樹)、福島県にお ける民存文化財現況調査について(懸田弘 訓)、震災と無形の民俗文化財一文化財保護 ができること、すべきことは(石垣悟)/発 信・共有する 情報の共有化にむけて一無形 文化遺産情報ネットワークの取り組み(東京 文化財研究所無形文化遺産部)、震災・津波 の経験や教訓を人類共通の資産としてデジタ ルアーカイブする(田口仁)、データから見る

復興(伊藤純・舘野太朗)/支援する 被災した無形文化遺産への支援(小岩秀太郎)、無形文化遺産に対する支援状況/様々な取り組み地域ごとの活動、後方支援活動、修復の現場から、宗教界から/提言 提言一無形文化遺産情報ネットワーク協議会を踏まえて(久保田裕道)/資料編 参考文献、被災3県の無形文化遺産一覧

◆わざを伝える―伝統とその活用

第8回無形民俗文化財研究協議会報告書 東京文化財研究所無形文化遺産部編・刊(同 上) 2014年3月 A4 123頁

2013年11月15日に開催された第8回無形民俗 文化財研究協議会の内容をまとめる。序にか えて(石﨑武志) / 趣旨説明 わざを伝える-伝統とその活用(今石みぎわ)/第一部 報告 佐渡「小木のたらい舟製作技術」伝承の取り 組みと課題(井藤博明)、越中福岡の菅笠保全 に妙薬はあるのか―行政のサポートについて (徳田光太郎)、えどがわ伝統工芸産学公プロ ジェクトの取組みについて(羽太謙一)、荒川 区の無形文化財保護の取り組み一伝統工芸技 術の保存・普及・継承事業を中心として(野 尻かおる)、特別観覧紹介 台東区の伝統工 芸職人展(東京国立博物館平成館ラウンジ)台 東区の伝統産業事業について(浦里健太郎) /第二部 総合討議 質疑応答、コメント (段上達雄・川崎剛)、ディスカッション/参 考資料「無形民俗文化財記録収集の呼び掛 けし、アンケート集計結果、協議会参加者一覧

◆翻刻 武蔵国豊島郡三河島村松本家文書Ⅳ 荒川古文書いずみの会編・刊(〒116-0014 東京都荒川区東日暮里3-21-12 横須賀恭嗣 方 1元03-3807-6491)2014年3月 A4 81 + 20百

荒川区旧三河島村地方文書「松本家文書」の の還家愿儀礼の調査報告を中心に、購読の原 市民の手による翻刻第4集。「嘉永五壬子年六 果などを収録する。口絵 2014年1月2日~ 月」の日付がある鷹狩りに関する文書「田決 日 神奈川大学ヤオ族文化研究所タイ調査

并御直觸人足書上」と、「大区小区制」など、明治4年前後の東京府の「地域編成」にともなう古蹟・町会所・消防・郵便・車税等の制度制定に関する文書を収録する。「武蔵国豊島郡三河島村松本家文書」について/武蔵国豊島郡三河島村松本家文書IV/荒川区史関連表

◆武蔵保谷村だより一高橋文太郎の『武蔵保 谷村郷土資料』を手掛かりに 合冊

下保谷の自然と文化を記録する会(〒202-0004 東京都西東京市下保谷3-18-3 高田賢 方 TELO42-478-3820) 2014年3月 A4 241頁 2011年4月の創刊から2013年7月の第10号終刊 まで、保谷の民俗学研究者 高橋文太郎が著 した『武蔵保谷村郷土資料』を手掛かりとし て、地域の自然や文化をさまざまな角度から 切り取って追究した市民グループによる季刊 『武蔵保谷村だより』の合冊版。はじめに 季刊紙『武蔵保谷村だより』合冊に際して (高田賢)/第1号(2011年4月発行)/第2号 (2011年7月発行)/第3号(2011年10月発行)/ 第4号(2012年1月発行)/第5号(2012年4月発 行) / 第6号(2012年7月発行) / 第7号(2012年 10月発行)/第8号(2013年1月発行)/第9号 (2013年4月発行)/第10号(2013年7月発行)/ おわりに 感謝(萩原恵子)

◆南山大学人類学博物館所蔵上智大学西北タ イ歴史文化調査団収集文献目録 神奈川大 学歴民調査報告17

神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科編・刊(〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1 Tat.045-481-5661) 2014年3月 A4 174頁 ヤオ族の伝承儀礼を調査する神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科がまとめた南山大学人類学博物館で所蔵する上智大学西北タイ歴史文化調査団資料の全資料目録。2011年11月の還家愿儀礼の調査報告を中心に、購読の成果などを収録する。口絵 2014年1月2日~8日 神奈川大学セオ族文化研究所タイ調本

ナーン県ムアン郡ナムガオ村 掛灯儀礼/刊行にあたって(廣田律子)/上智大学西北タイ歴史文化調査団収集文献目録/資料調査目録作成における所見 上智大学西北タイ歴史文化調査団資料 調査者名簿、南山大学ヤオ人文書調査(三村宜敬)、南山大学人類学博物館の西北タイヤオ族資料の調査に関わって(譚静)、南山大学ヤオ人文書調査(侯莉娜)

◆神奈川県会と武相の民権家

民権ブックス27

町田市立自由民権資料館編 町田市教育委員会 (〒195-0063 東京都町田市野津田町897 Im.042-734-4508) 2014年3月 A5 96頁 2013年度 第1回企画展《神奈川県会と武相の民権家》の記録/記念講演 I 神奈川県会と県令野村靖(大湖賢一)/記念講演 II 神奈川県会事始め(松崎稔)/史料紹介 南多摩郡における不完全選挙事件関係史料(松崎稔)

◆関東大震災とふじさわ

藤沢市史ブックレット5

(続)藤沢市中編さん委員会編 藤沢市文書館 (〒251-0054 神奈川県藤沢市朝日町12-6 TelO466-24-0171) 2014年3月 A5 101頁 (続)藤沢市史編纂にあたって市史の内容をわ かりやすく紹介するブックレットの第5冊。 関東大震災から90年という節目を経て、未だ 不明な点も多い藤沢の関東大震災に関する調 おける地震とその様相(時代の変革を告げる 文治元年京都大地震、鎌倉人のみた「鎌倉地 震 |、明応の大地震)/関東大震災と被害の全 容/各地の被害の諸相/混乱から復旧へ(震 災直後の応急対応、苦吟隊の来援、インフラ の復旧)/復旧から復興へ(藤沢町の復旧対 策、復興のつち音)/復興から湘南開発へ (湘南の都市計画、湘南遊歩道の着手、都市 計画の進展)/震災を忘れないために/関連 年表/写真・地図一覧/主要参考文献/付図 昭和6年 大藤沢復興市街図

◆藤沢のいま・むかし

ジュニア版藤沢市史1

(続)藤沢市史編さん委員会編 藤沢市文書館 (同上) 2014年3月 A4 102頁

藤沢市史編纂事業のなかで初めてまとめられ た小学生を対象とした藤沢市史。藤沢市の自 然・地理・歴史・民俗などをわかりやすく紹 介する。保護者のみなさまへ(小風秀雅)/こ の本を、手にとったみなさんへ!(この本を 作った仲間たち)/藤沢へようこそ!/藤沢 市のすがた(藤沢市の自然、藤沢市の交通、 藤沢市の町なみ)/わたしたちの町をあるく (藤沢、片瀬、村岡、六会、長後・高倉・下 土棚、御所見・獺郷・打戻・葛原、遠藤・宮 原、明治、辻堂、善行・大庭)/わが町の祭 りと暮らし(変わりゆく伝統行事、今に伝わ る地域の祭り、新しい祭りと私たちのお祭り、 いのりと人々)/海とともに暮らす (ゆたか な海の幸、海を楽しむ、江の島灯台ものがた り)/もっと知りたい人は/年表/参考文献 /あとがき(伊藤一美)

◆新修名古屋市史 資料編 近代3

新修名古屋市史資料編編集委員会編 名古屋市 (〒461-0011 名古屋市東区白壁1-3 名古屋市市政資料館 TELO52-953-0053) 2014年3月 B5 943頁

『新修名古屋市史』本文編(2001年10月完結) のあとをうけて刊行が開始された資料編の近代編として、「近代1」(2006年3月)、「近代2」(2009年3月) につづき、主に昭和初期から昭和20年までの資料506点を収録する。本巻をもって、『新修名古屋市史』本文編全10巻、資料編全11巻の完結となる。

[百万都市名古屋の発展―名古屋汎太平洋平 和博覧会の開催に向けて] 国際的大都市を 目指した都市基盤整備(名古屋汎太平洋平和 博覧会の開催へ、都市計画の推進、交通機関 の整備)/都市の膨張と名古屋市の行財政 (特別市制促進運動と市域拡大、大岩勇夫市 政と市会、積極財政と市債依存)/都市の膨 張と社会事業・市民生活(都市の膨張と社会 事業の伸展、市民生活の多様化)/恐慌から の回復過程と名古屋市経済(工業、商業、電 力・ガス業)

[軍需工業都市名古屋とその解体一日中戦争から敗戦まで] 軍需工業都市の形成と都市計画(戦時体制下の都市計画、戦時体制下の交通機関)/戦時動員と名古屋市の行財政(戦時動員と名古屋市制、縣市政と大政翼賛会名古屋市支部の結成、戦時体制と名古屋市財政)/戦時動員の諸団体と運動(戦時動員と町内会、佐藤市政と翼賛選挙、配給機構と市民生活、戦時下の社会事業と市民生活)/戦時経済(工業、商業、電力・ガス業、農業、漁業)/防空と空襲(防空、空襲、東南海地震)/解説

◆続新視点 三重県の歴史

毎日新聞社津支局編 三重県総合博物館学芸員・三重県史編さん班著 山川出版社(〒101-004 東京都千代田区内神田1-13-13 TEL 03-3293-8131)2014年3月 B6 311頁 1800円

ミエゾウの足跡と全身骨格の復原展示、メガロドンの歯の化石、県民獣のカモシカや昆虫、植物、淡水魚などの自然、伊勢参宮や街道、道中土産や出版物、鉄道、公園などの身近な歴史、正月の話題や戦中・戦後の生活などを、2014年4月19日に開館する MieMu 三重県総合博物館のテーマや活動とともに紹介。カラー特集/はじめに一三重県総合博物館、4月開館を前に(布谷和夫)/本書の概要一三重県の自然と歴史・文化(服部久士)/発刊によせて(鈴木英敬)/第1部 自然/第2部 原始・古代・中世・近世/第3部 近現代/第4部民俗/第5部 博物館の開館によせて/

MieMu テーマ・理念/三重の地質概略図/ 三重の地形/中世の主要な城・湊・荘園/近世後期の藩領図/三重県の市町村/三重県の略年表/あとがき(松本正)

◆滋賀の伝説と民話

渡邉守順著 近江文化会 (〒527-0018 滋賀県東近江市八日市清水1-3-11 薬師寺内) 2014年3月 A5 128頁 非売品朝日新聞の「ポケット民話」(昭和34年11月から同36年9月、19編)や滋賀県発行「湖国と文化」(平成13年9月号から同23年7月号、52編)の連載を中心に、滋賀県の伝説・民話65編を集録する。はじめに/南近江/東近江/北近江/西近江/琵琶湖/ポケット民話/近江の民話(朝日新聞 昭和34年8月20日)/近江の民話・昔話・伝説の特色(湖国と文化119号 平成19年4月1日)/先人の発想に生活の知恵(毎日新聞 平成22年1月1日)

◆収蔵資料調査報告書16

宇治市の写真資料4

字治市歴史資料館編·刊(〒611-0023 京都 府字治市折居台1-1 TEL0774-39-9260)2014年 3月 B5 55頁

宇治市歴史資料館の収蔵資料調査報告書11・12・13(2009年・2010年・2011年)に引き続き、開館以来収集してきた資料から、宇治市広報課が撮影した昭和50年代前半の写真フィルムを中心に紹介する。昭和50年代前半の写真資料について/宇治市広報課ネガアルバムフィルム目録/資料紹介 昭和50年代前半の宇治市(1975・昭和50年~1979・昭和54年)

◆久美浜代官所関係史料集

京丹後市史資料編

 れた京丹後市史編纂事業による資料編第8冊。 享保20年(1735)に設置された久美浜代官所の 組織や郡中代・組合等の仲介組織、村の様子 を伝える史料を収録する。久美浜代官所の組 織と活動 解題、史料 代官・手代等、領地 の広がり、その他/代官所と村を仲介した組 織 解題、史料 郡中代、組合、掛屋、その 他/領地村々の明細と活動 解題、史料 陣 屋元村(久美浜町)、領地の村の御用留、特別 寄稿 近世後期の久美浜代官所領における郡 中代について(三浦泰之)/参考表 丹後国竹 野郡吉沢村年貢割付状にみる代官名・引高割 合一覧表、明治元年但馬丹後久美浜代官所領 郷宿別村等一覧表、慶応二年但馬国久美浜代 官所領郡別組合別村名家数一覧表/久美浜代 官所主要関係文書解題/久美浜代官所に関わ る主な参考文献

◆京丹後市の民俗 京丹後市史資料編 京丹後市史編さん委員会編 京丹後市(同 上) 2014年3月 A4 429頁

京丹後市全図(聞き取り調査地)/京丹後市の民俗分布図/凡例/主な調査項目/総説一京丹後市の民俗文化の特徴/論考編一京丹後市の民俗文化の考察 村と家、生業、衣・食・住、運搬・交易、人の一生、年中行事、社寺の祭りと信仰、民間信仰/資料編一聞き取り調査報告 京丹後市久美浜町、京丹後市網の町、京丹後市丹後町、京丹後市弥栄町、京丹後市大宮町、京丹後市峰山町/文献紹介 申酉奇談/話者・協力者一覧

◆小林善九郎関係文書調査報告書

植村善博·奥田裕樹編 京丹後市教育委員会 (同上) 2014年3月 A4 61頁

京都府天田郡下豊富村字拝師(現 福知山市拝師町)の小林家に保管されてきた戦前期に京都府峰山町助役や福知山市会議員などを務めた小林善九郎関係文書の調査報告書。とくに大正後期から昭和初期の内務省復興局および

峰山町に関わる資料群では、1923年の関東大震災、1927年の丹後震災の復興期の研究に不可欠の貴重な資料がみられる。はじめに(植村善博・奥田裕樹)/目次・例言/写真で見る小林善九郎の生涯/小林善九郎の活動履歴/小林善九郎関係文書解題/小林善九郎関係文書目録(辞令、行政、復興局、峰山、書簡、写真、書籍、地図、覚、そのほか)/附録小林善九郎「東京都市計画区画整理の進行とバラック移転状況」(『都市研究』第一巻第三号)、峰山町公報第一号

◆長岡天満宮資料調査報告書 古文書編

長岡京市文化財調査報告書65

長岡京市教育委員会編·刊(京都府長岡京市 開田1-1-1 TeL075-951-2121)2014年3月 A4 175頁

平成19年度から実施される長岡天満宮資料調査の成果をまとめた文化財調査報告書第63集「美術・中世編」(2013年3月)の続編。長岡天満宮が所蔵する古文書、写真、典籍など6822点について、目録と解説を収録する。はじめに(山本和紀)/目録 分類項目一覧表、近世、近代1、近代2、現代、中小路家伝来史料、典籍・書籍等、写真・絵はがき/解説 調査に到る経過(重岡香織)、文書の概要(重岡香織)、文書解題(重岡香織)、文書の概要(重岡香織)、文書解題(重岡香織)、古文書からみた江戸時代の長岡天満宮(玉城玲子)、明治・大正期の長岡天満宮の整備(高木博志)、昭和戦前期の長岡天満宮(高久嶺之介)/資料 翻刻史料(22点)、図、表

◆歴史文化に基礎をおいた地域社会形成のための自治体との連携事業(12) 平成24年 度事業報告書

神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター編 神戸大学大学院人文学研究科 (〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1 TEL078-803-5566) 2014年3月 A4 45頁

自治体や地域住民と連携しながら、兵庫県内

各地の歴史資料の保存・活用や歴史遺産をい かしたまちづりを支援していくことを目的に、 神戸大学大学院人文学研究科地域連携センタ ーが2002年から進めている事業の報告書。序 文 歴史文化に基礎をおいた地域社会形成の ための自治体との連携事業の進捗状況につい て(奥村弘)/第12回歴史文化をめぐる地域連 携協議会「地域力士遺産の可能性を考える」 /まちづくり支援と自治体中の編纂/被災資 料と歴史資料の保全・活用事業/阪神・淡路 大震災資料の保存・活用に関する研究会/地 域歴史遺産の活用をはかる人材養成(学生・ 院生教育)/平成25年度科学研究費補助金・ 基盤研究(S)「大規模自然災害時の史料保全 論を基礎とした地域歴史資料学の構築 | の研 究支援/平成22~24年度特別研究「地域歴史 遺産保全活用教育研究を基軸とした地域歴史 文化育成支援拠点の整備 | 事業を定着・普及 させる活動/神戸大学附属図書館との連携/ 地域連携研究/講演会その他の活動/参考資 料 国立大学法人神戸大学と小野市との連携 協定の協定更新に関する合意書

◆第30回特別展示展示案内図録

西宮の古文書一岡本家文書の世界 西宮市立郷土資料館編・刊 (〒662-0944 兵 庫県西宮市川添町15-26 1m0798-33-1298) 2014年3月 B5 14頁 西宮市の指定・登録文化財(159件 指定50・ 登録109)のうち、6件の古文書の指定文化財 の中から、尼崎藩大庄屋及び庄屋を勤めた上 瓦林村の岡本家に伝わった岡本家文書につい て紹介する(平成26年7月19日~8月31日)。 岡 本家文書/尼崎藩の大庄屋/大庄屋日記/大 庄屋の多様な側面/阪神淡路大震災

◆八十塚古墳群苦楽園支群第5・6・7号墳 発掘調査報告書 西宮市文化財資料60 西宮市立郷土資料館編(同上) 西宮市教育 町8-26) 2014年3月 A4 62頁

兵庫県西宮市苦楽園五番町72-1に所在する 八十塚古墳群苦楽園支群第5・6・7号墳の発 掘調査報告書。調査地の位置(八十塚古墳群、 徳川大坂城東六甲採石場)/発掘調査の経緯 (昭和49年・昭和50年の発掘調査、平成22年 年の発掘調査)/発掘調査の成果 (調査の方 法、苦楽園支群第5号增、苦楽園支群第6号增、 苦楽園支群第7号墳、徳川大坂城東六甲採石 場関連石材)/調査のまとめ/八十塚古墳群 出土土器について

◆西宮歴史調査団年報 2012年度版 西宮歴史調査団著 西宮市立郷土資料館編・ 刊(同上) 2014年3月 A4 39頁 西宮市立郷土資料館が実施した文化財調査ボ ランティア「西宮歴史調査団」の平成24年度 における活動記録。平成24年度の経過/石造 物の調査/橋梁の調査/古文書の調査/現地 解説会「西宮歴史調査団と歩く甲東村」/活 動報告会/調査を終えて/付載 「西宮歴史 調査団通信 | 2012.4月号~2013.3月号

◆石見銀山域の歴史と景観─世界遺産と地域 遺産 京都府立大学文化遺産叢書8 上杉和央編 京都府立大学文学部歴史学科 (〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5) 2014年3月 A4 330頁 世界遺産に登録された地域を題材とした、文

化財保護や文化財行政、また地域遺産的な価 値についての調査報告集。「紀伊山地の霊場 と参詣道」に引き続き、平成23年度から25年 度まで行われた「石見銀山とその文化的景 観」の調査内容をまとめる。

刊行にあたって(上杉和央)/調査概要/第1 部 論考編 島根県石見地方における戦前期 の観光イメージをめぐって一島根県観光協会 『島根めぐり』シリーズに着目して(長谷川奨 悟) / 第Ⅱ部 世界遺産への取り組み 石見銀 委員会刊 (〒662-0918 兵庫県西宮市六湛寺 山の世界遺産への取り組み(西綾乃)、コラム

石見銀山と世界遺産センター(西綾乃)、世 界遺産登録への動きと現在の課題(深澤茜)、 大田市と石見銀山の歩み(丸山貴久)、大田市 の取り組みと課題(丸山貴久)/第Ⅲ部 石 見・大森編 石見国の歴史(重富裕昭)、石見 銀山の歴史(深澤茜)、大森銀山伝統的建造物 群保存地区(尾崎香里・安田早希)、コラム 世界遺産と生きる町一大森の町並みを歩く (澤鮎美)、大森・銀山地区の建造物および生 活関連遺跡(野田優人)、大森地区における要 石と石臼調査(野田優人)、コラム 大森の伝 統的建造物と土産物店(字野治彦)、仙ノ山東 側地区の歴史と現状一石銀・本谷を中心に (尾崎香里)、コラム 大久保間歩見学ツアー に参加して(尾崎香里)、清水谷地区・要害山 ルート調査報告(字野治彦)、豊栄神社と長州 藩(重富裕昭)/第Ⅳ部 温泉津・沖泊編 温 泉津沖泊道調査報告(喜多早織)、温泉津・沖 泊地区と石見銀山(安田早希)、コラム 温泉 津愛宕神社の銅鐘(字佐美倫太郎)、温泉津 地区石诰物調査報告―石诰物からみる温泉津 (安田早希)、コラム 温泉津の石造物と人々 の信仰-延命院の石のほとけさん(安田早 希)、石見神楽と温泉津(喜多早織)、コラム 温泉津温泉-1300年続く魅力(重富裕昭)、 沖泊調査報告(川口成人)/第V部 鞆ヶ浦・ 友集落編 馬路地区友集落調査記録、鞆ヶ浦 道調査報告(松浦智博)、コラム 地蔵と歩む 道(岸畑祐輝穂)、コラム 囲碁・石見・琉球 (丸山貴久)、馬路地区調査報告-友集落の祭 礼・行事を中心に(川口成人・鈴木中織・西 井綾乃)、コラム 馬路のお相撲さん(深澤 茜)、コラム 石州瓦の歴史と景観(鈴木史 織)、大田市馬路地区における生業に関する 調査報告-方集落を中心に(川口成人・島本 多敬)、コラム 鵜島厳島神社の幟(川口成 人)、コラム 木屋一海辺の宿(松浦智博)、 地域に残された中料―馬路地区の歴史の一側

面(松村祥志)

◆四国遍路と世界の巡礼。 公開講演会・公開 シンポジウム プロシーディングズ

愛媛大学「四国遍路と世界の巡礼」研究会 編·刊 2014年3月 A4 50+58頁

2013年10月26日・27日に愛媛大学南加記念ホ ールにて開催された公開講演会・公開シンポ ジウム(日本中東学会第19回公開講演会)の記 録集。刊行の辞(山川廣司)/2013年度「四国 遍路と世界の巡礼 | 公開講演会・公開シンポ ジウム日程

「公開講演会」 江戸時代の巡礼たちの諸相― 熊野古道沿いの資料から(塚本明)/コメント (内田九州男・塚本明)

[公開シンポジウム] 「遍路日記 | に見る四 国、その内と外(胡光)/シーア派の聖地巡礼 一イラク・イランの聖墓参詣を中心に(守川 知子)/越中からの四国遍路--「道中小遺留 帳 | を素材に(近藤浩二)/モロッコの聖者崇 拝と参詣一文化人類学の視点から(齋藤剛) 「中料編」 巡礼と「道中日記」の諸相(塚本 明・近藤浩二・胡光)

◆相良知安一医と易

羽場俊秀著 佐賀新聞社(〒840-8585 佐賀 市天神3-2-23 TRL0952-28-2152) 2014年3月 B6 172頁 1000円

ドイツ医学の採用に尽力し、現在の東京大学 医学部長の職につき、無実の罪で牢獄につな がれ、そして易者となった相良知安(1836~ 1906)の生涯。『日本易道タイムス』13回の連 載(平成20年6月号から平成21年9月号)をもと に加筆修正。生い立ち(相良知安の誕生とそ の時代、知安の少年時代とその周辺、知安の 青年時代とその周辺) / 遊学時代(江戸遊学、 長崎遊学) / ドイツ医学の採用と受難(時代 のあらまし、明治政府時代、受難の時代、復 権後の相良知安)/市井の人々と歩む(従来 の評価、四書・五経のひろがり、易者として の相良知安)/悲運の群像(相良知安、相良 元貞、相良潤一郎・相良弘道)/年表

◆鹿児島・対馬調査報告書 2013年度早稲田 大学特定課題研究助成費「藩世界と東アジ ア世界-16~17世紀を中心に |

紙屋敦之編·刊(〒162-8644 東京都新宿区 戸山1-24-1 早稲田大学文学部 TEL032-5286-3735)2014年3月 A4 107頁

刊行にあたって(紙屋敦之)/覚書 坊津から 山川へ(紙屋敦之)/薩琉軍記に見る琉球認識 (矢野美沙子)/近世初期における島津家の相 続問題(大森映子)/十七世紀、鹿児島藩の参 勤交代に関する覚書(泉正人)/対馬藩田代領 における宝暦期「宗意心得違」一件(3)(大橋 幸泰)

◆宮古島市総合博物館収蔵目録 歴史資料編 宮古島市総合博物館編・刊(〒906-0102 沖 縄県宮古島市平良字仲宗根添1166-287 ℡ 0980-73-0567)2014年3月 A4 82頁 1979年(昭和54)に開設された平良市歴史民俗資料館、1989年(平成元)11月に平良市総合博物館、そして2005年(平成17)の市町村合併を経て現在にいたっている宮古島市総合博物館に収蔵されている歴史資料1640件5864点の資料目録である。目録発刊によせて(下里典子)/図版(考古資料、近世資料、近代資料、戦後~現代、分類不明、教科書、硬貨・紙幣、切手)/宮古島市総合博物館収蔵資料目録一歴史資料編 考古資料、古文書・図書資料、近世資料、近代資料I、近代資料I、戦後~現代、分類不明

◆お詫びと訂正

前号 123掲載の記事中に誤りがありました。 お詫びして訂正します。

5頁左 20行 誤「猿信仰」 正「狼信仰」 35頁左 11行 誤「自信」 正「地震」 37頁右 11行 誤「点滴 正「天敵

◆後記-----

仙台市在住の寺田寅彦書誌研究の第一人者 大森一彦さんから、3月に同市で開催された第3回 国連防災世界会議の資料を戴いた。会議が東北で開催されたのは結構なことだが、福島であれ ばなおよかったと思う。この会議の最中、バヌアツを大型サイクロンが襲い、天災は忘れぬ間 もなくやって来るものであることを思い知らされた。資料の中で、仙台市若林区中央市民セン ターが住民の声をまとめた『語り継ぐ震災の記憶』(ダイジェスト版、英文併記)に感銘を受け た。1944年生れの女性、「すごいよね、自然の力って。新町だけで300所帯もあったのに、荒浜 全体がぞっくり全部なくなって、この草ボウボウだもの、いまだに信じられないよ」。夫の運 転で避難するが、車ごと流される。運よく屋敷林にぶつかって脱出、そのまま木にしがみつい て一晩を明かす。翌朝、救助のヘリが来た時、ほっとした拍子に腰が抜ける。「夫は、前から 脊椎を痛めてたんだけど、脊椎の軟骨が全部潰れてたの。図書館から借りた本を濡らせないか らって、ショルダーバックをずっと肩に掛けてたせいかもしれない。1964年生まれの女性は、 自分が生き残ってしまったことは申し訳ないと煩悶する日々、「亡くなった方々の無念の思い を感じながら生きていく、そういう思いでずっと暮らしています」。暮らしの言葉で率直な心 情が叶露される。以前にも触れたが、吉村昭のルポルタージュ『三陸海岸大津波』(文春文庫、 2004。原題『海の壁 三陸沿岸大津波』、中公新書、1970) は、1933年の大津波の折りに、田老 尋常高等小学校の生徒たちが綴った作文集が重要な役割を果たしている。歴史の証言として、 こうした生活レベルの記録こそが重要であり、語り継がなければならないと思った。 (飯澤)

地方史情報 124 2015年(平成27年)5月 発行 http://www.iwata-shoin.co.jp 定価0円(送料90円) 年間購読料 税込1000円(送料として) 振替口座00100-2-564137 発行所: 岩田書院 〒157-0062 東京都世田谷区南島山4-25-6-103 1m.03-3326-3757